

平成 27 年度
(第 42 期)
事 業 報 告

作成日：平成 28 年 5 月 18 日

自 平成 27 年 04 月 01 日

至 平成 28 年 03 月 31 日

社会福祉法人 さつき会

1 全体総括

(1) はじめに

第三期中期経営 3 か年計画（2013～2015）の最終年度の年である平成 27 年度の当法人事業活動は、年初に掲げた 6 つの重点目標、1) 個人が尊厳を持って、自立した生活が送れるように支援する、2) 常に、相手の立場に立ち、安心かつ安全な生活が送れるように支援する、3) 一人ひとりがプロ意識を持ち、利用者と組織に求められる人材となる努力と、その育成に努める、4) チームの目標実現のために、チーム一丸となる、5) 地域住民・家族・関係機関との協働による施設運営に努める、6) 法令遵守と適正利益の確保を図り、効率的・安定的な経営の努める、ことを柱に年度事業計画にそって各事業所・委員会等の活動を中心に積極的に実施され、概ね順調に遂行された。以下にその概要を報告する。

(2) 法人経営

社会福祉法人さつき会は、法人設立後、これまで 42 年間にわたり、「地域の福祉ニーズに柔軟に 대응する」ことを使命として、「利用者本位」の原則の下、社会福祉事業を運営してきた。特に、平成 12 年度以降は社会福祉構造改革や介護保険制度の導入を機に、経営環境の変化に柔軟に適応する経営基盤と自立的な経営を確立することを主眼に経営改革に傾注してきた。

この間、関係行政並びに地域の皆様の積極的なご支援、ご協力も得て、利用者・職員・組織ともに満足できる人づくり・組織づくりをビジョンに掲げ、「ケアと経営」「心と仕組み（システム）」の両立を大切にしながら、より良いケアの提供と働きがいのある職場づくりに努めてきた。

本年度は、デイセンターのリハビリ機能強化、在宅サービス部門の中重度化対応、施設サービス部門の重度化・重症化リスクへの早期対応、総合職への積極的な登用、現任職員研修の充実、職員のリフレッシュ休暇推進を重点的に取り組んだ。結果、職員の専門技術と多職種によるチームケアの向上により、入院者の減少と稼働率の安定が図られた。また、離職率は過去 10 年間で最低の 5.1%（前期 8.7%）となり、これまでの「人材の確保と育成」の取り組みの成果が持続できている。

一方、積み残した課題も多く、適正利益確保の未達をはじめ、階層別研修制度の体系化、月次業績の分析・対応は、いずれも未着手・不十分な結果にとどまった為、次年度の重点課題として取り組む所存である。

(3) 施設運営

本年度は、「専門職として、一人ひとりが介護過程を展開する」「小規模多機能ホーム（二か所）・デイセンター・ヘルパーステーション・ショートステイ・居宅介護支援事業所の運営改善の強化・推進」「モラルの遵守・マナー（思いやり）の向上」「適正利益の確保」を重点課題と位置づけ、部門毎の活動計画に基づき、現場職員が主体となってケアとサービスの質向上に努めることができた一年であった。

具体的には、全事業所における基礎介護力向上研修の実施、全事業所の多職種協同によるトータルケアの実践、利用者・家族の声を大切にするための満足度調査、職員の教育・サポート体制の充実、家族・地域住民との協働による行事・活動の推進などに取り組んだ。

一方、スタッフの不注意による誤投薬・転倒、ご家族からの苦情等、安全対策と業務の標準化への組織的対応が不十分であるが故の出来事と反省し、次年度の最重点課題となった。

来年度は第四期・中期経営 3 か年計画の初年度の年。現・中期経営計画の総括と新・中期経営計画を策定し、今後も「高齢者の自立した尊厳ある人間らしい生活を守る」ための福祉サービスの安定的・継続的に提供と、利用者・職員・組織がともに満足できる施設運営に努める。

2 部門別事業実績（概要）

（単位：千円）

事業名 (課)	事業(課)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	事業活動 収支差額
法人本部	理事会・評議員会の運営 内部監査の実施 法人全体の企画・調整 各施設・事業所の経営及び統括 経営企画に関する諸会議の運営 許認可・申請事務 特命事項 職員の教育・研修 実習、研修等の受入・調整 デイ・なごみ・えんの給食管理・実務 ボランティア・家族会の運営 地域包括支援センターへの人材派遣	—	4	理事会 4回(4) 評議員会 3回(2) 監事監査 4回(4) 経営改善会議 34回(35) 全体職員会議・研修 2回(2) 実習受入(実件数) 6件(10) (延べ人数) 144人(208) 行事食 80回(84)	△14,116 (12,090)
総務課	総務・人事・会計の管理・実務 施設運営の企画 施設設備の維持管理 施設内の衛生管理 他部署に属さない業務	—	5	施設整備 0件(2) 総事業費 0円(17,163,770) 設備整備 0件(2) 総事業費 0円(5,237,266)	—
介護老人福祉施設事業	要介護と認定された、ねたきり、認知症等により在宅での生活が困難な方に対して、施設において「自立」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	50名	37	新規入居者 男5名(5)、女8名(7) 計13名(13) 退居者 男4名(4)、女9名(10) 計13名(4) ベッド稼働率 97.2%(97.0%) 入居待機者 53名(53)	△4,690 (9,274)
短期入所生活介護事業	在宅でねたきり、認知症及び虚弱のおとしりを介護されている家族が、介護疲れ、病気、事故などにより、一時的に介護することができなくなった場合に、一定期間そのおとしりに特別養護老人ホームに入居していただき、家族の介護負担の軽減に努めた。	10名	37	実利用者数 50名(40) 実件数 193件(237) 延利用者数 3,211名(1,980) 一日平均 8.8名(5.4) ベッド稼働率 87.9%(62.6%)	11,969 (△1,683) 生きがいショート委託費 653 (448)
通所介護事業 (はびねす)	在宅のねたきり、認知症及び虚弱等の要介護等認定者に対して、1)自立生活の助長、2)心身機能の維持向上、3)社会的孤立感の解消、4)家族の介護負担の軽減を図るために通所して頂き、入浴・食事・送迎サービス、趣味・レク活動、健康チェック、養護、日常生活の相談・助言を行うことで要介護等状態の悪化予防に努めた。	30名	11	開催日数 311日(309) 実利用者数 90名(77) 延利用者数 6,498名(6,028) 新規利用者 45名(46) 週6日開館、1日平均 20.9名(19.0) 稼働率 69.6%(63.3%)	1,884 (△1,249)
共同生活介護事業 認知症対応型	認知症により自宅での生活が困難な方に対して、グループホームにおいて「自立と尊厳を支え」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう「利用者中心」の生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	18名	21	新規入居者 男2名(2)、女1名(2) 計3名(4) 退居者 男0名(0)、女2名(5) 計2名(5) ベッド稼働率 98.9%(97.4%) 入居待機者 15名(11)	2,259 (△46)

事業名 (課)	事業(課)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	事業活動 収支差額
小規模多機能型居宅介護事業 (なごみの家)	在宅の認知症及び虚弱のおとしよりができる限り住み慣れたわが家で暮らしが続けられるように、可能な限り自宅やそれに替わる場所において「普通の暮らし」が営めるような環境と継続的・総合的なケアを提供するため、日々の「通い」を中心に、本人の心身状態と家族の状況に応じて、「訪問」や一時的な「泊まり」を組み合わせて、継続的・総合的なケアの提供に努めた。	(通い) 15名 ----- (泊まり) 6名 ----- (訪問) 一名	10	開催日数 365日(365) 平均登録者数 20.8名(19.8) 実利用者数 28名(27) 延利用者数 3,985名(3,841) 新規利用者 12名(11) 停止者 10名(9) 1日平均 10.9名(10.5) 稼働率 72.6%(83.8%) ----- 実利用者数 23名(20) 延利用者数 1,644名(1,584) 1日平均 4.5名(4.3) 稼働率 74.8%(71.6%) ----- 実利用者数 14名(8) 延利用者数 1,892名(983) 1日平均 5.2名(2.7)	6,085 (△1,862)
訪問介護事業	在宅で虚弱、ねたきり、認知症のおとしより等の要介護等認定者および難病患者の家庭等に対して、自立とより質の高い在宅生活の継続が図られるよう、生活援助、身体介護、相談・助言を主とする生活支援サービスの提供に努めた。	—	9	派遣世帯数 65名(67) 訪問延回数 5,280回(5,934) 活動延時間 4,731時間(3,268) 内、生きがいヘルプ 82(136) 内、難病疾患ヘルプ 0(0) 新規利用者 15名(26)	△536 (2,971) 生きがいヘルプ委託費 287 (399) 難病患者ヘルプ委託費 0 (0)
居宅介護支援事業	在宅でねたきり、認知症及び虚弱のおとしよりが「住み慣れた自宅で最後まで暮らし続けることができるよう」、本人及び家族のニーズに即したケアプランを作成するとともに、ケアプランに基づく各種サービスや社会資源が確保・活用されるよう事業者・関係機関との連絡調整に努めた。	—	4	月平均利用者数 介護 100.1名(95.8) 予防 18.8名(21.5) 計 118.8名(117.3) 新規利用者 64名(37) 停止者 49名(28) 入院者延べ人数 65名(95)	196 (2,739)
ユニット型地域密着型 介護老人福祉施設事業	鷹栖町在住の要介護と認定された、ねたきり、認知症等により在宅での生活が困難な方に対して、施設において「自立」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	20名	22	新規入居者 男1名(2)、女1名(2) 計2名(4) 退居者 男0名(0)、女1名(5) 計1名(5) ベッド稼働率 99.3%(96.8%) 入居待機者 28名(21)	27,849 (6,111)

事業名 (課)	事業(課)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	事業活動 収支差額
小規模多機能型居宅介護事業 (ぬくもりの家えん)	在宅の認知症及び虚弱のおとしよりができる限り住み慣れたわが家で暮らしが続けられるように、可能な限り自宅やそれに替わる場所において「普通の暮らし」が営めるような環境と継続的・総合的なケアを提供するため、日々の「通い」を中心に、本人の心身状態と家族の状況に応じて、「訪問」や一時的な「泊まり」を組み合わせて、継続的・総合的なケアの提供に努めた。	(通い) 12名	10	開催日数 365日(365) 平均登録者数 18名(18) 実利用者数 32名(21) 延利用者数 3,131名(3,154) 新規利用者 15名(5) 停止者 16名(6) 1日平均 8.6名(8.6) 稼働率 70.3%(72.1%)	3,219 (△2,924)
		(泊まり) 4名 10月 から 5名		実利用者数 21名(11) 延利用者数 1,499名(1,294) 1日平均 4.1名(3.6) 稼働率 80.8%(78.5%)	
		(訪問) 一名		実利用者数 8名(4) 延利用者数 307名(94) 1日平均 0.8名(0.2)	
移送サービス事業	心身の障がい・病気により、ねたきりや、車いす上で生活されている方が、通院等の理由により外出しなければならなく、一般の車両への乗降が難しい時に、さつき苑に配置されている寝台、若しくは車いすのまま乗り込むことができる専用車両で、自宅から目的地までの送迎を行い、利用者の外出支援に努めた。	—	—	実利用者数 11件(5) 延利用件数 191件(35) (内訳…町内179件、町外12件)	937 (588) 委託費収入のみ
(生きがいデイサービス) 介護予防事業	在宅の介護認定非該当の虚弱なおとしよりに対して、1)自立生活の助長、2)心身機能の維持向上、3)社会的孤立感の解消を図るため、デイセンター(はびねす)に通所して頂き、入浴・食事・送迎サービス、趣味・レク活動、健康チェック、養護等のサービスを提供し、要介護状態にならないように努めた。	—	—	実利用者数 0名(2) 延利用者数 0名(6) 新規利用者 0名(2)	0 (0) 委託費収入のみ

※1 職員数に施設長・副施設長は含めず

※2 実績及び事業活動収支差額欄の()内は前年度実績

3 業績の状況

(1) 介護保険収入の目標対比

(単位:千円)

事業名	当初予算 (A)	決算 (B)	差異 (B) - (A)	達成率 (B) / (A)
法人本部	13,998	5,908	▲ 8,090	0.0%
小計	13,998	5,908	▲ 8,090	0.0%
介護老人福祉施設事業	198,774	199,775	1,001	100.5%
短期入所生活介護事業	23,824	29,527	5,703	123.9%
小計	222,598	229,302	6,704	103.0%
訪問介護事業	20,136	16,564	▲ 3,572	82.3%
通所介護事業(はびねす)	50,763	50,847	84	100.2%
居宅介護支援事業	20,768	19,099	▲ 1,669	92.0%
小計	91,667	86,510	▲ 5,157	94.4%
認知症対応型共同生活介護事業	76,316	78,505	2,189	102.9%
小規模多機能型事業(なごみの家)	39,102	42,188	3,086	107.9%
小計	115,418	120,693	5,275	104.6%
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	89,354	96,790	7,436	108.3%
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	37,530	43,365	5,835	115.5%
小計	126,884	140,155	13,271	110.5%
合計	570,565	582,568	12,003	102.1%

※ 法人本部は経常収入計

(2) 介護保険収入の前年度対比

(単位:円)

事業名	平成26年度 (A)	平成27年度 (B)	差異 (B) - (A)	伸長率 (B) / (A)
法人本部	17,397	5,908	▲ 11,489	0.0%
小計	0	0	0	0.0%
介護老人福祉施設事業	200,319	199,775	▲ 544	99.7%
短期入所生活介護事業	20,038	29,527	9,489	147.4%
小計	220,357	229,302	8,945	104.1%
訪問介護事業	19,573	16,564	▲ 3,009	84.6%
通所介護事業(はびねす)	49,053	50,847	1,794	103.7%
居宅介護支援事業	18,405	19,099	694	103.8%
小計	87,031	86,510	▲ 521	99.4%
認知症対応型共同生活介護事業	77,544	78,505	961	101.2%
小規模多機能型事業(なごみの家)	39,375	42,188	2,813	107.1%
小計	116,919	120,693	3,774	103.2%
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	84,743	96,790	12,047	114.2%
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	37,569	43,365	5,796	115.4%
小計	122,312	140,155	17,843	114.6%
合計	546,619	582,568	35,949	106.6%

※ 法人本部は経常収入計

(3) 事業活動収支差額の目標対比

(単位:円)

事業名	当初予算 (A)	決算 (B)	差異 (B) - (A)	達成率 (B) / (A)
法人本部	266	▲ 14,116	▲ 14,382	-5306.8%
小計	266	▲ 14,116	▲ 14,382	-5306.8%
介護老人福祉施設事業	2,478	▲ 4,690	▲ 7,168	-189.3%
短期入所生活介護事業	276	11,969	11,693	4336.6%
小計	2,754	7,279	4,525	264.3%
訪問介護事業	2,343	▲ 636	▲ 2,979	-27.1%
通所介護事業(はびねす)	571	1,636	1,065	286.5%
居宅介護支援事業	1,027	96	▲ 931	9.3%
小計	3,941	1,096	▲ 2,845	27.8%
認知症対応型共同生活介護事業	618	2,258	1,640	365.4%
小規模多機能型事業(なごみの家)	4,239	6,085	1,846	143.5%
小計	4,857	8,343	3,486	171.8%
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	11,996	24,253	12,257	202.2%
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	▲ 1,603	6,815	8,418	-425.1%
小計	10,393	31,068	20,675	298.9%
合計	22,211	33,670	11,459	151.6%

(4) 事業収支差額の前年度対比

(単位:円)

事業名	平成26年度 (A)	平成27年度 (B)	差異 (B) - (A)	伸長率 (B) / (A)
法人本部	335	▲ 14,116	▲ 14,451	-4213.7%
小計	335	▲ 14,116	▲ 14,451	-4213.7%
介護老人福祉施設事業	6,920	▲ 4,690	▲ 11,610	-67.8%
短期入所生活介護事業	▲ 2,193	11,969	14,162	-545.8%
小計	4,727	7,279	2,552	154.0%
訪問介護事業	2,538	▲ 636	▲ 3,174	-25.1%
通所介護事業(はびねす)	▲ 1,582	1,636	3,218	-103.4%
居宅介護支援事業	2,250	96	▲ 2,154	4.3%
小計	3,206	1,096	▲ 2,110	34.2%
認知症対応型共同生活介護事業	802	2,258	1,456	281.5%
小規模多機能型事業(なごみの家)	1,417	6,085	4,668	429.4%
小計	2,219	8,343	6,124	376.0%
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	2,863	24,253	21,390	847.1%
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	1,348	6,815	5,467	505.6%
小計	4,211	31,068	26,857	737.8%
合計	14,698	33,670	18,972	229.1%

1. 総括

平成 27 年度は、「良いケア・良い職場・良い経営」の実現を目指し、以下のことに取り組んだ。

1 つ目は、法人が目指す「住み慣れた地域で暮らし続けられる」ことの実現に向けて、高齢者住宅整備計画を策定し、理事会・評議員会の承認を受けた。また、デイサービスセンターのリハビリ機能強化を目的に理学療法士を配置し、3 月からは鷹栖町との連携の下、総合事業を開始し介護予防の推進に努めた。昨年度より開始した、「地域包括ケア推進チーム研究会」（地域ケアマネジメント会議）も継続し、一つの困難事例のカンファレンスに全事業所の専門職が参加し、ニーズ優先のケアマネジメントとサービス提供に努めた。

2 つ目は、鷹栖町、鷹栖高校、旭川短期大学と連携し、介護の担い手の育成を社会福祉法人の地域貢献として、「鷹栖高校介護職員初任者研修」の講師及び実習の受け入れを行った。学生も熱心であり今後介護の担い手となることも期待できた。また、講師となった職員は、自分たちの知識・技術・価値観を他者に伝える経験を積むことが大きな成果であった。他にも、養護学校・小学校の体験学習、中学校の職場体験、介護福祉士養成校の実習受け入れについては例年どおりで積極的に行った。

3 つ目は、働きやすく働きがいのある職場づくりである。特筆すべきことは、開設以来続けてきた私服着用を見直しユニフォームを導入し、職員・ご家族・地域住民から高評価を得た。職員育成として新任職員研修、現任職員の面談、総合職昇格試験を継続して行った。マナー・モラル研修を全事業所で実施するとともに、年 2 回のよいあいさつ大賞も継続し接遇向上に努めた。

昨年実施できなかった「サービス向上発表会」を実施。発表者は、年度初めに目標を立て実践し、その結果・評価を発表することで振り返りと成果を実感することができた。参加者は、他事業所の取り組みを知り、事部門での工夫や改善のヒントや次へ取り組もうという前向きな姿勢が多く見られた。今年度は当発表会を養成校の教員・学生等に発信を試みたが参加はなかった。今後は新たな工夫をし、法人役員はもとよりご家族・関係団体の方々にもサービス向上の取り組みを知っていただく機会としたい。

新たな取り組みは、無資格の職員に対して、基礎資格である介護職員初任者研修取得の受講を奨励し、費用の全額法人及び職務免除により働きながら資格取得できる環境整備を実施した。その他、難関の管理栄養士試験（1 名）・介護支援専門員（3 名）に合格する等、資格取得支援の成果を例年以上に残すことができた。

反省点は、事業活動の発信、専門性の地域還元を目的とする広報紙に度重なる誤字脱字が続き利用者・ご家族等に多大なご迷惑をかけた。このことは、委員会組織の改編・印刷業者の見直しを行い、新年度早期に是正・改善する。

2. 次年度に向けて

平成 28 年度は、安心住まい（サービス付き高齢者住宅）と総合事業（シルバーフィットネス）の拠点整備を図り、鷹栖町における地域包括ケア体制の拡充を図る。

また、法人が最も力点を置く人材育成・処遇改善にも取り組み、2 年目となる鷹栖高校介護職員初任者研修には昨年以上の協力に務める。さらに、介護福祉士・社会福祉士養成校の実習・見学、町内中学生のキャリアウィークを積極的に受け入れ、次の時代を担う人材育成に務める。

職員育成は、例年各事業所で行ってきた基礎介護研修を階層別実施。専門職の更なるスキルアップ支援を図るとともに、有給休暇取得促進・賃金改善についても検討し、働きやすく働きがいのある職場づくりに取り組む。

3. 運営状況・統計資料

(1) 理事会の開催状況

回	期 日	議決事項等	出席者
1	27.5.30(土) 16:45 ~ 17:30	報告第1号 理事長専決事項の報告について 報告第2号 平成26年度経過報告並びに事業報告について 報告第3号 平成26年度第4四半期業績報告並びに決算報告について（監事監査の結果を含む） 報告第4号 介護職員処遇改善加算による賃金改善について 議案第1号 平成27年度第1次補正予算（案）について 議案第2号 定款の一部変更（案）について 議案第3号 組織機構及び職位の一部変更について 議案第4号 就業規則の一部変更（案）について 議案第5号 給与規程の一部変更（案）について 議案第6号 被服貸与規則の変更（案）について 議案第7号 経理規定の改正（案）について 議案第8号 平成26年度社会福祉法人及び社会福祉施設に係る指導監査の結果並びに措置状況報告書（案）について 議案第9号 平成26年度 介護保険法に基づく介護保険施設等の実地指導の結果並びに改善状況報告書（案）について	理事5名 監事2名
2	27.8.29(土) 14:00 ~ 16:30	報告第1号 理事長専決事項の報告について 報告第2号 平成27年度第1四半期業績報告及び収支報告について 報告第3号 平成27年度第1四半期の監事監査報告について 議案第1号 旅費規程の改正について	理事5名 監事2名
3	27.11.21(土) 14:00 ~ 15:30	報告第1号 理事長専決事項について 報告第2号 平成26年度第2四半期の業績報告並びに収支報告について 報告第3号 第3回監事監査報告について	理事5名 監事2名
4	28.3.26(土) 16:00 ~ 18:00	議案第1号 平成27年度第二次補正予算（案）について 議案第2号 第3次中期経営3カ年計画総括及び第4次中期経営3カ年計画（案）について 議案第3号 平成28年度経営（事業）計画並びに当初予算について 議案第4号 （仮称）「地域密着多機能型サービス付き高齢者向け住宅」整備収支計画（案）について 議案第5号 （仮称）「地域密着多機能型サービス付き高齢者向け住宅」に係る基本設計・実施設計・工事監理委託業者の選定方法について	理事5名 監事2名

4		議案第6号 指名業者の選考について 議案第7号 評議員の選任について 議案第8号 理事長の選任について 議案第9号 常務理事の指名について 議案第10号 職務代理者の指名について	
---	--	---	--

(2) 評議員会の開催状況

回	期 日	議決事項等	出席者
1	27.5.30(土) 14:30 ~ 16:40	報告第1号 平成26年度経過報告並びに事業報告について 報告第2号 平成26年度第4四半期業績報告並びに決算報告について (監事監査の結果を含む) 報告第3号 介護職員処遇改善加算による賃金改善について 議案第1号 平成27年度第1次補正予算(案)について 議案第2号 定款の一部変更(案)について 議案第3号 組織機構及び職位の一部変更について 議案第4号 就業規則の一部変更(案)について 議案第5号 給与規程の一部変更(案)について 議案第6号 被服貸与規則の変更(案)について 議案第7号 経理規定の改正(案)について	評議員8名 監事2名
2	27.12.12(土) 15:00 ~ 15:45	議案第1号 高齢者住宅整備に関わる経過報告及び計画の変更について	評議員9名 監事2名
3	27.3.26(土) 15:40 ~ 16:20	議案第1号 平成7年度第二次補正予算(案)について 議案第2号 第3次中期経営3カ年計画総括及び第4次中期経営3カ年計画(案)について 議案第3号 平成28年度経営(事業)計画並びに当初予算について 議案第4号 (仮称)「地域密着多機能型サービス付き高齢者向け住宅」整備収支計画(案)について 議案第5号 理事・監事選任について	評議員8名 監事2名

(3) 監査等の実施状況

① 監事監査

回	期 日	主な監査実施項目	監査実施者
1	27.5.25(月) 15:00 ~ 17:00	平成26年度経過報告並びに事業報告について 平成26年度業績報告並びに決算報告について 入居者預り金の管理状況について	監事2名

2	27.8.28(金) 15:00 ~ 17:00	平成27年度第1四半期業績報告並びに第1四半期収支報告について 入居者預り金の管理状況について	監事2名
3	27.11.19(木) 15:00 ~ 17:00	平成27年度第2四半期業績報告並びに第2四半期収支状況報告について 入居者預り金の管理状況について	監事2名
4	28.2.23(火) 15:00 ~ 17:00	平成27年度第3四半期業績報告並びに第3四半期収支状況報告について 入居者預り金の管理状況について	監事2名

(4) 資格保有・取得状況

	福祉住環境コーディネーター2級	2級ヘルパー(介護職員初任者研修含む)	社会福祉主事	准看護師	看護師理学療法士	保健師	介護支援専門員	管理栄養士	介護福祉士	社会福祉士
正職員	2	24	18	0	8【1】	2	26	2(1)	54(3)	5
パート職員	0	25	4	2	3	0	0	0	15	0
計	2	49	22	2	11【1】	2	26	2(1)	69(3)	5

注：平成28年3月31日現在の在籍者、()内は平成27年度取得者(登録済)分を再掲。理学療法士は【 】で表示

(5) 諸会議

① 経営改善会議

開催日時	目的	出席者	開催実績
毎週水曜日 10:00~11:00	安定的かつ効率的な施設・事業所経営を図るため、経営・運営上における課題や重要事項について協議・決議することを目的とする。	施設長 副施設長 介護部長 各課長	34回

② 財政健全化推進チーム・地域包括ケア推進チーム研究会

開催日時	目的	出席者	開催実績
毎月第4水曜日 9:00~12:00	・収入と支出のバランスが取れた安定的な財政構造の実現を図るために必要な推進(計画策定・実行・評価)を行う。 ・新たな地域ケア(地域包括ケア)に取り組むために必要な事業所の運営改善を図る。	施設長 副施設長 介護部長 各課長 各主任	10回

③ 職員全体研修・会議

開催日時	目 的	出席者	開催実績
①全体研修 27.9.29.10.1	感染症予防を目的とした研修を開催した。 【実施内容】 ()内は対象者・講師 ・感染対策研修会(全職員:稲井幸子、谷水さおり、藤川朋恵)	全職員	全体研修 2回
②全体会議 27.4.24・22	法人として職員全体に伝達すべき重要事項がある場合に適宜開催する。 【実施内容】 ・平成26年度経営(事業)計画・収支予算について ・給与規程の一部改正について		全体会議 2回

④サービス向上発表会開催内容

発表事業所(発表順)	発表テーマ	発表者	審査結果
鷹栖町デイサービスセンターはびねす	体の元気を取り戻せ!! ～リハビリマシーン導入による QOL向上への取り組み～	看護師 藤川朋恵 リーダー松原美 咲	1
鷹栖町介護センター さつき苑	生き活きはびねすプランの取 組み ～利用者の笑顔が介護の原点～	ケアマネジャー 伊賀あけみ 主任 佐々木恵 子	
特養鷹栖さつき苑	明日へつなぐ ～「介護過程の展開」の取 組み ～	リーダー 菅原雄樹	
多機能型グループホーム 鷹栖なごみの家	日々の生活に潤いを	リーダー 志知百合佳	2
小規模多機能ホーム ぬくもりの家えん	在宅生活を続ける!! ～本人の意思・希望を支えるた めに～	ケアスタッフ 佐久間勝	3

(6) 広報誌の発行 (町内全戸配布)

発行回数	発行部数
年6回発行	各3,000部発行

(7) 実習生等受入状況

実習日程	人数	実習名	実習生所属学校等
6月15日、16日	4	認知症実践者研修他施設実習	北海道 GH 協認知症介護実践者研修
6月29日～7月4日	2	介護実習 I	旭川大学短期大学部専攻科
9月1日～9月3日	16	介護実習	北海道鷹栖高等学校
10月7日～10月8日	5	職場体験(キャリア・ウイーク)	鷹栖中学校
11月2日～11月28日	2	介護実習 II	旭川大学短期大学部専攻科
12月1日～12月3日	4	鷹栖町役場新任職員 「町内福祉施設体験実習」	鷹栖町役場
延べ人数	144		

(8) 苑外研修参加状況

月	日	研修・会議名	開催地	参加者
4	6	経営戦略セミナー	札幌市	施設長、尾上、谷
	6	新任職員研修	札幌市	住友、西山
5	27～28	ユニットリーダー研修	札幌市	室橋
6	9～12	認知症実践者研修 施設実習	旭川市	成田
	15	認知症実践者研修 施設実習	旭川市	成田
	16	認知症介護実践研修他	当麻町	高橋(みゆき)
	16～17	北海道介護支援専門員専門研修 I	旭川市	坂本
	24～26	介護支援専門員更新研修	旭川市	佐藤、中山
7	2	認知症実践者研修会 施設実習	旭川市	成田
	2	認知症対応型サービス事業管理者研修	旭川市	志知
	6	コーチングセミナー	札幌市	伊賀
	8～9	新任介護職員研修	旭川市	木村、出倉、若宮、山本
	9～10	全道老人福祉施設研究発表会	札幌市	谷、松原、谷本
	29	ユニットリーダー研修 実地研修	札幌市	室橋
	23	北海道介護支援専門員専門研修 I	旭川市	坂林
29～1	認知症介護実践リーダー研修	札幌市	秋保	
8	3～6	認知症介護実践リーダー研修	札幌市	秋保
	2	道北老施協栄養士・調理員研修	上川町	己上、鈴木
	6～7	新任職員研修	札幌市	寺村、喜多、山本、大懸、中澤
	9	移送サービス運転者講習	札幌市	佐々木、高橋
	20～21	第35回老人福祉施設施設研究発表		

	20～21	北海道介護支援専門員専門研修Ⅰ	旭川市	坂林
	24～26	認知症介護実践リーダー研修(実習)	旭川市	秋保
	26	介護支援専門員更新研修	旭川市	佐藤、中山
	26	介護職員研修会	上川町	高橋、森
9	8～9	小規模多機能型サービス等計画作成担当研修	札幌市	尾上、松嶋
	17～18	デイサービスセンター職員スキルアップセミナー	札幌市	尾上、大矢
10	4～10	フロイデ視察研修	水戸市	大矢
	14	北海道介護支援専門員専門研修Ⅱ	旭川市	伊賀
	14～16	介護支援専門員更新研修	旭川市	佐藤
	19	北海道高齢者虐待防止推進研修会	旭川市	谷口、森、能登
11	29	認知症介護実践リーダー研修(まとめ)	札幌市	秋保
	10	新しい総合事業の移行戦略セミナー	札幌市	尾上
11	10	社会福祉施設職員等退職手当共済制度実務研修	札幌市	佐藤
	7	平成27年度法人役員、施設長専門研修	札幌市	施設長
12	10～11	新任介護職員研修	札幌市	下川、蓮井
	19～20	スーパーバイザー養成講座 in 北海道	旭川市	佐々木(恵)
1	7～9	認知症介護指導者基礎研修	東京都	施設長
1	9	地域リハビリテーション指導者養成研修	札幌市	尾上、大矢
2	4～6	介護支援専門員実務研修	旭川市	坂原、荒井
	8～12	第7回全国先端ケア研究会 in 大分、別府	別府市	施設長、尾上、谷岡、志知、室橋、谷本
	13～14	認知症介護指導者フォローアップ研修	札幌市	施設長
	20	全道ホームヘルプサービス協議会上川地区資質向上研修	当麻町	西中
3	2	かみかわユニットケア、サテライトケア研究会実践発表セミナー	旭川市	尾上、吉田、鈴木さ、稲井、菅原、谷口、谷森、成田、山内
	2～4	介護支援専門員実務研修(後期)	旭川市	
	7～8	サ高住・シルバーフィットネス視察研修	茨城県	尾上、谷
	10	総合事業線新施設視察	札幌市	大矢
	18～21	インターリハ施設視察、シルバーフィットネス機器選定等講習会	東京都	大矢
				延べ 89 名

平成 27 年度 法人本部（給食部門）事業報告

1. 総括

H27 年度は（1）美味しく楽しめる食事の提供（2）衛生管理の徹底（3）各事業所に合わせた食事の提供の実施（4）関係職種との連携機能の強化の 4 つを重点目標とし取り組んだ。

- (1) 美味しく楽しめる食事を提供するための取り組みとしては、嗜好調査や日々の利用者とのコミュニケーションを図り、より利用者の嗜好に沿った食事が提供できるよう取り組んだ。また、デイサービスにおいては定期的にメニューのリクエストを聞き取り、食べたい料理を提供できるよう利用日に合わせた献立の作成を実施した。
- (2) 衛生管理の徹底では厨房内の点検、食中毒予防研修の実施、委託業者との定期的なミーティングの実施により、より安全で安心な食事提供を心がけ食中毒を起こすことなく提供することができた。また、ぬくもり家えんの調理業務を行うことにより、現状の把握と衛生の強化を行うことができた。
- (3) 各事業所に合わせた食事提供の実施では、日々の確認と各会議の中で問題点を探り改善をおこなった。
 - (ア) なごみの家では酵素を使用した食事の研修を行い、固い食材を食べやすいよう柔らかく提示することができ、少数ではあるがソフト食から常食へ食事形態を変更することが出来た。
 - (イ) ぬくもりの家えんでも今年 9 月より病態に合わせ、個別に脂質を抑えた食事の提供を実施することが出来た。
 - (ウ) デイサービスでは「自己選択の機会を増やす」事を目標に、月 1 回のランチバイキングの際に自分で食事を取ってもらえるように意識した。結果、昨年度までは職員が食事の取り分けをしていたが、今年度は利用者同士が声をかけ合って食事を取り分けている姿が多く見られた。
- (4) 関係職種との連携機能の強化では、各事業所の会議への参加や、各担当者との打ち合わせによって情報を共有することができ、迅速に対応することができた。

2. 運営状況・統計資料

(1) 平成 27 年度給食関係・記録状況

～デイサービス・なごみの家・ぬくもりの家えん～

月日	内容	入力者
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家 えん 4 月	① 5.6 月の行事予定について ② デイサービス 手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・好評だった献立・リクエストメニュー ⑦	えん 谷本 なごみ 林崎 デイ 松原 栄養士 己上

デイサービス なごみの家 ぬくもりの家 えん 5月	① 6.7月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・好評だった献立・リクエストメニュー ⑦ 食事摂取基準の改定について ⑧ 中心温度計の購入と測定方法について	えん 谷本 なごみ 林崎 デイ 松原 栄養士 己上
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家 えん 6月	① 7.8月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・好評だった献立・リクエストメニュー ⑦ 食中毒予防研修の日程について	えん 谷本 なごみ 林崎 デイ 松原 栄養士 己上
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家 えん 7月	① 8.9月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・好評だった献立・リクエストメニュー ⑦ 食中毒予防研修の実施報告について	えん 谷本 なごみ 林崎 デイ 松原 栄養士 己上
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家 えん 8月	① 9.10月の行事予定について ② デイサービス 夏祭り・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・好評だった献立・リクエストメニュー ⑦ さつき会スープの開発について協力をお願い ⑧ 十五夜のおやつの実施について	えん 谷本 なごみ 林崎 デイ 松原 栄養士 己上
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家 えん 9月	① 10.11月の行事予定について ② デイサービス 手作りおやつ・ランチバイキング・流しそうめん実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・好評だった献立・リクエストメニュー ⑦ さつき会スープの開発について協力をお願い	えん 谷本 なごみ 林崎 デイ 松原 栄養士 己上
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家 えん 10月	① 11.12月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・好評だった献立・リクエストメニュー	えん 谷本 なごみ 林崎 デイ 松原 栄養士 己上

	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ さつき会スープの開発について協力をお願い ⑧ 十五夜のおやつの実施について評価 	
<p>デイサービス なごみの家 ぬくもりの家 えん</p> <p>11月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 12・1月の行事予定について ② デイサービス 手作りおやつ実施報告について ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告について ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・好評だった献立・リクエストメニュー ⑦ さつき会スープの開発について協力をお願い 	<p>えん 谷本 なごみ 林崎 デイ 松原 栄養士 己上</p>
<p>デイサービス なごみの家 ぬくもりの家 えん</p> <p>12月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 1・2月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング、手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告について ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告について ⑤ 日常の献立、食事について ⑥ 日常の献立・好評だった献立・リクエストメニュー ⑦ さつき会スープの開発について協力をお願い ⑧ 連絡事項（年末年始について） 	<p>えん 谷本 なごみ 林崎 デイ 松原 栄養士 己上</p>
<p>デイサービス なごみの家 ぬくもりの家 えん</p> <p>1月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 2・3月の行事予定について ② デイサービス、忘年会・クリスマス・正月献立・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 クリスマス・もちつき・大晦日・正月献立、手作りおやつ実施報告について ④ ぬくもりの家えん クリスマス・もちつき・大晦日・正月献立、手作りおやつ実施報告について ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・好評だった献立・リクエストメニュー ⑦ 満足度調査（食事アンケート）について実施方法について 	<p>えん 谷本 なごみ 林崎 デイ 松原 栄養士 己上</p>
<p>デイサービス なごみの家 ぬくもりの家 えん</p> <p>2月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 3・4月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告について ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告について ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・好評だった献立・リクエストメニュー ⑦ その他・満足度調査について ⑧ 桜餅ソフト食の対象者について 	<p>えん 谷本 なごみ 林崎 デイ 松原 栄養士 己上</p>
<p>デイサービス なごみの家 ぬくもりの家 えん</p> <p>3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 4・5月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告について ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告について ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・好評だった献立・リクエストメニュー ⑦ 食事満足度調査について実施状況について 	<p>えん 谷本 なごみ 林崎 デイ 松原 栄養士 己上</p>

(2) 行事食実施状況

月	日	行事名	内容	金額 (円)
4	11. 13	デイ 手作りおやつ	ピザトースト	@50
	16	デイ 手作りおやつ	いちご大福	@50
	21	デイ ランチバイキング	散らし寿司・天ぷら・他	@293+15,000(イベント費)
	26	GHなごみ手作りおやつ	バナナピーナツロール	@52
	19	SHなごみ手作りおやつ	ヨーグルトとアイスのパフェ	@52
	12	特養えん 手作りおやつ	抹茶どら焼き	@52
	24	小規模えん手作りおやつ	いちご餅	行事費
	10	小規模えん 昼食作り	焼きうどん・おにぎり・味噌汁	行事費
5	11	デイ 手作りおやつ	さくら蒸しパン	@50
	19	デイ 手作りおやつ	こいのぼりパイ	@50
	27	デイ ランチバイキング	たけのご飯・天ぷら・他	@293+15,000(イベント費)
	24	GHなごみ手作りおやつ	たこ焼きホットケーキ	@52
	18	SHなごみ手作りおやつ	たこ焼きみtainなホットケーキ	@52
	10	特養えん 手作りおやつ	バナナ蒸しパン	@52
	22	小規模えん手作りおやつ	どら焼き	行事費
	8	小規模えん 昼食作り	焼きそば・おにぎり・他	行事費
6	11. 12	デイ 手作りおやつ	白玉パフェ	@50
	13	デイ ランチバイキング	やきそば・魚料理・他	@293+15,000(イベント費)
	28	GHなごみ手作りおやつ	いちごミルクゼリー	@52
	23	SHなごみ手作りおやつ	きなこねじり	@52
	14	特養えん 手作りおやつ	ピザトースト	@52
	26	小規模えん手作りおやつ	パンケーキ	行事費
	12	小規模 昼食作り	カレーライス・サラダ	行事費
7	14・25	デイ 手作りおやつ	フルーツジュレ	@50
	28.29	デイ 夏祭り	助六寿司・豚汁・焼き鳥・他	@293+15,000(イベント費)
	26	GHなごみ手作りおやつ	水まんじゅう	@52
	22	SHなごみ手作りおやつ	ふるふるわらび餅	@52
	19	特養えん 手作りおやつ	パフェ	@52
	24	小規模えん手作りおやつ	ミニパフェ	@52
	10	小規模 昼食作り	ジンギスカン・おにぎり	行事費
8	13. 14	デイ 手作りおやつ	フルーツジュレ	@50

	12	デイ ランチバイキング	流しそうめん・天ぷら・他	@293+15,000(イベント費)
	23	GHなごみ手作りおやつ	ヨーグルトの朝パフェ	@52
	20	SHなごみ手作りおやつ	豆腐白玉	@52
	9	特養えん 手作りおやつ	豪華かき氷	@52
	28	小規模えん手作りおやつ	白玉団子のお汁粉	行事費
	21	小規模 昼食作り	昔風ナポリタン・スープ	行事費
9	17	デイ 手作りおやつ	おはぎ	@50
	21.22	デイ 手作りおやつ	芋・南瓜団子	@50
	3	デイ ランチバイキング	やきそば・魚料理・他	@293+15,000(イベント費)
	27	GHなごみ手作りおやつ	スイートポテト	@52
	18	SHなごみ手作りおやつ	スフレプリン	@52
	13	特養えん 手作りおやつ	クッキー	@52
			小規模えん手作りおやつ	中止
		小規模 昼食作り	中止	
10	17.19	デイ 手作りおやつ	さつま芋蒸しパン	@50
	15	デイ ランチバイキング	秋おこわ・天ぷら・他	@293+15,000(イベント費)
	25	GHなごみ手作りおやつ	じゃが芋のソフトクッキー	@52
	17	SHなごみ手作りおやつ	焼き芋風スイートポテト	@52
	11	特養えん 手作りおやつ	いも団子	@52
	23	小規模えん手作りおやつ	いも団子	行事費
	9	小規模 昼食作り	餃子・味噌汁・芋サラダ	行事費
11	10.11.12	デイ 手作りおやつ	マロンクリームどら焼き	@50
	14	デイ ランチバイキング	秋おこわ・天ぷら・他	@293+15,000(イベント費)
	22	GHなごみ手作りおやつ	ゆずのマフィン	@52
	15	SHなごみ手作りおやつ	クレープ	@52
	8	特養えん 手作りおやつ	南瓜団子	@52
	27	小規模えん手作りおやつ	たこ焼き	行事費
	13	小規模えん 昼食作り	鍋・おにぎり	行事費
12	8.9	デイ 手作りおやつ	チョコプリン	@50
	24.25	デイ 手作りおやつ	クリスマスケーキ	@50
	10.11	デイ 忘年会	寄せ鍋・から揚げ・他	@293+15,000(イベント費)

		GHなごみ手作りおやつ	中止		
	21	SHなごみ手作りおやつ	生どら焼き	@52	
	13	特養えん 手作りおやつ	たこ焼き	@52	
	11	小規模えん 昼食作り	シチュー・パン・サラダ	行事費	
	9	小規模えん手作りおやつ	クリスマスケーキ	行事費	
1	22.23	デイ 手作りおやつ	白玉と黒豆のお汁粉	@50	
	4.5	デイ 新年メニュー	新年メニュー (弁当)	@293+15,000(イベント費)	
	24	GHなごみ手作りおやつ	豆腐入りお好み焼き	@52	
	19	SHなごみ手作りおやつ	ふわふわ低カロリークッキー	@52	
	11	特養えん 手作りおやつ	鏡開きのお汁粉	@52	
			小規模えん手作りおやつ	中止	
	8	小規模 昼食作り	うどん・いなり寿司	行事費	
2	13.15	デイ 手作りおやつ	豆乳わらび餅	@50	
	17	デイ ランチバイキング	豆乳鍋・五目御飯	@293+15,000(イベント費)	
	28	GHなごみ手作りおやつ	こしあん寒天アレンジ	@52	
	17	SHなごみ手作りおやつ	さつま芋きなこ団子	@52	
	14	特養えん 手作りおやつ	甘納豆蒸しパン	@52	
	26	小規模えん手作りおやつ	焼きチョコ	行事費	
	10	小規模 昼食作り	赤飯・すまし汁・卵焼き	行事費	
3	2.3	デイ 手作りおやつ	桜もち	@50	
	14	デイ 手作りおやつ	ホワイトデーケーキ	@50	
	7	デイ ランチバイキング	鯛めし・いも汁・他	@293+15,000(イベント費)	
	27	GHなごみ手作りおやつ	ココアマフィン	@52	
	17	SHなごみ手作りおやつ	さつま芋きなこ団子	@52	
	13	特養えん 手作りおやつ	ベビーカステラ	@52	
	25	小規模えん手作りおやつ	ドーナツ	行事費	
	11	小規模 昼食作り	お好み焼き・スープ	行事費	
<p>○その他 各月 祝祭日には祝い膳を実施 (デイセンター、グループホームなごみの家、地域密着型特別養護老人ホームぬくもりの家えん、小規模多機能ホームなごみの家・ぬくもりの家えん)</p>					

平成 27 年度 総務課事業報告

1. 総括

平成 27 年度は、本部・総務会議の毎月開催を目指し、職員相互の業務の実施状況や行事予定の共有を図り、さらには、総務課は法人全体の経営・施設運営の業務を担うセクションであることの意識付けを行った。単なる事務部門という位置づけではなく、施設の行事など事前準備を含めて積極的に参加するよう職員の考え方や意識に変化が生じた。

また、事務部門においては、現行業務の負担軽減を図るため、年間行事予定表の総務課作成を廃止し、各事業所間で共有できる行事予定表の導入を行った。職員の出張旅費については、現金支給から口座振込に変更するとともに旅費支給上限額を設けた。

さらに、ご利用者からの電話照会が多い介護支援センター（居宅介護支援事業所）については、総務課で一度電話を受信してから同センターに転送する方法を改め、直通回線を利用し、ご利用者の利便性向上に努めた。

その他、「被服貸与規則」や、「頭髪の染色に関する内規」、「セクシャルハラスメントの防止に関する要綱」の整備を行った。

「広報活動」は、広報誌・ホームページ・ブログを通して情報発信を充実させ、昨年に引き続き成果を残すことができた。しかし、誤字、脱字などが多数見られ、改めて校正時におけるチェック体制の構築が必要となった。ホームページ・ブログについては、使いやすさや見やすさなどについて検討を行い、必要な改善を行った。

一方で十分に取り組むことができなかった、データ管理に関する新システムの運用面については、新年度において活用可能なシステムづくりを図る。

2. 次年度に向けて

平成 28 年度は、新たな体制の中で平成 27 年度の反省を踏まえ、社会福祉法人・高齢者福祉施設の総務部門に求められる使命と役割の正しく認識し、経理事務を初めとするが業務がスムーズに行え、事務処理が簡素化されるようなシステムづくりに注力する。

特に経営の羅針盤ともなる会計データの提出に関しては、正確性と期日厳守を徹底し、財政健全化に必要なデータを即時即応で提出できるようにする。

また、各事業所の勤務実態に対応した、勤打システムの導入について検討を行う。

3. 運営状況・統計資料

(1) 職員の状況

単位：人

役職・職種 区分		平成 27 年度 期 首	平成 27 年度 期 末	増 減
施設長		1	1	0
副施設長		1	0	▲1
介護部長		1	0	▲1
地域密着型サービス事業部長		0	1	1
稚拙・在宅サービス事業部長		0	1	1
事務員	正 職 員	3	3	0
	嘱 託 職 員	1	1	0
	パート職員	1	1	0
生活相談員	正 職 員	2	2	0
ケアマネジャー	正 職 員	4	4	0
出向ケアマネジャー	正 職 員	1	1	0
計画作成担当者	正 職 員	3	3	0
サービス提供責任者	正 職 員	2	2	0
介護員	正 職 員	60	58	▲2
	パート職員	29	25	▲4
	派遣職員	1	0	▲1
ホームヘルパー	正 職 員	1	1	0
	パート職員	3	3	0
	登 録	3	2	▲1
看護職員	正 職 員	5	5	0
	パート職員	5	5	0
理学療法士	正 職 員	0	1	1
管理栄養士	正 職 員	1	2	1
栄養士	正 職 員	1	0	▲1
調理員	パート職員	11	12	1
運転員	パート職員	1	2	1
用務員	嘱 託 職 員	1	1	0
夜間管理当直員	パート職員	2	2	0
	派 遣 職 員	1	1	0
嘱託医		1	1	0
合 計		146	141	▲5

注) 兼務職員については、主たる職務へカウントする。

(2) 賞与支給状況

時 期	支給月数
	正職員
6月	0.8～1.8
12月	1.2～2.2
計	2.0～4.0

(3) 寄付金関係

単位：円

区 分	件 数	総 額	摘 要
寄付金	7	740,000	法人・各事業所運営のため

(4) 環境整備・苑内修繕状況(10万円以上)

(単位：円)

月	環境整備・修繕名	整備・修繕先	費用	実施施設名
4	建具修繕工事	盛永組	172,800	なごみの家
5	給湯設備交換修理	太陽設備	194,400	なごみの家
6	外構補修工事	立山青野建設	112,428	なごみの家
7	職員休憩室改修工事	インテリアサンワ	132,646	鷹栖さつき苑
	舗装工事	立山青野建設	115,668	なごみの家
8	スプリンクラー設備修理	太陽設備	355,644	鷹栖さつき苑
	ウッドデッキ、看板塗装	くどう塗装	170,000	ぬくもりの家えん
	外構補修工事	立山青野建設	262,332	なごみの家
9	トイレ手すり修理	斎藤工業所	131,760	鷹栖さつき苑
	煙感知器取替	五光トータル防災	204,120	なごみの家
11	スプリンクラー設置工事	柴滝設計	216,000	ぬくもりの家えん
	ボイラー設備修理	東和	159,840	鷹栖さつき苑
	小規模給湯器取替	太陽設備	205,200	なごみの家
2	自動ドア開閉装置修理	ナブコシステム	313,200	ぬくもりの家えん

(5) 苦情・意見に対する改善状況

部 署	受付月	苦情・意見の内容	改善状況
総務課		なし	
特養さつき苑	3月	職員の家族に対する電話対応	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
ショートステイ		なし	
ヘルプサービス	2月	家庭訪問時の職員の対応	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。

デイサービス	7月	緊急搬送時の対応 1件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
	9月	ケアの内容 1件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
	10月	他部署職員への対応 1件	他部署と連携し、必要な改善を実施。
介護センター	3月	職員の連絡体制 1件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
GHなごみの家		なし	
SHなごみの家	5月	職員への対応 1件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
特養えん		なし	
SHえん	12月	家族の住所の誤り 1件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
	11月	ケアの内容 1件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
	1月	個人情報の取扱い 1件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。

平成 27 年度 特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑・ショートステイさつき苑 事業報告

1. 総括（今年度の取り組みの成果）

平成 27 年度は、入居者の自立支援とQOL向上のための取り組みとして、パート職員も含めた介護職員が「介護過程の展開」に取り組んだ。「介護過程の展開」は介護専門職として基本的な思考過程となり、今年度は研修会を実施し介護の専門性と役割の共通理解を図ったうえで実践した。この取り組みにより入居者の理解が深まったほか、目標をチームで共有し支援していくことでチームケアの重要性も学ぶことができた。

もう一つの取り組みとして「できる限り最期まで口から食事をとっていただく」「誤嚥を予防し、安全に食事をとっていただく」ために、多職種協働によるミールラウンドを実践した。ミールラウンドは嚥下機能の低下により誤嚥のリスクがある方、または認知症により食事摂取が困難になってきている方に対し医師の指示のもと嚥下・摂食状況を評価し、管理栄養士、看護師、介護士、ケアマネージャーが、直接ご本人の食事摂取の状況を観察したうえでカンファレンスをするという手順で行った。この取り組みにより、日常では気が付きにくかった状況を把握することができ、状態が悪化する前に「よりよい」方法を検討することで、誤嚥の予防につなげることができた。実際、今年度肺炎による入院者数は前年度と比較し半減（10 名から 4 名）し、ミールラウンドを開始した 1 月以降は新たに入院した方はいない。

「働きやすい職場づくり」は、リフレッシュ休暇の取得推進にとりくんだ。スタッフの不安を取り除く定期面談、新任職員をサポートするエルダー面談を定期的に実施し、今年度の離職・退職者はゼロであった。

「適正収益の確保」では、特養の入院者数が延べ 488 日と目標 250 日以内を大きく上回り目標稼働の 98%に及ばず、97.3%であった。入院者実人数は前年度よりも少ないが、一人当たりの平均入院日数が約 24 日間と長期入院が多く、日常生活における早期のカンファレンスと予防的な支援を継続する一方で、重症化するリスクがある病気等をもつ入居者については、医師との連携をより密にし、早めの受診の判断も必要と考えられる。また、ショートステイ事業の稼働が大幅に上昇。長期的な利用者が増加したことが要因だが、平成 27 年度の特養入所要件の厳格化（原則要介護 3以上が入居可とする）が、在宅生活が困難となった軽度者の受け皿となった背景が一つとして考えられる。

2. 展望（次年度に向けて）

平成 28 年度は、まず入院者の減少に努めたい。今後高齢者人口がますます増加していく中で特養入居者はさらに重度化していくことが予測される。入居者は様々な疾患を併せ持つ方も増えてきており、日々の観察力を高め、早期に対応していくことが重要となる。そのために、スタッフ一人一人の介護の知識や技術はもとより、医療的知識、栄養的知識、ソーシャルワーク技術を高めることは必須である。また多職種によるカンファレンスを定期的に行い、悪化前の状況把握と早期の対応をとることで入院者または入院が必要となっても長期化を予防する。

次に、平成 27 年度に続き「介護過程の展開」の実践である。平成 27 年度介護過程の展開に取り組み、改めてご本人を知ることの大切さ、病気や障がいの理解、根拠に基づくケアとチームで取り組む重要性を理解した。また、そのことは私たち介護施設職員の専門性を高め、やりがいにもつながっていく取り組みとなった。良質高度なケアサービスの提供には、単に個々の知識や技術だけでなく、そのことをどう実践に活かしていけるかが重要でありその思考過程の仕組みも必要といえる。ご入居者の「より良い暮らし」をめざし、平成 28 年度も「介護過程の展開」に取り組む。

ショートステイ事業については、今後ますます増加する在宅の中重度の介護者を支援するため、ショートステイを利用時に本人の状態を把握し体調を整え、ケアマネージャーやご家族と連携を図りながら在宅生活の継続を支援する。

「働きやすい職場づくり」では、リフレッシュ休暇の取得推進の継続と業務改善について随時検討し、サービス残業ゼロを目指す。また「スタッフ育成」については、スタッフの経験年数に合わせたスキルアップ研修の実施やユニット異動を積極的にすすめる。

最後に、「適正収益の確保」である。特養事業の目標稼働率 98%以上(目標介護保険収入 203,757,487 円)、ショートステイ事業の目標稼働は 80%以上(目標介護保険収入 28,147,585 円)とする。

3. 業績報告

(1) ベッド稼働率

(単位：%)

事業名	目標ベッド稼働率 (A)	実際ベッド稼働率 (B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度ベッド稼働率 (C)	伸長率 (B) / (C) × 100
特別養護老人ホーム事業	98.0%	97.2%	97.2%	97.0%	100.2%
短期入所生活介護事業	80.0%	87.9%	109%	62.8%	139.9%

(2) 延べ入居者人数

(単位：人)

事業名	目標延べ入居者数 (A)	実際延べ入居者数 (B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度実際延べ入居者数 (C)	伸長率 (B) / (C) × 100
特別養護老人ホーム事業	18,600	17,791	95.7%	18,122	98.2%
短期入所生活介護事業	2,336	3,211	137.5%	1,980	162.2%

(3) 事業収入 (介護保険収入・介護予防事業委託費)

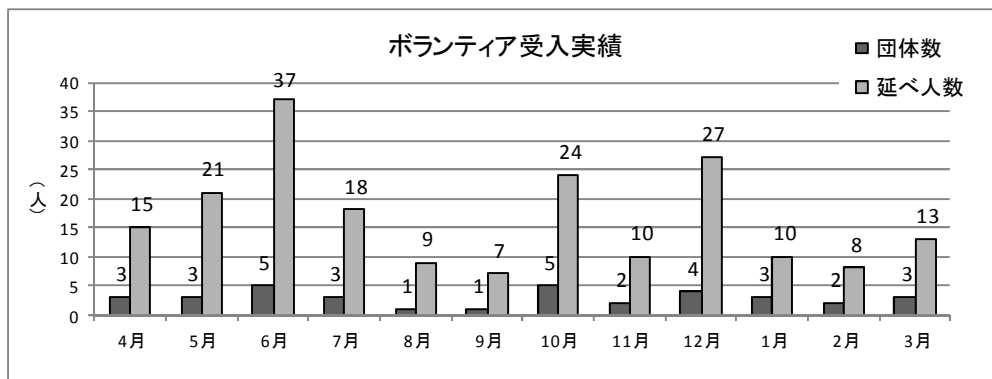
(単位：千円)

事業名	目標収入 (A)	実際収入 (B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度収入 (C)	伸長率 (B) / (C) × 100
特別養護老人ホーム事業	206,285	199,775	96.8%	206,307	96.8%
短期入所生活介護事業	26,120	29,527	113%	24,101	122.5%

4. ボランティアの状況

(1) ボランティア受け入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	3	3	5	3	1	1	5	2	4	3	2	3	35
延べ人数	15	21	37	18	9	7	24	10	27	10	8	13	199



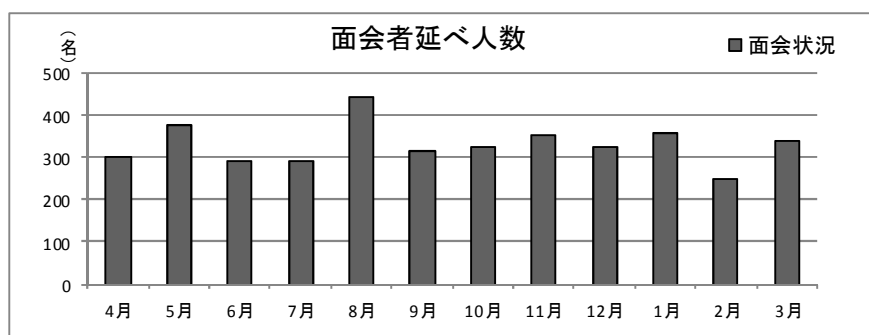
(2) ボランティア協力団体一覧

	団体名	活動内容
町内	IZATAKA	ダンス披露
	共栄老人会	お話相手
	喜楽会	お話相手
	銀星老人会	お話相手
	5区福寿老人会	お話相手
	十五期会	行事手伝い、大掃除、餅つき
	親交老人会	お話相手
	親睦老人会	お話相手
	大成老人会	花壇整備
	鷹栖オサラッペ太鼓	太鼓演奏披露
	鷹栖黎明太鼓	太鼓演奏披露
	鷹栖小学校スクールバンド	楽曲披露
	たかす吹奏楽団	楽曲披露
	鷹栖青年会	行事手伝い
	鷹栖中学校吹奏楽部	楽曲披露
	鷹栖町赤十字奉仕団	外窓拭き
	町内老人会	お話相手
	21区老人会	お話相手

	ひまわり会	シーツ交換
	藤野老人会	お話相手
	フレッシュ親睦会	お話相手
	北成老人会	お話相手
	北斗老人会	お話相手
町外	北の大地	踊り(よさこい)披露
	シダックス	行事手伝い
	照鷹会	民謡披露
	セラピードッグあさひかわ	犬との交流会
	大雪風神会	踊り(よさこい)披露
学校	旭川大学短期大学部	行事手伝い
	名寄市立大学	行事手伝い
	北野小学校4年生	交流会
	鷹栖小学校ボランティア委員会	交流会
	鷹栖高等学校	行事手伝い
	鷹栖養護学校高等部	交流会

5. 面会状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面会者延べ 人数(名)	301	375	292	293	443	314	323	353	326	359	250	338	3,967



6. 行事

実施日	行事名	内容	担当者
平成27年5月22日	北野小学校交流会	北野小学校4年生の生徒さんが来苑され、入居者と一緒に手作りのゲームや、合唱を聴かせて下さり交流を行う。	尾上
5月27日	チャレンジデー	入居者が2チームに分かれ、屋内でボールをパットで打ちホールインした点数を競うゲームを行う。	尾上・米澤

6月12日	すずらんユニット 買い物ツアー	ご入居者自身で品物を選ぶことで、買い物を楽しんで頂く。	佐藤(美) 岡田
6月25日	鷹栖養護学校交流会	鷹栖養護学校高等部の生徒さんが来苑され、入居者と一緒にゲームや作品を作り楽しい時間を過ごす。	尾上
6月25日	手作りおやつ たんぼぼユニット	たんぼぼユニットのご入居者にお手伝いして頂き、一緒にどら焼き作りを行う。	鈴木栄養士 下川
7月2日	鷹栖養護学校交流会	鷹栖養護学校の生徒さんが来苑され、ご入居者と一緒に七夕の作品作りを行う。	尾上
7月12日	第28回さつき祭	ご入居者のご家族や、地域の方と一緒にふれあいながら、出店や催し物を通じて夏を感じ楽しまれる。	西 谷岡
7月17日	照鷹会民謡	照鷹会の方々が来苑され、民謡を聴かせて下さる。ご入居者も一緒に口ずさまれ楽しまれる。	尾上
7月30日	焼肉パーティー	中庭で焼肉を行い、普段と違った雰囲気の中でジンギスカンや焼き魚などの味覚を楽しんで頂く。	大倉 鈴木栄養士
7月27日	なでしこユニット 花火大会	ご入居者とスタッフとで花火を行い夏の夜を楽しむ。	西山
8月9日	嵐山神輿渡御観覧	さつき苑正面玄関にて御神輿の観覧を行い、夏祭りの雰囲気を楽しまれる。	伊藤
8月9日	熱夏フェスタ 花火観覧	熱夏フェスタの会場へ行き、ご入居者に花火を観て頂き夏のひとときを味わって頂く。	伊藤
8月17日	すずらん・たんぼぼ 流しそうめん	夏の風物詩の、流しそうめんをご入居者とスタッフで共に楽しむ。	近間 下川
8月18日	なでしこユニット スイカ割り	スイカ割りを行い、楽しみながら召し上がって頂き夏を感じて頂く。	住友
8月20日	鷹栖小ボランティア委員会交流	鷹栖小のボランティア委員会の子供達が来苑し、ご入居者と一緒にゲームを行い楽しむ。	尾上
9月10日	鷹栖養護学校交流会	鷹栖養護学校の生徒さんが来苑され、ご入居者と一緒に	谷口
9月13日	新秋祭	ご家族を招いて会食を行い、ご長寿を一緒にお祝いする。	吉田 菅原
10月8日	北野小学校介護 擬似体験	北野小学校4年生の児童が、さつき苑に来苑し介護用品や補助具、車両にふれ体験することで高齢者への理解を深める。	尾上 谷口 鈴木栄養士
10月12日	秋のチャレンジデー	ご入居者とスタッフとで2チームに分かれ、サッカーを楽しむ。	谷口
10月25日	すずらんユニット カクテルパーティー	午後のティーの時間に、いつもと違った飲み物をご入居者の前でつくり味わい楽しんで頂く。	寺村

10月29日	たんぼぼユニット 芋煮会	ご家族を招いてご入居者と一緒に、さつき苑で収穫した芋を調理し鍋を囲んで会食を行い、和やかな時間を過ごす。	角谷
11月11日	なでしこユニット 寿司パーティー	ユニットスタッフが手作りし、ご入居者に普段と違った食事を楽しんで頂く。	西
11月30日	すずらんユニット 夜の外出ツアー	ご入居者とスタッフで、夕食を回転寿司に食べに行き普段と違う食事を楽しんで頂く。	近間
12月13日	すずらんユニット クリスマス会	日頃関わっているご入居者に感謝の気持ちを伝え、スタッフと一緒に季節行事を楽しんで頂く。	伊藤
12月25日	ライオンズ寿司会	鷹栖町ライオンズクラブの方々が来苑され、ご入居者と職員にお寿司を振舞って下さり、駒寿司さんが会場で握って下さったお寿司を会食する。	尾上 鈴木栄養士
平成28年1月14日	新年会	新年を迎えたお祝いをご入居者と職員とで鍋を囲み会食し、獅子舞や昨年度のスライドを観て楽しむ。	佐藤(美) 角谷
2月5日	すずらん鍋昼食会	ご入居者、ご家族と職員と一緒に、新年を迎えたお祝いを行う。	菅原
2月17日	なでしこ鍋昼食会	ご入居者、ご家族と職員と一緒に、新年を迎えたお祝いを行う。	佐藤(晴)

7. 会議

(1) 生活福祉課会議

月日	議題内容	参加人数
平成27年4月13日・15日	・新年度を迎えるにあたって・良いあいさつ大賞・平成26年度活動計画評価(報告)・平成27年度事業計画、及び活動計画・平成27年度年間計画、及び行事、委員会、係等の分担・リフレッシュ休暇の希望取得について・その他(丁寧な言葉、提出物の期限、心配について)	26人

(2) リーダー会議

月日	議題内容	参加人数
平成27年4月7日	1 前月事故発生状況、分析 2 業務確認、改善(2名夜勤の実施状況の確認と改善) 3 平成26年度活動計画評価 4 各ユニットより(困難事例検討)(スタッフマネジメント) 5 稼働率の確認 6 平成27年度事業計画及び活動計画について、平成26年度事業報告について	7人
5月11日	1 前月の事故発生状況、分析 2 業務確認・改善(入居者担当制について)(リーダー業務の見直しについて)(新規リーダーミーティングの実施について) 3 各ユニットより(困難事例検討)(スタッフマネジメント) 4 平成27	7人

	年度活動計画進捗状況確認 5 稼働率の確認 6 入院者・退居者の分析と検証 7 その他（6月からの体制について）	
6月2日	1 前月の事故発生状況、分析 2 業務確認・改善（環境整備について）（2名 夜勤の実施状況の確認と改善）（苦情について）（リーダー業務の見直しに ついての確認）（リーダーミーティングの実施についての確認） 3 平成 27 年度活動計画進捗状況確認 4 稼働率の確認 5 入院者・退居者の分析と検証 6 その他（面談制度の実施）	6人
7月7日	1 前月の事故発生状況、分析 2 業務確認・改善（介護過程の展開実践につ いて）（主任業務について）（リーダー業務の見直しについての確認）（リー ダーミーティングの実施についての確認） 3 平成 27 年度活動計画進捗状況 確認 4 稼働率の確認 5 入院者・退居者の分析と検証 6 その他（面談制度の 進捗状況確認）	7人
8月4日	1 困難事例カンファレンス（1名） 2 業務確認・改善（介護過程の展開実践 について確認） 3 前月の事故発生状況、分析 4 平成 27 年度活動計画進捗状 況確認 5 稼働率の確認 6 入院者・退居者の分析と検証 7 その他（面談制度 の進捗状況確認）	7人
9月3日	1 困難事例カンファレンス（3名） 2 業務確認・改善（リーダーミーティ ングの実施状況）（リーダー業務について）（季節用品の入れ替えについて）（エ ルダ一面談の実施状況） 3 前月の事故発生状況、分析 4 平成 27 年度活動 計画進捗状況確認 5 稼働率の確認 6 その他	7人
10月6日	1 困難事例カンファレンス（4名） 2 業務確認・改善（ケアチェックに必要な 帳票の管理について）（オムツ、パットの使用について）（エルダ一面談 の実施状況） 3 前月の事故発生状況、分析 4 稼働率の確認 5 平成 27 年度 活動計画進捗状況確認 6 その他（各ユニットの大掃除について）	7人
11月4日	1 困難事例カンファレンス（4名） 2 業務確認・改善（すずらんユニットオ ペレーションについて、各オペレーション更新及び運用について）（エルダ 一面談の実施状況） 3 前月の事故発生状況、分析 4 稼働率の確認 5 平成 27 年度活動計画進捗状況確認 6 その他（サービス向上発表会に向けて）	7人
12月3日	1 困難事例カンファレンス（5名） 2 業務確認・改善（すずらんユニットオ ペレーションについて）（残業について）（エルダ一面談、定期面談の実施 状況） 3 前月の事故発生状況、分析 4 稼働率の確認 5 平成 27 年度活動計 画進捗状況確認 6 その他（サービス向上発表会までのスケジュール）	7人
平成 28 年 1 月 5 日	1 困難事例カンファレンス（2名） 2 業務確認・改善（残業について・途中 経過の評価）（ユニット環境について）（エルダ一面談、定期面談の実施状 況） 3 前月の事故発生状況、分析 4 稼働率の確認 5 平成 27 年度活動計画 進捗状況確認 6 その他（専門職としての心構え）	7人

2月2日	平成28年度生活福祉課 事業計画案策定	7人
3月4日	1 困難事例カンファレンス（4名）2 業務確認・改善（すずらんユニット業務の改善・入浴担当・入浴準備・ショート受け入れについて）（エルダー面談、定期面談の実施状況）3 前月の事故発生状況、分析 4 稼働率の確認	6人

（3）たんぽぽユニット会議

月日	議題内容	参加人数
平成27年4月10日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、歯ブラシの定期交換、モニタリング提出確認表、H27年度ユニット行事計画、誕生日を迎えられる方、提出物について、徹底事項、今月の目標、買い物担当	11名
5月14日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、年間計画、誕生日を迎えられる方、提出物について、徹底事項、居室担当制について、今月の目標、買い物担当、衣替えについて、危険予知トレーニング	11名
6月17日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、年間計画、誕生日を迎えられる方、提出物について、徹底事項、今月の目標、買い物担当、介護過程の展開の説明	11名
7月17日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、年間計画、誕生日を迎えられる方、提出物について、徹底事項、今月の目標、買い物担当、介護過程の展開に関する手順・実演、入浴準備・居室清掃について、食中毒予防研修	12名
8月21日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、年間計画、誕生日を迎えられる方、提出物について、徹底事項、今月の目標、買い物担当、キックオフミーティング、介護過程の展開実演・評価	13名
9月18日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、年	12名

	間計画、誕生日を迎えられる方、提出物について、徹底事項、今月の目標、買い物担当、介護過程の展開実演・評価、ショートスティの方への対応について	
10月16日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、年間計画、誕生日を迎えられる方、提出物について、徹底事項、今月の目標、買い物担当、パット形態の見直しについて、介護過程の展開実演・評価、個別の買い物について	12名
11月17日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、年間計画、誕生日を迎えられる方、提出物について、徹底事項、今月の目標、買い物担当、個別の買い物について	12名
12月17日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、年間計画、誕生日を迎えられる方、提出物について、徹底事項、今月の目標、買い物担当、パット形態の見直しについて、介護過程の展開評価、個別の買い物について	12名
平成28年1月18日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、年間計画、誕生日を迎えられる方、提出物について、徹底事項、今月の目標、買い物担当、個別の買い物について、年間計画作成のための事前アンケート、食席について	12名
2月18日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、年間計画、誕生日を迎えられる方、提出物について、徹底事項、今月の目標、買い物担当、年間計画作成	11名
3月15日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、年間計画、誕生日を迎えられる方、提出物について、徹底事項、今月の目標、買い物担当、個別の買い物について、シャワーボトルの洗浄についての徹底、次年度計画について、感染症の予防について	12名

(4) なでしこユニット会議

月 日	議題内容	参加人数
平成 27 年 4 月 14 日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、事故の検討・ハイリスク者(平成26年度の事故分析)、今月の検討・確認事項(担当変更について、オペレーションの確認について等)、平成27年度のユニット行事について、5月の誕生者、行事の予定、今月の目標	11名
5月21日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス・ターミナルケアについて)、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討・ハイリスク者(滑り止めマットの使用について)、今月の検討・確認事項(担当変更について、衣替えについて等)、平成27年度のユニット行事担当割り、6月の誕生者、行事の予定、今月の目標	11名
6月22日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、事故の検討、今月の検討・確認事項(血圧測定について等)、7月の誕生者、行事の予定、今月の目標	11名
7月22日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、介護過程の展開に関する手順、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、事故の検討・ハイリスク者、今月の検討・確認事項(担当について、居室の整理整頓について、ネームについて等)、8月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名
8月25日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、介護過程の展開、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、事故の検討・ヒヤリハット・ハイリスク者、今月の検討・確認事項(担当について等)、9月の誕生者、行事の予定、今月の目標	11名
9月24日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、介護過程の展開、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、事故の検討・ハイリスク者、今月の検討・確認事項(衣替えについて等)、10月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名
10月27日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、介護過程の展開、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、事故の検討・ハイリスク者、今月の検討・確認事項(担当について、加湿器・換気について等)、11月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名

11月20日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、介護過程の展開、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、事故の検討・ハイリスク者、今月の検討・確認事項(入居者の服装について等)、12月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名
12月22日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、腹部マッサージについて、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、介護過程の展開、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討・ハイリスク者、今月の検討・確認事項(オペレーションについて等)、1月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名
平成28年1月22日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、介護過程の展開、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、事故の検討・ハイリスク者、今月の検討・確認事項(担当について、居室内の整理整頓について等)、2月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名
2月24日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、介護過程の展開、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、事故の検討・ハイリスク者、今月の検討・確認事項(徹底事項について)、平成28年度ユニット行事について、3月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名
3月17日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、介護過程の展開、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、事故の検討・ハイリスク者、今月の検討・確認事項(徹底事項について)、平成28年度ユニット行事担当割り、4月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名

(5) すずらんユニット会議

月日	議題内容	参加人数
平成27年4月22日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 買い物書記担当、来月入居者誕生日の確認、新入居者担当、徹底事項、目標 設定	12名
5月26日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、買 い物書記担当、来月入居者誕生日の確認、年間計画確認、徹底事項、ご家族 の手紙について、ケアプラン更新について、入居者担当の変更について、危険 予知トレーニング、目標設定	12名

6月25日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 買い物書記担当、来月入居者誕生日の確認、年間計画確認、徹底事項、目標 設定	11名
7月24日	ケアカンファレンス、水分提示について、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及 びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、 事故の検討、買い物書記担当、来月入居者誕生日の確認、年間計画確認、徹 底事項、介護過程の展開について、食中毒予防研修、目標設定	11名
8月31日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、介護過程の展開、褥瘡発症者及び ハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事 故の検討、買い物書記担当、来月入居者誕生日の確認、年間計画確認、目標 設定	12名
9月28日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 買い物書記担当、来月入居者誕生日の確認、年間計画確認、徹底事項、 介護過程の展開、目標設定	13名
10月22日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 買い物書記担当、来月入居者誕生日の確認、年間計画確認、徹底事項、 介護過程の展開、目標設定	13名
11月26日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 買い物書記担当、来月入居者誕生日の確認、年間計画確認、徹底事項、 オペレーションの見直しについて、介護過程の展開、目標設定	13名
12月28日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 買い物書記担当、来月入居者誕生日の確認、年間計画確認、徹底事項、 介護過程の展開、目標設定	13名
平成28年1月26日	ケアカンファレンス、業務改善の確認、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及び ハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事 故の検討、買い物書記担当、来月入居者誕生日の確認、年間計画確認、徹底 事項、 目標設定	12名
2月29日	ケアカンファレンス、業務改善の確認、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及び ハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事 故の検討、買い物書記担当、来月入居者誕生日の確認、徹底事項、目標設定	13名

3月22日	ケアカンファレンス、業務改善の確認、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、買い物書記担当、来月入居者誕生日の確認、平成28年度すずらん行事計画作成、徹底事項、目標設定	13名
-------	--	-----

(6) ナース会議

月日	議題内容	参加人数
平成27年4月16日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・業務改善と確認・下剤、向精神薬の見直し・経口摂取維持に対する取り組み・その他	4名
6月11日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・業務改善と確認・下剤の見直し・向精神薬、眠剤、認知症改善薬等の見直し・その他(備品管理について)	4名
7月9日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・業務改善と確認・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し・その他	4名
8月5日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・業務改善と確認・個別機能訓練について・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し	6名
9月10日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・業務改善と確認・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し	6名
10月8日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し・その他(活動計画中間評価)	6名
12月8日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討経口摂取維持に対する取り組み・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し ・その他(インフルエンザ予防接種・肺炎球菌ワクチンの接種について)	5名
平成28年2月16日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・経口摂取維持に対する取り組み・下剤の見直し・向精神薬、眠剤認知症改善薬等の見直し・その他(平成28年度事業計画について)	6名
3月8日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有	5名

	有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・業務改善（インフルエンザ対応の反省）・経口摂取維持に対する取り組み・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し・その他	
--	---	--

平成 27 年度特別養護老人ホームさつき苑現況報告書

(自：平成 27 年 4 月 1 日 ～ 至：平成 28 年 3 月 31 日)

1. 入居者状況

(1) 利用（入退所）状況

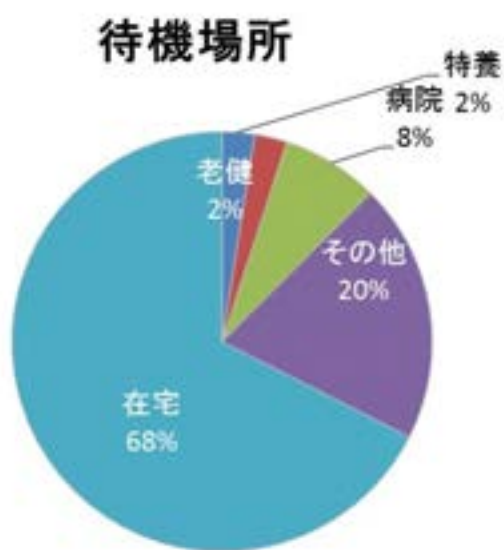
年 度	定 員	新年度より 繰越人員			新規入所			死亡・退所人員						翌年度へ 繰越人員		
		男	女	計	男	女	計	死亡			退所			男	女	計
								男	女	計	男	女	計			
63	50				18	34	52	1	0	1	1	0	1	16	34	50
元	50	16	34	50	2	1	3	2	0	2	1	0	1	15	35	50
2	50	15	35	50	2	4	6	0	3	3	3	0	3	14	36	50
3	50	14	36	50	0	8	8	1	2	3	2	3	5	11	39	50
4	50	11	39	50	1	5	6	4	3	7	0	1	1	8	40	48
5	50	8	40	48	2	1	3	0	1	1	0	0	0	10	40	50
6	50	10	40	50	6	2	8	6	1	7	0	1	1	11	39	50
7	50	11	39	50	3	6	9	1	7	8	0	2	2	13	36	49
8	50	13	36	49	2	3	5	1	2	3	1	0	1	14	36	50
9	50	14	36	50	4	4	8	3	5	8	0	0	0	13	37	50
10	50	13	37	50	3	4	7	3	3	6	1	0	1	12	38	50
11	50	12	38	50	0	4	4	0	3	3	1	0	1	11	39	50
12	50	11	39	50	4	4	8	1	6	7	1	0	1	13	37	50
13	50	13	37	50	3	7	10	2	6	8	0	2	2	14	36	50
14	50	14	36	50	4	5	9	2	4	6	1	1	2	15	36	51
15	50	15	36	51	4	8	12	6	5	11	1	1	2	15	36	51
16	50	15	36	51	5	6	11	6	7	13	0	2	2	14	35	49
17	50	14	35	49	7	8	15	5	7	12	0	1	1	15	35	50
18	50	15	35	50	3	8	11	3	1	4	2	5	7	13	37	50
19	50	13	37	50	2	9	11	0	4	4	1	5	6	14	37	51
20	50	14	37	51	8	7	15	2	6	8	4	4	8	17	34	51
21	50	17	34	51	6	9	15	0	3	3	6	6	12	16	35	51
22	50	16	35	51	1	9	10	4	3	7	1	2	3	11	40	51
23	50	11	40	51	5	12	17	2	4	6	2	6	8	13	39	52
24	50	12	40	52	2	7	9	0	5	5	1	2	3	12	40	52
25	50	12	40	52	1	3	4	1	2	3	1	0	1	11	41	52
26	50	11	41	52	5	7	12	0	2	2	4	6	10	12	38	50
27	50	12	38	50	5	8	13	3	6	9	1	3	4	12	38	50

(2) 入居者住所地（平成 28 年 3 月 31 日現在）

	男性	女性	合計
鷹栖町	11	33	44
旭川市	1	5	6
合計	12	38	50

(3) 入居者待機者状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

	特養	老健	病院	その他	在宅	合計
鷹栖町	1	1	3	8	27	40
旭川市	0	1	1	2	3	7
和寒町	0	0	0	1	0	1
比布町	0	0	1	0	0	1
滝川市	0	0	0	0	2	2
札幌市	0	0	1	1	0	2
帯広市	0	0	0	1	0	1
計	1	2	6	13	32	53

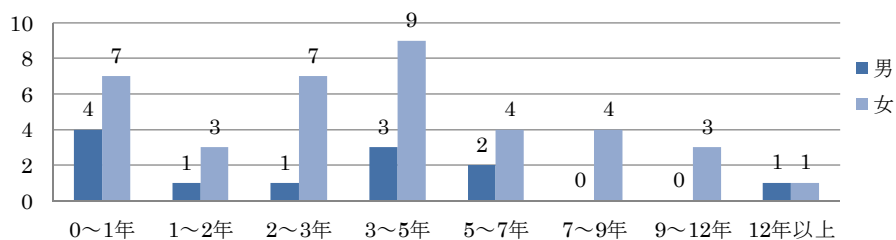


(4) 在所期間一覧表（平成 28 年 3 月 31 日現在）

	男	女	合計
0~1 年	3	8	11
1~2 年	4	7	11
2~3 年	1	3	4
3~5 年	4	9	13

5～7年	0	7	7
7～9年	0	1	1
9～12年	0	1	1
12年以上	0	2	2
合計	12	38	50

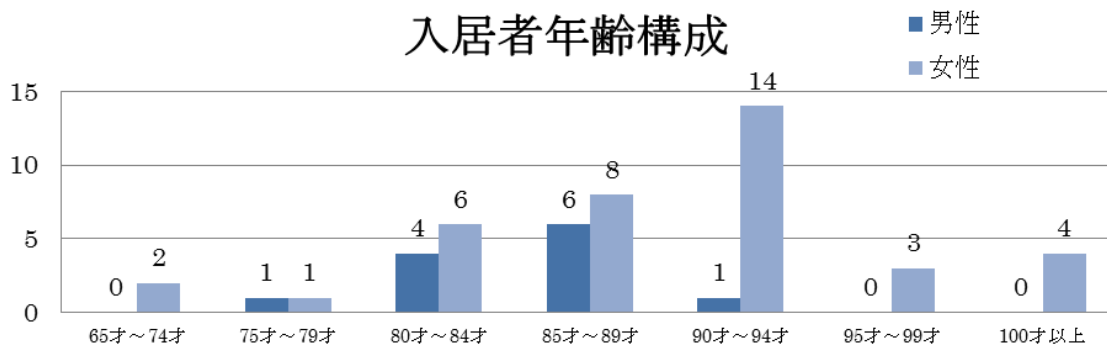
在所期間別入居者人数



(5) 入居者年齢構成 (平成28年3月31日現在)

	在籍者		
	男性	女性	計
65才～74才	0	2	2
75才～79才	1	1	2
80才～84才	4	6	10
85才～89才	6	8	14
90才～94才	1	14	15
95才～99才	0	3	3
100才以上	0	4	4
計	12	38	50

入居者年齢構成



(6) 介護度の状況

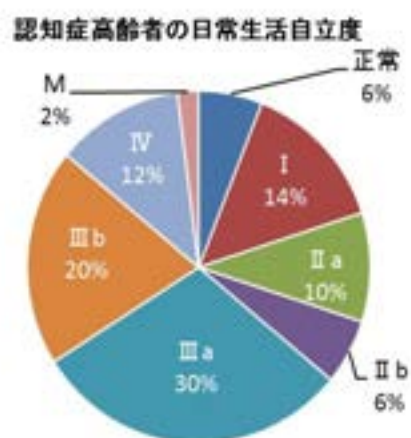
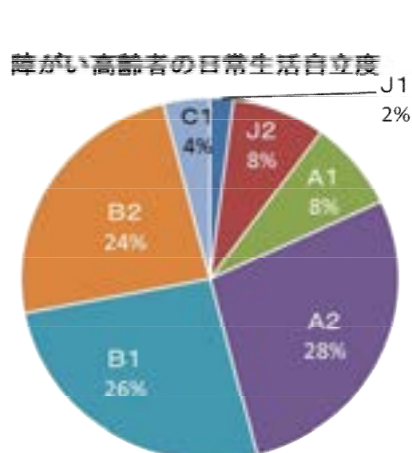
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
計	5	8	8	9	20	50
男性	1	2	4	1	4	12
女性	4	6	4	8	16	38

入居者要介護度分布



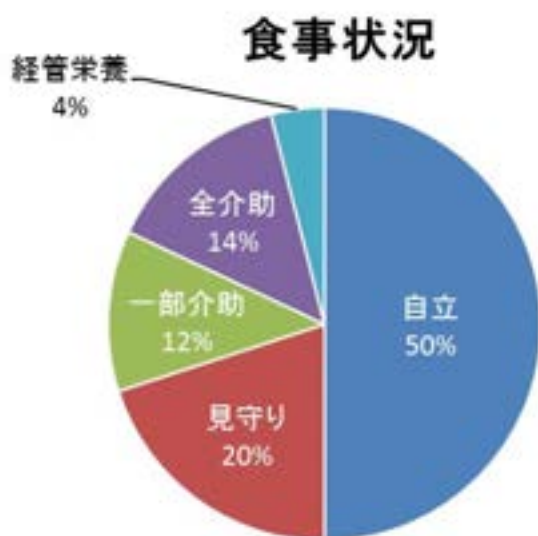
(7) 身体状況 (障害高齢者の日常生活自立度 (寝たきり度) 判定)

	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	計
計	1	4	4	14	13	12	2	0	50
男性	1	0	1	3	4	3	0	0	12
女性	0	4	3	11	9	9	2	0	38



(8) 認知症の状況（認知症高齢者の日常生活自立度判定）

	正常	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	計
計	3	7	5	3	15	10	6	1	50
男性	2	2	2	0	5	1	0	0	12
女性	1	5	3	3	10	9	6	1	38



(9) 食事状況（平成 28 年 3 月 31 日）

	自立	見守り	一部介助	全介助	経管栄養	合計
合計	25	10	6	7	2	50
男性	7	2	3	0	0	12
女性	18	8	3	7	2	38

(10) 食事形態

種別	全体	(うちソフト食)
常食	35	6
治療食	13	5
胃瘻	2	-
合計(人)	50	11

(11) 治療食の提供状況

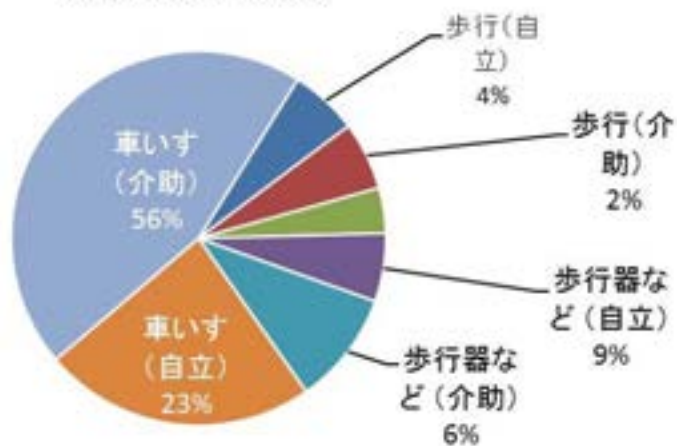
種別	内容	人数
糖尿病食	エネルギー(1040kcal)・減塩(6g)	1

	エネルギー(1200kcal)	3
	エネルギー(1200kcal)・減塩(6g)	2
	エネルギー(1280kcal)	1
	エネルギー(1440kcal)・減塩(6g)	1
腎臓病食	エネルギー(1600kcal)・たんぱく(30g)・減塩(6g)	1
肝臓病食	エネルギー(1200kcal)・20%(脂質/エネルギー)	1
	エネルギー(1200kcal)・20%(脂質/エネルギー)・減塩(6g)	1
胃潰瘍食	エネルギー(1200kcal)・減塩(6g)	1
減塩食	減塩(6g)	1
合 計		13

(12) 移動状況 (平成28年3月31日現在)

	歩行		杖	歩行器など		車いす	
	自立	要介助	自立	自立	要介助	自立	要介助
合計	3	3	2	3	5	12	23
男性	1	1	1	0	2	4	3
女性	2	2	1	3	3	8	20

移動手段の状況



(13) 入浴状況 (平成28年3月31日現在)

	一般浴		個浴	車いす浴	臥床浴	合計
	自立	介助				
合計	0	11	21	18	0	50

男性	0	3	5	5	0	13
女性	0	8	16	13	0	37

(14) 排泄状況 (平成28年3月31日現在)

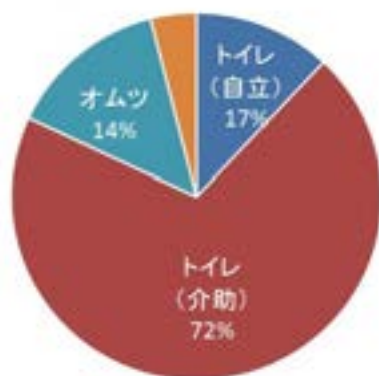
日中

	トイレ		ポータブル		オムツ	カテーテル	計
	自立	介助	自立	介助			
計	6	35	0	0	7	2	50
男性	1	8	0	0	1	2	12
女性	5	27	0	0	6	0	38

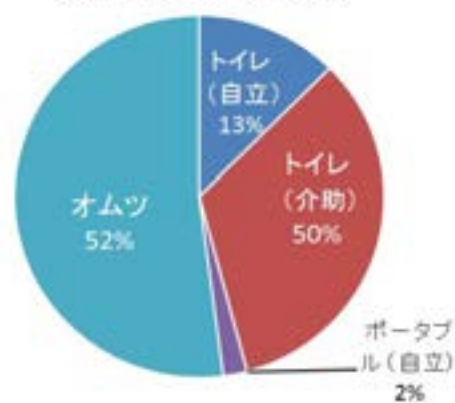
夜間

	トイレ		ポータブル		オムツ	カテーテル	計
	自立	介助	自立	介助			
計	6	16	0	1	25	2	50
男性	1	3	0	1	5	2	12
女性	5	13	0	0	20	0	38

排泄状況(日中)



排泄状況(夜間)



(15) 入居者疾患分類 (平成28年3月31日現在)

疾患名	男	女	計
脳血管障害	5	14	19
糖尿病	2	7	9
高血圧	3	14	17
心疾患	2	7	9
視力障害	0	1	1

関節炎・リュウマチ	2	3	5
パーキンソン氏病	1	1	2
認知症(アルツハイマー等)	4	16	20
悪性腫瘍(癌)	1	2	3
脊椎損傷	1	0	1
泌尿器疾患	5	3	8
血液疾患	0	2	2
消化器疾患	0	4	4
精神疾患	0	1	1
合計	26	75	101

※主疾患のみ。重複あり。

(16) 入院状況

No.	病院名	診療科目	症状・病名
1	佐野病院	内科	胃瘻造設
2	森山病院	脳神経外科	胃瘻ボタン交換
3	佐野病院	内科	膀胱炎精査
4	森山病院	外科	右外傷性気胸
5	佐野病院	内科	膀胱炎 肺炎
6	佐野病院	内科	胸水肺炎
7	旭川厚生病院	泌尿器科	水腎症
8	市立旭川病院	皮膚科	左踵褥瘡
9	市立旭川病院	循環器内科	心筋梗塞
10	佐野病院	内科	胃瘻ボタン交換
11	旭川医療センター	内科	血圧低下
12	旭川厚生病院	泌尿器科	カリウム値高値・脱水
13	旭川赤十字病院	内科	総胆管結石
14	佐野病院	内科	誤嚥性肺炎
15	森山病院	脳神経外科	胃瘻ボタン交換
16	大西病院	外科	仙骨部褥瘡 敗血症 肺炎
17	佐野病院	内科	誤嚥性肺炎
18	森山病院	内科	総胆管結石胆嚢炎
19	市立旭川病院	皮膚科	左肩蜂窩織炎

20	佐野病院	内科	胃瘻ボタン交換
21	沼崎病院	内科	腎盂腎炎
22	北彩都病院	内科	透析導入
23	相川記念病院	内科	統合失調症憎悪
24	旭川赤十字病院	整形外科	右大腿骨転子部骨折
25	森山病院	整形外科	右大腿骨頸部骨折
26	市立旭川病院	内科	胆石疑い



(17) 通院状況 (定期通院含む)

病院名	科目	回数
浅井医院	内科	17
旭川医大病院	呼吸器科	1
旭川赤十字病院	血液内科	1
	内科	1
あさひ眼科	眼科	12
佐野病院	内科	3
市立旭川病院	血液内科	2
	外科	3
	眼科	4
	循環器科	1
	耳鼻科	3
	神経科	13
	皮膚科	11
北彩都病院	内科	16

勤医協 1 条病院	外科	2
くにもと病院	肛門外科	1
厚生病院	泌尿器科	15
鷹栖歯科	歯科	7
旭川医療センター	循環器科	8
	脳神経内科	4
はらだ病院	内科	6
フクダペインクリニック	内科	5
福祉村サテライト	整形外科	35
もとまち皮膚科	皮膚科	7
森山病院	整形外科	7
	内科	7
	脳神経外科	9
	外科	3
	泌尿器科	10
	眼科	2
森山メモリアル病院	整形外科	1
旭川脳神経内科クリニック	神経内科	6
永山環状線眼科	眼科	6
相川記念病院	神経精神科	3

2. 事故発生 の統計

(1) 事故の内容

内 容	件数
転倒	29
転落	30
ぶつけた	19
誤飲(誤嚥)	0
誤投薬	10
投薬忘れ	7
異食	0
その他	10
圧迫	10
搔いた	5

(2) けがの程度

程 度	件数
無傷	59
発赤(後に消失)	3
擦り傷	8
切り傷	3
内出血	17
やけど	0
腫れ	7
骨折	2
死亡	0
その他	4
打撲	0
表皮剥離	8
出血	9
打撲、裂傷、腫れ	0

(3) 事故の種類

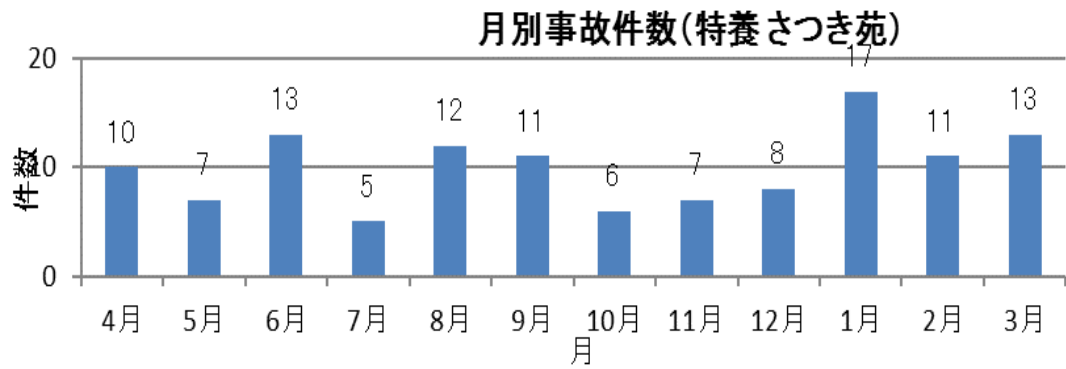
種 類	件数
介助中	42
単独	78
自傷	0

(4) 事故の発生(発見)場所

場 所	件数
リビング	2
浴室	11
トイレ	18
居室	51
廊下	6
食堂	21

その他屋内	5
屋外	1
不明(後に発見)	5

(5) 月別事故発生件数



平成27年度鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑事業報告

1 総括

平成27年度の新規利用者は前年度の26名に対し、15名と伸び悩んだ。また、長期入院による利用停止が多かった。中でも要支援者の長期入院が2名あり、「介護予防」の視点の重要性を再認識することとなった。単に「できないこと」の代行ではなく「元気になるたい」「生き続けたい」と思えるよう、心が動く支援ができなかったのでは？との反省が残るケースもあった。

夫婦世帯をみると、どちらか一方の状態が悪化すれば、すぐに在宅生活が厳しくなり、二人とも入居施設を探さなければならなくなるというケースも多い。又、介護度の高い利用者では、家族の献身的な介護を受け、在宅生活を継続しているうちに介助者が倒れるケースもあった。平成26年度から導入している総合記録シートの記入を、限られた訪問時間ではあるが、できるだけ正確な記録にする工夫をし、体調把握の強化と対策が必要である。又、介助者の疲労にも注意を払い、共倒れを予防する必要がある。

新規利用者が減少する中、現利用者のサービスを見直し、不足していた部分を補い、手厚く支援できる体制をとってから体調や精神的な安定を得たケースもあり、改めて過不足のないサービスの大切さを認識できた。

又、広くヘルパーのことを知っていただくために平成25年より取り組んでいる茶話会は、ほぼ町内全域に定着しつつあり、年5回の開催で、延べ86名の参加を得た。今年度は転倒予防や筋力維持の重要性など、介護予防に関するテーマを中心に取上げた。参加者からは、活発な質問や要望があり、改めて介護予防への関心の高さを実感した。

外部研修は今年度、2つの研修に参加することができた。特に上川地区資質向上研修では、訪問看護との連携がテーマであり、今後、在宅利用者の重度化が予測されるなかで有益な研修となった。

2 次年度に向けての展望

平成28年度は、これまで以上に「自立支援」の視点に重きを置き、小さなことでも利用者の生活能力の、維持向上を目標とする訪問介護計画へ見直しをしていく。利用者の残存能力を維持する目標を設定する時に、ヘルパー会議で全員の意見を集約することで、観察力向上、積極的・具体的な支援の方法を学び、ヘルパーの介護力向上に繋げる。

茶話会の取り組みは定着しつつあるとは言え、自立度の高い方々の参加が多く、直近での新規契約にはなかなか繋がりにくいのが現状である。これまで、あまり、積極的には行っていなかった、訪問介護サービスのPRを茶話会の中で行っていく工夫も必要である。又、介護度の高い利用者の介護のために、茶話会に参加できずにいるご家族もおり、留守番の代行等、なんらかの対策を講じ、そうした方の参加機会も保証したい。認知症の利用者など、支援の難しいケースも増えてきており、ヘルパーのスキルアップも欠かせない。苑内外の研修の機会をとらえ、人材育成にも力を入れていく。

3 運営状況・統計資料

(1) 根拠に基づく介護サービスの提供の基盤整備

① 根拠に基づくサービス提供

訪問介護計画作成時、居宅プランを精査し、サービスの根拠をよく確認しアセスメントに照らして訪問介護計画に連動させた。

また、ヘルパーの立場から居宅プランに疑問や提案がある場合はヘルパー会議に回りケアマネに伝え改善につなげることができた。

② サービス内容・提供方法の標準化

サービス手順書は随時作成し、変更内容の詳細についてはヘルパー会議で各ヘルパーの意見を集約し、より良い方法にまとめサービス提供方法の統一を図った。新規契約者については初回訪問で把握しきれない点があり、作成が遅れぎみになるので業務分担を適切に行うことでこの点を改善する。

(2) 地域と家族の力を活かした事業所運営の基盤整備

① サービス評価と第三者評価の推進

今年度の満足度調査では「決められたサービスの提供」「身だしなみ」「安心できるサービスの提供」で高い評価を得ているが「礼儀・態度」の項目では「やや、不満」の回答があり、「ヘルパーによってやり方が違う」のご意見があり手順書の整備・活用が急がれる。

② 職員の地域活動の推進

昨年に引き続き今年度もサロン活動として茶話会を開催した。地域により、参加状況にばらつきはあるものの地域の方に浸透しつつある。回を重ねるごとに、リピーターが多くなったことも主催者として励まされている。

	鷹栖地区	北野地区	中央北成北斗	鷹栖地区	北野地区
日程	5月24日	7月26日	11月22日	2月21日	3月27日
参加人数	14名	22名	12名	21名	17名

③ 利用者・家族と職員との交流促進

今年で13回を数える「交流を深める食事会」は目標より若干少なかったが22名の参加があり、平均年齢80歳を超える老人会の皿回しの披露やカラオケで自慢の喉を聞かせてもらった。100歳を迎える方が今年も和服姿で参加くださったのは本当に嬉しい限りである。

食事会	メニュー	経費	参加人数
9月27日	・赤飯・稲荷寿司・寄せ鍋・漬け物 ・デザート	49,219円	22名

(3) ヘルパーの専門性と介護技術の向上を図る

① 専門性と介護技術の向上

ヘルパー研修では消防署員や栄養士など多彩な講師を迎え例年行われてきた救急救命講習や食中毒・感染症予防研修に加え、調理実習や接遇マナー等、現場ですぐに活用できるテーマを盛り込み、実施した。

<ヘルパー研修>

開催日	テーマ	講師	参加人数
4月8日	ケアの統一	西中	8人
5月13日	ケアの統一	上野	9人
6月12日	一般救急救命講習	鷹栖消防署	4人
6月23日	一般救急救命講習	鷹栖消防署	3人
7月21日	食中毒予防研修	己上栄養士	7人
8月5日	車いすの操作方法について	谷・上野	8人
9月9日	ケアの統一	西中	7人
9月29日	感染症予防研修	谷水	3人
10月1日	感染症予防研修	谷水	5人
11月24日	接遇マナー	尾上部長	9人
12月9日	職業倫理と法令遵守	伊藤	8人
1月13日	調理実習	西中	8人
2月3日	高齢者のかかりやすい疾病	上野	9人
3月9日	調理実習	伊藤	6人

<外部研修>

今年度は予定していた研修に参加でき、訪看との連携では当事業所にも訪問看護を利用する利用者もあり、今後在宅の重度化も見込まれる中で有益な研修だった。

7月16~17日	全道ホームヘルプサービス研究大会	高橋
2月20日	全道ホームヘルプサービス上川地区資質向上研修	西中

② ヘルパー会議を毎月開催

ヘルパー会議を定期開催し、行事計画の検討や事業計画の推進、対応の難しい利用者のケースカンファレンスを行い、チームとして課題の共通認識を持ち、全員の力を結集し、事業所運営を行った。

<ヘルパー会議開催状況>

開催日	内容	参加者
4月22日	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・H26 活動計画最終評価	ヘルパー9名 谷課長
5月27日	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・茶話会の反省	ヘルパー6名 谷課長
6月17日	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・活動計画進捗状況に ・ケースカンファレンス	ヘルパー7名 谷課長
7月29日	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・食事会の計画 ・茶話会について	ヘルパー8名 谷課長
8月26日	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・食事会について ・茶話会について	ヘルパー7名
9月23日	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・食事会について・活動計画進捗・カンファレンス	ヘルパー7名 居宅 2名
10月21日	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・茶話会 ・ケースカンファレンス	ヘルパー8名
11月25日	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・活動計画中間報告 ・ケースカンファレンス	ヘルパー7名 居宅1名課長
12月16日	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・活動計画進捗状況	ヘルパー8名 谷課長
1月27日	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・H27 満足度調査について ・ケースカンファレンス	ヘルパー8名 谷課長
2月18日	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・H28 事業計画策定について・ケースカンファレンス	ヘルパー8名 谷課長
3月23日	・茶話会について ・業績報告・経営改善会議の報告 ・満足度調査結果報告 ・H28 年度事業計画について	ヘルパー8名 居宅1名課長

(4) 安全を確保し、安心を提供する基盤の整備

① リスクマネジメントの徹底

<過去2年間と H27 年度の事故発生状況>

	H25年度	H26年度	H27年度
私物破損	3件	2件	1件
訪問忘れ	1件	0件	0件
訪問遅れ	0件	1件	1件
苦情	3件	1件	1件
救急搬送	0件	0件	1件
車両関係	1件	1件	1件
転倒など	4件	2件	0件
合計	12件	7件	6件

<H27 年度私物破損内容>

発生日	内容	原因	対策
3月10日	鍋の取っ手が取れる	不注意	火加減に注意する

H27 年度の事故発生状況をみると「私物破損」は1件であった。鍋の大きさに見合った火加減を怠ったために、長期間の使用で取っ手部分が熱で劣化したものである。又、初期の発見で大事に至らなかったがタバコの火の不始末によるボヤが発生し、人命に関わる火災に発展しかねない事態であった。

② 指示・報告ノートを活用

各ヘルパーに対し訪問前に利用者に関する情報を伝え、訪問終了後には報告を受けることで確認もれを防ぎ、体調の経過観察ができ、きめの細かいサービスの提供ができた。直行直帰のヘルパーからは訪問前の状況把握をすることで、安心して訪問に赴き効果的な支援ができるとの声があった。

③ 身体・精神的虐待ゼロを誓い、適切な接遇態度を身につける。

プライバシー保護・接遇マナー等の研修で職業倫理観を喚起し、不適切なケア・言葉や態度による人権の軽視が発生しないよう学んだ。ヘルパーは単独での業務となるため同僚からの気づきを得る機会が少なく、利用者からも直接の声は上がりにくいものなので個々のヘルパーが常に自分の言動を振り返ることを習慣とした。

(5) 効率的・安定的な事業所運営基盤の整備

① 適正収益の確保

今年度は昨年との比較で身体介護・生活援助の訪問時間が大きく減少した。複合介護は昨年を上回っている。介護予防では大きな減少はないが総合事業への移行に伴い、今後の動向に注意が必要である。

<訪問内容別活動時間>

訪問内容	H26年度月平均時間	H27年度月平均時間
身体介護	128.4	76.9
生活援助	188.2	158.9
複合介護	70.6	84.3
生きがいホームヘルプサービス	11.3	6.8
介護予防訪問介護（予防Ⅰ）	38.5	40.2
介護予防訪問介護（予防Ⅱ）	54.5	44.3
介護予防訪問介護（予防Ⅲ）	14.3	15.6
私的契約	4.1	4.1
難病ホームヘルプサービス	0	0

③ 事業所加算の取得について

今年度も各自、自分の課題をテーマにして個別研修に取り組み、スキルアップに努めた。指示報告シートを活用し、ハウレンソウを徹底し、きめ細かいサービス提供に努め昨年に引き続き事業所加算Ⅱを取得することができた。

④ 適正な目標収益の追及と収益増減の原因分析

今年度は登録者数 53 人、新規利用者 28 人月間訪問回数 520 回を目標に掲げ、居宅とも連携し活動してきた。その結果、登録者数は月平均 45.3 人、新規利用者数 15 名、平均月間訪問回数 440 回でいずれも目標を達成することができなかった。

<事業収入>

<単位:千円>

目標収益 (A)	実際収益 (B)	達成率(B)/(A)	前年度収入 (C)	伸長率 (B)/(C)
20,130	18,023	89.5%	19,730	91.3%

<新規利用者状況一覧> 15名

利用開始日	性別	年齢	訪問内容	利用回数
4月2日	女	82	予防1	週1回
6月3日	女	65	予防1	週1回
6月10日	男	76	予防1	週1回
8月14日	女	86	予防1	週1回
9月3日	女	78	予防1	週1回
10月3日	男	78	予防1	週1回
12月2日	女	87	予防1	週1回
12月2日	男	91	生活援助3	週1回
12月23日	男	77	身体1生活1	週3回
2月23日	女	87	身体介護2	週2回
2月13日	女	93	身体介護2	週2回
3月1日	男	83	生活援助3	週3回
3月1日	女	83	生活援助3	週5回
3月9日	男	66	身体2生活2	不定期
3月9日	男	91	生活援助3	毎日1回

<利用停止者一覧> 7名

利用停止日	性別	年齢	停止理由	訪問内容
5月31日	男	83	小規模えんに移行	生活援助3
5月31日	女	79	小規模えんに移行	生活援助3
6月1日	女	90	死亡	予防2
10月29日	男	83	死亡	生活援助3
12月12日	女	88	死亡	予防1
3月31日	男	81	長期入院	予防2
3月31日	女	77	長期入院	生活援助3

(6) コスト管理の徹底

① 適正な予算管理・物品管理の徹底

年1回の行事である「交流を深める食事会」ではメニューの工夫等により、予算より少ない決算処理ができた。物品管理も適正に行っており、儉約に努めている。次年度は人件費比率の軽減に取り組む。

平成 27 年度 鷹栖町デイサービスセンターはびねす事業報告

1. 総括(今年度の取り組みの成果)

平成 27 年度は、昨年に引き続き、「リハビリテーションの充実」「環境改善」「アクティビティの充実」「楽しくおいしい食事」に取り組んだ

一つ目の「リハビリテーションの充実」の取り組みは、8 月より理学療法士を配置し、専門的なリハビリを提供できる体制をつくった。理学療法士による個別リハビリにより対象の 26 名の利用者のうち、関節可動域の拡大により、高いところの物がとれるようになる、歩行時の姿勢の改善により転倒がなくなるなど、18 名の利用者の生活動作を改善する事ができ本人の自信につなげることができた。また、毎月のリハビリ会議や日々のミーティングなどで、リハビリのプログラムを随時見直し、利用者の日々の体調に合わせるなど、柔軟に個別・集団リハビリを提供する事ができた。

二つ目の「環境改善」は食事場所やシルバーフィットネスコーナーなどテーマごとに分かれた空間の充実を図った。そのことにより、目的ごとの場所に自ら移動、自己決定、自己選択できる機会を増やすことができた。

三つ目の「アクティビティの充実」では「形に残ることをしたい」というご要望から、スタッフが町内の陶芸教室で学びデイサービス内で陶芸教室を開催。参加者が思い思いの作品を作っていただくことができた。手先を使うという事は認知症予防にもなり、また、楽しく作った作品を自宅に持ち帰って頂くことでご家族にも喜んでいただけた。

「楽しくおいしい食事」の提供は自立支援と自己選択をテーマに、毎月バイキングを行った。自ら選んで食事を盛りつける。下膳はカートを使い厨房に返却していただくようにしている。

その他、利用者向けの学習会を毎日実施し、健康リスクの意識啓発を行ってきた。結果、水が足りなく、脱水や便秘を抱える利用者の水分量の改善が行われ、便秘が改善されたり微熱が下るなどの効果がでている。

以上、4 つの取り組みを行う事でデイサービスのプログラムの充実、そして利用者の意欲が向上した。その成果として平成 27 年 4 月の実利用者数 81 名(平均利用者数 20.5 名)から、平成 28 年 3 月時点で 90 名(平均 23.3 名)と 10%増加している。平成 27 年度は利用の停止者が昨年度よりも 35%減少。その結果が、利用者の増加につながった。新規利用者のニーズは、専門的なリハビリを住み慣れた鷹栖で受けたいという願いが過半数を超えている。しかし、新規利用者数は 33 名と昨年度(44 名)よりも少なくなり、また、入院者数は昨年度から比べ-0.5%とあまり変わらず、広く、デイサービスセンターの実施内容を知っていただくための活動を行うことと、在宅の方の体調把握と早期の対応が次年度の課題になっている。

2. 展望(次年度に向けて)

平成 28 年度は、平成 27 年度同様、「リハビリテーションの充実」「環境改善」「アクティビティの充実」「楽しくおいしい食事」に重点をおき、取り組みを継続する。

「リハビリテーションの充実」では利用者個人が自ら「生活目標」を決め、目標に向かった楽しいリハビリが行えるようにする。自分で決めた「生活目標」を達成することで、達成感や充実感を得ていただく。また、自己選択ボードを導入し、自ら選んだプログラムを

行い、自己選択できる環境を増やしていきたい。

「環境改善」は目的ごとのテーマを見直し、清潔感あふれるおしゃれなデイサービスになる様に、空間ごとに整備を進めていく。

「アクティビティの充実」では、さらなるプログラムの充実を図れるようボランティアの協力を得て、選択できるアクティビティの数の増加に努める。

「楽しくおいしい食事」ではバイキング方式を定例化し、「選ぶことの自由と喜びを感じる楽しい食事」に取り組む。

平成 27 年度の課題であった、入院者減少の取り組みは総合記録シートを活用し、ケアチェックにより小さな変化を見逃さず、疾患の早期発見、重症化予防に取り組む。また、デイサービスセンターの実施内容を知っていただくための活動を行い地域住民とのつながりをつくっていく。

3. 運営状況・統計資料

(1) 収益

<事業収入>

(単位:千円)

目標介護保険収入 (A)	実際介護保険収入 (B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度 介護保険収入 (C)	伸長率 (B) / (C) × 100
50,021	50,846	101.6%	49,052	103.6%

<1日の平均利用者数>

目標 平均利用者数 (A)	実際 平均利用者数 (B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度 平均利用者数 (C)	伸長率 (B) / (C) × 100
21.0名	20.9名	99.5%	18.9名	110.5%

(2) 利用者年齢構成

年齢	男性	女性	合計
60 ~ 64	0	1	1
65 ~ 69	0	1	1
70 ~ 74	2	2	4
75 ~ 79	5	6	11
80 ~ 84	8	10	18
85 ~ 89	4	28	32
90 ~	11	20	31
合計	30	68	98
平均年齢	85.2	86.1	
最低年齢	70	63	
最高年齢	96	96	

(3) 事故発生状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	1	0	0	1	2	0	2	0	3	2	2	1	14
転落	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
傷をつくる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異食・誤食	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
打撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨折	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因不明の傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
爪切り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投薬管理ミス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
破損事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
衣服破損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	2	2	1	3	3	0	3	0	3	2	2	1	22

(4) 職員研修

< 苑内研修参加状況 >

日 程	研 修 内 容	参加人数
5月22日	基礎介護研修（食事）	9名
8月25日	食中毒予防研修	11名
9月17日	救急救命講習	10名
9月25日	接遇マナー研修	13名
9月30日10月1日	感染症予防研修	11名
12月26日	基礎介護研修（認知症）	9名
1月22日	基礎介護研修（移乗）	12名
2月26日	基礎介護研修（排泄）	9名
3月25日	基礎介護研修（入浴）	10名

< 外部研修参加状況 >

日 程	研 修 名	参加者
7月15日	平成27年度全道老人福祉施設研究大会	谷
8月25日	第35回老人福祉施設研究発表会	松原
9月21日	デイサービスセンター職員スキルアップセミナー	大矢
10月4日～10日	フロイデ視察研修	大矢
11月2日	平成27年度北海道ブロックカンントリーミーティング	谷
1月9日	地域包括ケアシステムにおけるリハビリ専門職の役割	大矢
3月12日	総合事業先進施設見学(社会福祉法人宏友会)	大矢
3月18日～21日	生活向上プログラム講習会、インターリハ施設見学	大矢

(5) デイサービスセンター会議実施状況

開催月	内 容	参加人数
4月17日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・平成27年度行動計画について	9名
5月22日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	9名
6月19日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	10名
7月24日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	12名
8月28日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	11名
9月25日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	13名
10月30日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	10名
11月27日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	12名
12月26日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	9名
1月22日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	12名
2月26日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	9名
3月25日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	10名

(6) ボランティア受け入れ状況

日 付	団体名・個人名	ボランティア内容	人 数
4月9日	母さんの本棚様	読み聞かせ	3名
4月18日	佐藤 博子様	アロマセラピー	1名
4月27日	老人会カラオケ様	カラオケ交流	17名
5月15日	母さんの本棚様	読み聞かせ	4名
5月16日	佐藤 博子様	アロマセラピー	1名
5月25日	老人会カラオケ様	カラオケ交流	16名
6月13日	母さんの本棚様	読み聞かせ	4名
6月20日	佐藤 博子様	アロマセラピー	1名
6月22日	老人会カラオケ様	カラオケ交流	19名
7月13日	母さんの本棚様	読み聞かせ	4名
7月18日	佐藤 博子様	アロマセラピー	1名

7月27日	老人会カラオケ様	カラオケ交流	16名
8月15日	佐藤 博子様	アロマセラピー	1名
8月25日	母さんの本棚様	読み聞かせ	3名
8月31日	老人会カラオケ様	カラオケ交流	18名
9月10日	母さんの本棚様	読み聞かせ	3名
9月19日	佐藤 博子様	アロマセラピー	1名
9月28日	老人会カラオケ様	カラオケ交流	15名
10月9日	母さんの本棚様	読み聞かせ	4名
10月17日	佐藤 博子様	アロマセラピー	1名
10月26日	老人会カラオケ様	カラオケ交流	19名
11月21日	佐藤 博子様	アロマセラピー	1名
11月30日	老人会カラオケ様	カラオケ交流	21名
12月10日	今出 弘様	忘年会写真撮影	1名
1月16日	佐藤 博子様	アロマセラピー	1名
1月25日	老人会カラオケ様	カラオケ交流	23名
2月20日	佐藤 博子様	アロマセラピー	1名
2月22日	老人会カラオケ様	カラオケ交流	26名
2月25日	高見 貞子様	学習療法サポーター	1名
2月29日	高見 貞子様	学習療法サポーター	1名
3月10日	高見 貞子様	学習療法サポーター	1名
3月14日	高見 貞子様	学習療法サポーター	1名
3月19日	佐藤 博子様	アロマセラピー	1名
3月24日	高見 貞子様	学習療法サポーター	1名
3月28日	老人会カラオケ様	カラオケ交流	20名
3月28日	高見 貞子様	学習療法サポーター	1名
合計	延べ36回		253名

(7) 行事

日時	行事名	場所	担当者
4月14・20日	ドライブツアー	旭川市駅周辺	谷口
5月1・6日	花見ツアー	パレットヒルズ	谷口・谷
5月18日	買い物ツアー	永山100円ショップ	佐藤・三浦
5月23日	回転寿司ツアー	旭川市回転寿司	佐藤・三浦
6月8日	回転寿司ツアー	旭川市回転寿司	佐藤・三浦
6月19日	バイキングツアー	ファイブスター	佐藤・三浦
6月23日	買い物ツアー	永山100円ショップ	佐藤・三浦
6月27日	アイスクリームツアー	当麻道の駅	佐藤・三浦
7月11日	外食ツアー	とわ北斗	佐藤・三浦
7月15日	回転寿司	旭川市回転寿司	佐藤・三浦
7月20日	温泉ツアー	旭川市高砂台温泉	谷

7月24日	アイスクリームツアー	山恵	佐藤・三浦
7月28・29日	夏祭り	デイサービス	松原
8月11日	買い物ツアー	旭川市生協	佐藤・三浦
8月17日	買い物ツアー	ホームック	佐藤・三浦
8月21日	回転寿司	旭川市回転寿司	佐藤・三浦
8月26日	アイスクリームツアー	丸山パークゴルフ場	佐藤・三浦
9月16日	外食ツアー	東鷹栖	佐藤・三浦
9月25日	紅葉狩り	神居古潭	佐藤・三浦
9月29日	バイキング	旭川市永山	佐藤・三浦
10月12日	紅葉狩り	神居古潭	佐藤・三浦
10月14日	カラオケボックス	旭川市永山	佐藤・三浦
10月20日	回転寿司	旭川市回転寿司	佐藤・三浦
11月18日	外食ツアー	びっくりドンキー	佐藤・三浦
11月26日	回転寿司	旭川市回転寿司	佐藤・三浦
12月10・11日	忘年会	デイサービス	中山
12月15日	回転寿司	旭川市回転寿司	佐藤・三浦
12月16日	カラオケ	旭川市永山	佐藤・三浦
12月29日	買い物	永山100円ショップ	佐藤・三浦
2月12・18・19・25日	陶芸教室	デイサービス	佐藤
3月15・16・23・31日	陶芸教室	デイサービス	佐藤

平成 27 年度 鷹栖町介護センターさつき苑事業報告

1. 総括

平成 27 年度は常勤ケアマネジャー4 名体制で事業活動を行った。6 月より新たに 1 名が配属となり、うち 1 名が 8 月に鷹栖町地域包括支援センター出向となる。

ケアマネジメントではケースカンファレンス（ケアマネ会議・在宅チーム勉強会・地域ケア会議等）による事例提供を積極的に行い、ケアワーク・ソーシャルワークの両方から支援体制を構築した。特に今年度は在宅版総合記録シートを積極的に取り入れ、より高い知識・技術を法人内勉強会で習得し、記録に基づいた要因分析・予後予測ができるように強化した。さらに、在宅版総合記録シートの導入により、生活の実態がより詳細に明らかになってきたことで、水分だけではなく、低栄養・服薬管理・排泄・認知症の進行・室温調節等の様々な課題も見えてきた。

また、今年で 3 年目となったケアマネジャー自身が外出支援をする「生き活きはびねすプラン」も継続して実施することができ利用者の QOL 向上に繋がった。

地域への貢献では前年度に引き続き、認知症出前講座、ケアケア交流講座、ヘルパー茶話会への参加等により地域住民の皆様とも交流ができた 1 年であった。

「適正収益の確保」では目標人数平均 122 名であるが実績数は平均 118 名であり 4 名少なく目標を達成することができなかった。利用者の動向については平成 26 年度と比較すると新規 48 名（-16 名）入院者 125 名（+1 名）停止者 49 名（±0 名）休止者 38 名（-21 名）有料ホーム転居者 3 名（-2 名）であり、入院者・停止者を減らすことができなかったことが要因となった。

2. 次年度に向けた展望

次年度も健康リスク重視のケアマネジメントを引き続き強化し、在宅版総合記録シートにより利用者・家族・医療・事業所等で共有し体調改善に繋げる。特に入院者の分析及び、退院支援については早期に検討できるようケアマネ会議にて随時共有を図り、退院後円滑に自宅に戻れるようなマネジメントを実施する。

今年度より地域貢献の一貫として新たに元気な高齢者に対する健康講座を実施予定であり、ケアマネジャーが老人会・北野サロン等に出向き、生き生き健康講座（水分・低栄養・生活不活発病・服薬）を開催し地域住民向けに健康リスク教育を行う。

また、認知症高齢者が地域と繋がりながら在宅生活が継続できるように認知症出前講座の継続や地域で見守り体制を構築できるよう鷹栖関係機関や地域住民等へ協力依頼を丁寧に実施し、安全に暮らせる町を目指して活動する。

3. 運営状況・統計資料

(1) 居宅サービス利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成12年度	67	77	78	75	77	80	74	82	81	76	78	82	77
平成13年度	78	82	79	87	87	89	88	98	93	92	103	107	90
平成14年度	104	108	106	110	110	116	109	108	102	98	100	107	107
平成15年度	109	110	114	115	118	117	119	121	116	121	125	126	118
平成16年度	142	142	143	145	143	145	148	146	145	148	151	154	146
平成17年度	158	151	155	158	156	155	156	156	157	152	148	145	154
平成18年度	147	143	141	140	135	128	129	129	124	123	113	115	130
平成19年度	114	116	113	104	106	105	106	104	101	104	106	109	107
平成20年度	114	114	112	114	111	105	113	113	113	112	112	113	112
平成21年度	110	96	92	88	89	90	91	86	87	88	92	94	92
平成22年度	96	92	94	97	99	97	101	96	99	88	91	94	95
平成23年度	91	92	99	100	107	104	107	105	104	101	102	107	102
平成24年度	110	113	113	113	116	110	109	118	112	113	110	115	112
平成25年度	115	118	119	114	117	118	118	123	119	115	112	119	117
平成26年度	113	116	116	115	120	116	123	120	118	125	124	120	118
平成27年度	122	120	120	121	123	118	116	116	114	108	117	122	118

(2) 上記利用者の要介護度分布

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
要支援	11	15	26	33										
要支援1					3	7	6	8	8	7	9	11	11	13
要支援2					13	18	17	13	13	12	12	11	9	9
経過的要介護					15									
要介護1	44	48	58	53	38	21	25	32	36	42	45	52	57	43
要介護2	21	22	24	29	26	25	34	23	19	19	24	23	22	32
要介護3	11	14	18	19	19	18	17	9	10	10	9	10	10	5
要介護4	11	11	13	13	12	12	8	3	6	9	9	9	7	6
要介護5	8	8	7	7	5	6	7	5	3	3	3	6	9	8

※人数は、各年度の平均人数

(3) 苑内・苑外研修参加状況

① 苑内研修

月日	内容	講師等	開催地	参加者
平成 27 年 4 月 22 日	在宅ケアカンファレンス	波瀲施設長	はびねす	河田・坂林・伊賀・佐々木
5 月 20 日	在宅ケアカンファレンス	波瀲施設長	はびねす	河田・坂林・伊賀・佐々木
6 月 20 日	在宅ケアチーム合同勉強会	全国高齢者ケア研究会 泉田照雄氏	はびねす	河田・坂林・伊賀・佐藤・ 佐々木
7 月 22 日	在宅ケアカンファレンス	波瀲施設長	はびねす	河田・坂林・伊賀・佐藤・ 佐々木
8 月 18 日	リーダーシップの概念と困難場 面における対処方法	特養元気の家 山中慎太郎氏	はびねす	佐々木
8 月 30 日	在宅ケアチーム合同勉強会	全国高齢者ケア研究会 泉田照雄氏	はびねす	坂林・伊賀・佐藤・佐々木
9 月 29 日	在宅ケアカンファレンス	波瀲施設長	はびねす	坂林・伊賀・佐藤・佐々木
10 月 20 日	接遇研修	居宅 佐々木	さつき苑	坂林・伊賀・佐藤・佐々木
10 月 28 日	在宅ケアカンファレンス	波瀲施設長	はびねす	坂林・伊賀・佐藤・佐々木
11 月 18 日	認知症ケア研修	特養さつき苑	はびねす	坂林・伊賀・佐藤
11 月 25 日	在宅ケアカンファレンス	波瀲施設長	はびねす	坂林・伊賀・佐藤・佐々木
11 月 29 日	在宅ケアカンファレンス	全国高齢者ケア研究会 泉田照雄氏	はびねす	坂林・伊賀・佐藤・佐々木
12 月 16 日	食事ケア研修	特養さつき苑	はびねす	坂林・伊賀
1 月 27 日	在宅ケアカンファレンス	波瀲施設長	はびねす	坂林・伊賀・佐藤・佐々木
2 月 10 日	排泄ケア研修	特養さつき苑	はびねす	坂林・伊賀・佐藤
2 月 25 日	さつき会サービス向上発表会	発表者 伊賀	はびねす	坂林・伊賀・佐藤・佐々木
3 月 13 日	在宅ケアチーム合同勉強会	全国高齢者ケア研究会 泉田照雄氏	はびねす	坂林・伊賀・佐藤・佐々木

② 苑外研修

月日	内容	講師等	開催地	参加者
平成 27 年 6 月 16 日 6 月 17 日	平成 27 年度 北海道介護支援専門員 専門研修 I	上川総合振興局主催	旭川	坂林
7 月 6 日	平成 27 年度コーチングセミナー	鶴田 弥生氏	札幌市	伊賀
7 月 16 日	生活支援コーディネーターと協議体に係る 研修会 I N旭川	厚生労働省老健局振興課 課長補佐 服部 真治氏他	旭川	佐々木
7 月 23 日	平成 27 年度 北海道介護支援専門員 専門研修 I	上川総合振興局主催	旭川	坂林
8 月 20 日 8 月 21 日	平成 27 年度 北海道介護支援専門員 専門研修 I	上川総合振興局主催	旭川	坂林
8 月 20 日 8 月 21 日	第 35 回老人福祉施設研究発表会	濱島 しのぶ氏他	札幌	佐々木
10 月 14 日 10 月 16 日	平成 27 年度北海道介護支援専門員 更新研修	上川総合振興局主催	旭川	佐藤・伊賀
10 月 20 日	マルベリー福祉用具展示会	マルベリー旭川主催	旭川	坂林・佐藤 伊賀・佐々 木
10 月 30 日	健康づくり講演会「メンタルヘルスって何？」	精神保健指定医 中右 麻理子	鷹栖町	伊賀
10 月 31 日	ソーシャルワーカー懇談会 事例検討会	鷹栖町役場 福祉課 西間 晃宏氏	鷹栖町	佐々木
12 月 19 日 12 月 20 日	スーパーバイザー養成講座 i n 北海道 (初級編)	白木 祐子氏・白澤政和氏 他	札幌	佐々木
3 月 19 日	誰もが支え合う地域構築に向けた 福祉サービス実現のために	大橋 謙策氏	鷹栖町	伊賀 佐々木

(4) ケアマネ会議内容

月日	内 容	参加者
平成 27 年 4 月 7 日	ケースカンファレンス	7 名
4 月 14 日	ケースカンファレンス・水分マネジメント報告	7 名
4 月 21 日	利用者動向・業績報告・情報共有	6 名
4 月 28 日	ケースカンファレンス	6 名
5 月 5 日	ケースカンファレンス	3 名
5 月 12 日	ケースカンファレンス・水分勉強会	6 名

月日	内 容	参加者
5月19日	ケースカンファレンス	6名
5月26日	ケース情報共有	7名
6月2日	新規ケアプランチェック	7名
6月9日	利用者動向・業績報告・情報共有	7名
6月16日	ケース情報共有	5名
6月23日	ケースカンファレンス・在宅版トータルケアシート書式検討	6名
6月30日	水分マネジメント報告・活動計画進捗状況報告	7名
7月7日	ケースカンファレンス・キックオフミーティング開催	6名
7月14日	ケースカンファレンス	6名
7月21日	水分マネジメント報告	4名
7月27日	利用者動向・活動計画進捗状況報告	7名
8月4日	ケースカンファレンス	7名
8月11日	新規ケアプランチェック	4名
8月18日	水分マネジメント報告・ケース情報共有	5名
8月25日	活動計画進捗状況・ケース情報共有	6名
9月1日	ケース情報共有	5名
9月8日	水分マネジメント報告・情報共有	5名
9月15日	ケース情報共有	6名
9月22日	退院支援についてマネジメント勉強会	4名
9月29日	活動計画進捗状況	6名
10月6日	ケースカンファレンス	7名
10月13日	ケース情報共有	6名
10月20日	業績報告・情報共有	6名
10月27日	活動計画進捗状況	7名
11月2日	訪問介護の利用について	6名
11月10日	ケース情報共有	5名
11月17日	業績報告・ケース情報共有	7名
11月24日	水分マネジメント報告・ケース情報共有・	7名
12月1日	医療連携方法について検討	6名
12月8日	新規ケアプランチェック	5名
12月15日	ケース情報共有・業績報告	5名
12月22日	サービス付高齢者住宅説明	6名
1月12日	ケースカンファレンス	6名
1月19日	ケースカンファレンス	6名
1月26日	水分マネジメント報告	5名
2月2日	新規ケアプランチェック	3名
2月9日	新規ケースについて情報共有	4名
2月23日	ケースカンファレンス	6名
3月1日	行方不明の心配がある方への対策検討会	5名
3月15日	業績報告・ケース情報共有	6名
3月22日	水分マネジメント報告・その他次年度に向けて	6名
3月29日	新規相談の電話対応について確認	4名

(5) 介護家族への教育支援事業（ケアケア交流講座実施状況）

月日	内 容	参加者
平成 27 年 8 月 4 日	第 1 回 会場：サンホールはびねす 研修室 2 講義：「今日から始めよう介護予防～転ばない体を作るためにできること～」 講師 理学療法士 片野 麻奈未氏	利用者 9 名 職員 7 名
11 月 6 日	第 2 回 会場：サンホールはびねす 研修室 2 講義：「認知症予防に生かせる口腔ケア～口と病気との関連性を学ぶ」 講師 歯科衛生士 谷崎 正子氏	参加者 5 名 職員 7 名

(6) 高齢者住宅出前講座

月日	内 容	参加者
平成 27 年 6 月 18 日 6 月 19 日	会場 そよかぜ団地 R 1・R 2 講義：「楽しく・学ぶ認知症講座」 講師：介護センターさつき苑 河田 真美子	R 1 21 名 R 2 18 名

平成27年度 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家事業報告

1. 総括

平成27年度は、「安全で根拠に基づく介護サービスの提供」「基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供」「職員の専門性の向上を図るため、利用者に関わる情報を集め、求められるニーズからケア目標を立案し、根拠に基づいたケアを展開できるよう育成する」「利用者の暮らしやすい生活環境をつくる」「地域に密着した運営の見直し」「職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる」「業務の効率化と適正利益の確保」を重点目標に掲げ取り組んだ。

1) 「安全で根拠に基づく介護サービスの提供」

新アセスメント様式の導入については、全入居者のデータを更新することができた。毎月カンファレンスを実施しケアの見直しと統一を図ると共に、困難ケースにおいても随時カンファレンスを実施し状態悪化の予防に努めた。事故件数は、前年度より8件多く、内、ケアミスによるものが13件と事故後の分析や再発防止に努めたが減少までには至らなかった。食事については、嚥下困難な方には、見た目もきれいで安全に召し上がれるようソフト食の提供を継続し、食事摂取量の維持と誤嚥性肺炎の予防に努めた。新たに常食の方には、肉や繊維質の多い食材を軟らかくするための酵素を使用し、より食べやすく提供することで、食事摂取量の維持に努めた。また、自然排便をより促すために、1日2食（朝・夕）玄米ご飯の継続と新たに3食玄米100%粥を導入し、下剤使用者を減らすことができた。疾病の管理については、早期発見に努めていたが入院者が4名に至った。感染症については、手洗い・うがいの強化と館内の温度湿度管理を徹底したことで、感染症発症者をゼロにすることができた。

2) 「基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供」

基礎介護研修を継続して行い、全国高齢者ケア研究会の「介護の知識50」をテキストベースにし、より実践的な内容を取り入れることで、職員の知識と技術の向上を図るとともに、人に伝える力を身につけることができた。

3) 「職員の専門性の向上を図るため、利用者に関わる情報を集め、求められるニーズからケア目標を立案し、根拠に基づいたケアを展開できるよう育成する」

各担当利用者のADL（日常生活動作）とQOL（生活の質）の向上を図るため、介護過程の展開（アセスメント、計画、実施、評価）に取り組んだ。初めての取り組みで不十分なところはあったが、結果としてADL及びQOLの向上に繋がったケースが全体の55%であった。

4) 「利用者の暮らしやすい生活環境をつくる」

昼スペースの設置やソファの台数を増加することにより過ごしやすい生活空間づくりの工夫や、季節に合わせた設えに努めた。しかし、植物の管理については十分に行えなかった。

5) 「地域に密着した運営の見直し」

地域の催し物には可能な限り参加に努め入居者と地域の方々との交流を図った。例年のボランティア以外に新たに商工会女性部による大正琴演奏と曲芸クラブによる皿まわ

しを実施することができた。

6) 「職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる」

チームとしての取り組みでは、ユニット目標を介護過程の展開と連動させることにより、各職員が意識し取り組むことができ職員の成長とやりがいを感じられる機会となった。

職員間の勤務交流については、5月よりユニット固定の勤務を見直し、他ユニットや小規模多機能ホームへの協力を行うことができた。このことは、なごみの家全体として職員が互いに協力できる体制づくりに繋がった。継続して面談制度を実施し、不安や悩みの軽減・解消については努めることができた。職員の安定が図られたことにより、昨年同様、今年度採用の職員も含め常勤職員すべてが、5日間の連続休暇を取得しリフレッシュを図ることができた。

7) 「業務の効率化と適正利益の確保」

会議、研修については、内容の見直しを行ったことにより効率的かつ効果的に実施することができた。マニュアルを見直しは7つを行い業務の効率化を図ることができた。適正利益については、予防的なケアに努めてはいたものの入院者が4名（延べ入院日数63日）いたが、入院中の支援（食事介助・口腔ケア等）を強化したこともありいずれも短期の入院であった。結果、年間平均稼働率98.9%と目標稼働率の98%を達成することができ、退去から新規入居への空床日数については、小規模多機能ホームと協力し最短にすることができた。

2. 次年度に向けての展望

平成28年度は、今年度同様の重点目標で、活動内容を充実しより具体的な計画を立て取り組む。

ケアの質向上は、記録の確認、カンファレンスを強化し病気の早期発見及び重症化や再発を防ぐ予防的なケアに努めたい。また、食事についても病気の悪化、再発を予防するための治療食の充実化とソフト食の質の向上を目指していきたい。感染症予防については、温度・湿度管理だけではなく、身体の免疫力を高める取り組みとしてヨーグルトの提供を行う。

職員育成と働きやすい職場環境づくりは、入居者のADLとQOLそれぞれの向上を目指したプランを立て取り組むことにより、専門職としての自信とやりがいにつなげていきたい。また、なごみの家全体として互いに協力できる体制を継続し、チームとして支え合う力を強化することで不安やストレスを軽減し、職員が安定して生き生きと目標を持って働ける職場環境に努める。連続休暇は、6日間の連続休暇を計画し職員のリフレッシュを更に図る。

稼働率は、今年同様98%を必達目標とし、予防的なケアに努め入院日数70日以内、退居から新規入居までの空床日数7日以内を目標に適正利益を確保する。

3. 運営状況・統計資料

(1) 稼働状況

目標ベッド 稼働率(A)	実際ベッド 稼働率(B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度ベッド 稼働率(C)
98.0%	98.9%	101.9%	97.4%

(2) なごみの家会議開催状況

日 時	議 題 内 容
4月21日	理念の唱和 ・平成 27年度事業計画について ・行事、会議、出張、研修他 ・給食関係 ・その他 ・ケアカンファレンス
5月19日	・100%玄米粥試食・ケアカンファレンス
6月16日	理念の唱和 ・避難訓練について ・給食関係 ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
7月21日	・食中毒予防研修 ・基礎介護研修について ・ケアカンファレンス
8月11日	理念の唱和・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
9月15日	・ケアカンファレンス※ユニット会議のみ
10月20日	理念の唱和 ・上半期を終えて(活動計画中間評価) ・行事、会議、出張、マナー接遇研修他・給食関係 ・その他 ・ケアカンファレンス
11月17日	・ケアカンファレンス※ユニット会議のみ
12月15日	理念の唱和 ・平成 27 年度満足度調査について・行事、会議、出張、研修他 ・給食関係 ・その他 ・ケアカンファレンス
1月19日	・ケアカンファレンス※ユニット会議のみ
2月16日	理念の唱和 ・行事、会議、出張、研修他 ・給食関係 ・その他 ・ケアカンファレンス
3月15日	理念の唱和 ・H28年度事業計画について ・H28年度計画的有給休暇について ・行事、会議、出張、研修他 ・給食関係 ・その他 ・ケアカンファレンス・

(3) 環境整備他

日 時	内 容	担 当	業 者
4月下旬	流し台パネル取り付け(和・洋)	秋保	盛永組
4月下旬	外壁波形サイディングコーナー修繕	秋保	盛永組
5月上旬	洋ユニット子機修理	秋保	(株)つうけん
5月下旬	超低床ベッド・マットレス購入	秋保	厚友会
5月下旬	和ユニット洗面台排水管修理	秋保	(株)斉藤工業所
6月上旬	洋ユニット洗濯機購入	秋保	ヤマダ電機
6月上旬	車いす購入	設楽	厚友会

6月下旬	火災通報装置、自家発電設備 設置工事	秋保	五光トータル
7月下旬	車庫前アスファルト簡易部分舗装工事	秋保	(株) 盛永組
8月下旬	洋ユニット食洗機修理	秋保	パナソニック コンシューマ マーケティング
9月中旬	煙感知器取替、スプリンクラー配管内の水抜き	秋保	五光トータル
9月下旬	和ユニット洗濯機購入 (2台)	秋保	ヤマダ電機
9月下旬	和ユニットテーブル購入	秋保	ニトリ
9月下旬	圧力鍋購入	秋保	イオン旭川西店
10月上旬	和ユニット乾燥機修理	秋保	ヤマダ電機
10月下旬	和ユニットオーブンレンジ購入	秋保	ヤマダ電機
10月下旬	和ユニット加湿空気清浄機購入	秋保	ヤマダ電機
11月上旬	洋ユニット食洗機修理	秋保	パナソニック コンシューマ マーケティング
12月下旬	洋ユニット加湿空気清浄機購入	設楽	ヤマダ電機
1月中旬	ガス漏れ検知器取替	秋保	五光トータル
1月下旬	床ずれ予防マットレス購入	設楽	厚友会
3月中旬	洋ユニット洗面台取り替え	秋保	大洋設備(株)

(4) ボランティア状況

日 時	内 容	人 数
4月15、30日	お話しボランティア	1名
5月16、30日	お話しボランティア	1名
6月6日	一斉清掃… GH ご家族 SH ご家族 友愛活動 体操クラブ 鷹栖高校	13名 8名 6名 17名 7名 合計…51名
6月17、28日	お話しボランティア	1名
7月10、22日	お話しボランティア	1名
8月8日	焼き肉パーティー	9名
8月11日、23日	お話しボランティア	1名
9月20日	お話しボランティア	1名
10月10日、18日	お話しボランティア	1名
11月8日	大正琴(女性部)	13名

11月14日	青年会との食事会	12名
11月23日	お話ボランティア	1名
12月12日、20日	お話ボランティア	1名
1月17日	お話ボランティア	1名
3月4日	皿回し	4名

(5) 行事活動状況

日 時	行 事 名	場 所	担 当 者
5月11日	花見ツアー(和・洋ユニット)	キトウシドライブ	西・下村
6月22日	いちご狩り(和・洋ユニット)	牧野農園	森本・設楽
7月12日	さつき祭	さつき苑	桑原・高橋
8月8日	焼き肉パーティー	なごみの家	志知・古屋
8月9日	熱夏フェスタ 花火見学	メロディーホール前	志知・古屋
8月13日	鷹栖地区盆踊り参加	鷹栖地区住民センター	坂原・喜多
8月16日	流しそうめん	なごみの家	藤原・岡本
9月23日	猿舞座(猿回し)	なごみの家	秋保・設楽
10月6日	紅葉狩り	春光台公園	新井・樫山
10月12日	なごみの家運動会(チャレンジデー)	なごみの家	鶴谷・渡辺
11月14日	青年会との食事会	なごみの家	秋保・設楽
12月25日	クリスマス会	なごみの家	星・山本
12月27日	餅つき・忘年会	なごみの家	設楽・志知
2月3日	節分	なごみの家	設楽・荒井

平成 27 年度
多機能型グループホーム鷹栖なごみの家
現況報告書

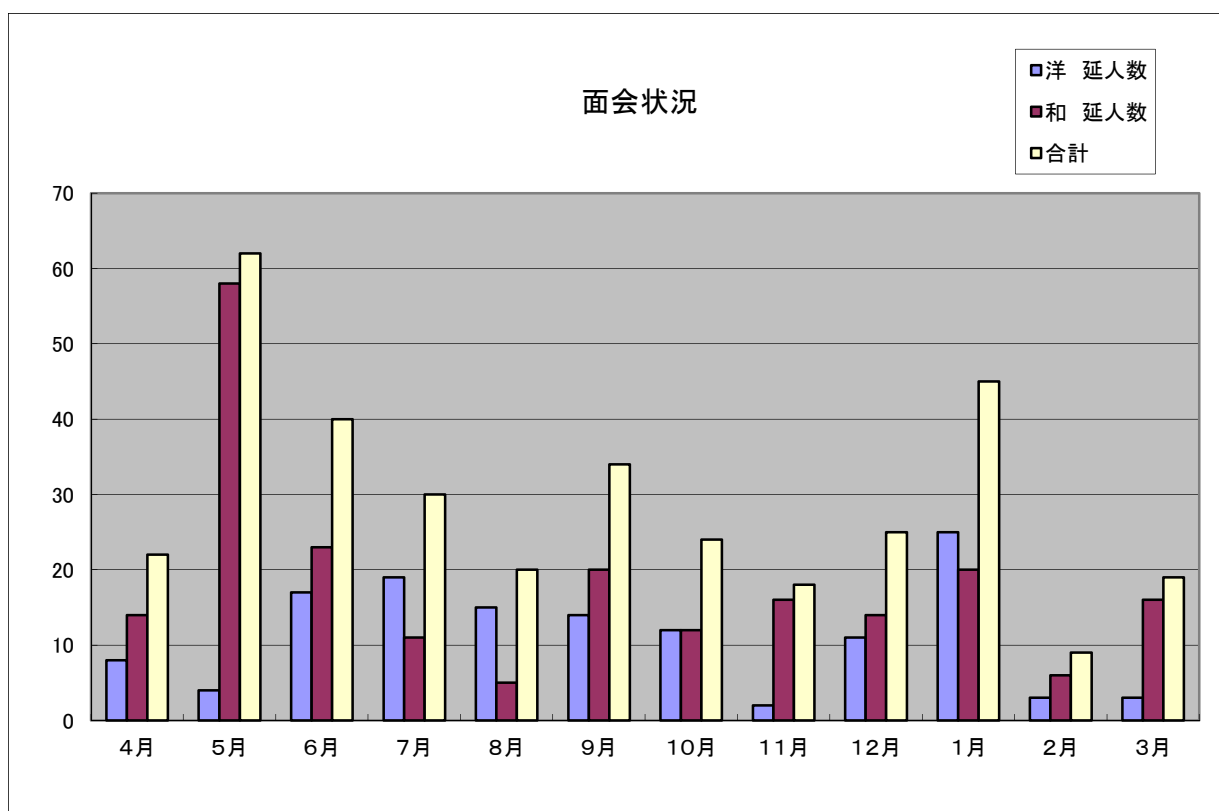
(自：平成 27 年 4 月 1 日 ～ 至：平成 28 年 3 月 31 日)

8 入院状況

	実人数	延日数
整形外科系	0	0
精神科系	0	0
内科系	3	49
消化器系	1	14
脳神経外科系	0	0

9 面会状況

	洋 延人数	和 延人数	合計	1日平均
4月	8	14	22	0.73
5月	4	58	62	2
6月	17	23	40	1.3
7月	19	11	30	0.96
8月	15	5	20	0.64
9月	14	20	34	1.13
10月	12	12	24	0.77
11月	2	16	18	0.6
12月	11	14	25	0.8
1月	25	20	45	1.45
2月	3	6	9	0.32
3月	3	16	19	0.61
合計	133	215	348	0.95



平成27年度 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家事業報告

1. 総括

平成27年度は『安全で根拠に基づく介護サービスの提供』『基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供』『職員の専門性の向上を図るため、利用者に係わる情報を集め、求められるニーズからケア目標を立案し、根拠に基づいたケアを展開できるよう育成する』『地域に密着した運営の見直し』そして『職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場を作る』『業務の効率化と適正利益の確保』と6つの重点目標をかかげ取り組んだ。

1) 「安全で根拠に基づく介護サービスの提供」

毎月カンファレンスを実施し、ケアの見直しと統一したケアに努めた。困難ケースにおいては、開催の遅れはあったものの、随時ケースカンファレンスを行い、本人の状態の維持に繋げるよう努めた。水分摂取量の把握を行い、適切な水分管理を本人及び家族と共に取り組み、脱水症に陥りやすい夏期間については、訪問サービスを実施し水分管理を強化したことで脱水による体調不良者、入院者を出すことなく支援ができた。食中毒・感染症については、手洗いうがいの徹底、湿度管理の強化を行い、集団感染ゼロを維持することができた。ノロウイルス、インフルエンザ共に自宅にて1名発症者がいたが、訪問サービスにて、衛生管理や水分補給の支援を実施し栄養管理を含め家族への助言にも努めた。病状の悪化や認知症状の悪化した利用者に対してのケアについては、家族・病院との連携を図り、受診の同行や、状況報告を行うことで主治医と情報を共有し病状管理に努めた。薬についても主治医と相談し減薬や調整を行い、症状を改善するために継続泊まりを提供するなどニーズに合わせた取り組みを実践した。事故件数は、前年度より12件多く、内、ケアミスによるものが17件と事故後の分析や再発防止に努めたが減少までには至らなかった。

2) 「基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供」

例年同様に基礎介護力・専門性の向上を図るため、事業所内での基礎介護研修を実施した。内容は前年よりもさらにレベルアップさせ、実践に繋がれるものとした。また、事業所内の職員が講師を受け持つことで、講師となった職員のレベルアップにもつなげる事ができた。

学習療法に関しては、実施者5名となり、認知症予防、認知症の症状改善に努めた。

3) 「職員の専門性の向上を図るため、利用者に係わる情報を集め、求められるニーズからケア目標を立案し、根拠に基づいたケアを展開できるよう育成する」

各担当利用者のADL(日常生活動作)とQOL(生活の質)の向上を図るため介護過程の展開(アセスメント、計画、実施、評価)に連動させながら利用者一人一人の「ハピネスプラン」を計画し取り組んだ。初めての取り組みで不十分なところはあったが、個別の楽しみや喜びを探り、本人の願いや思いを叶える事ができ利用者の意欲向上と職員

の成長とやりがいに繋がった。

4)「地域に密着した運営の見直し」

例年通り、地域の行事や催し物に参加する事はできたが、日常的な地域への外出には至らなかった。ボランティアに関しては、新たに2団体の方々の協力を得ることができ、地域の方々との交流を持つことができた。定例で開催している運営推進会議では、今年度からの新たな取り組みである「サービス評価」を委員の皆様にも協力してもらい多くご意見をいただき運営に反映することができた。

5)「職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場を作る」

例年同様、職員面談は定期的に継続して行い、不安やストレスの軽減に繋がった。連続休暇(5連休)についても全職員が取得することができ職員のリフレッシュが図れた。全職員で『過ごしやすい環境作り』を年間目標として取り組んだ。季節感のある温かみのあるしつらえ作りを毎月各担当が楽しみながら行い、玄関のしつらえについては来所する方々への「おもてなし」として良い環境作りができた。しかし、今年度計画していたリハビリスペース確保の為に和室改修については延期となり、生活環境を整えるまでには至らず。

6)「業務の効率化と適正利益の確保」

今年度、新規利用者は居宅からの移行を含め12名。登録終了者は10名(内、長期入院により4名、施設入居4名、サービスの移行1名、死去1名)で月平均登録者数は20.8名と目標の21名には至らず。病状の悪化、再発で長期入院にいたらないようケアチェックの強化に努めたが不十分であった。

2. 次年度に向けての展望

平成28年度に向けて、今年度の重点目標に『利用者の暮らしやすい生活環境をつくる』を追加し7つの重点目標をかかげた。環境作りに関しては、和室の改修工事を実施し重度の認知症の方が安心して過ごせる居場所づくりと、利用される皆さんがくつろげる空間作りを提供する。

利用者の在宅生活の継続が困難にならないよう、通いサービス利用中のみならず、自宅での生活状況を十分に把握するよう努め、健康状態の把握・悪化の予測をし、医療連携を密に行うことで入院による登録終了者を減らし、適正利益の確保を図る。

また、利用者一人一人のニーズを探り利用者の生きがいや楽しみ・自信に繋げると共に、職員のやりがいにも繋げられるよう「ハピネスプラン」の取り組みを継続し実施する。サービスを利用することで、元気に在宅生活を続けて行くことができ、利用者・家族から必要とされ、地域の方からも頼られる事業所運営を目指す。

3. 運営状況・統計資料

(1) 小規模多機能ホーム会議開催状況

月 日	議 題 内 容	出席者
4月21日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者と今後の対応、事故報告と今後の対応・行事（花見）について・はびねすプラン・係担当について・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会について	8名
5月19日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（チャレンジデイ、買い物・外食ツアー）について・小規模年間目標、畑について・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会について	7名
6月16日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者と今後の対応・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（買い物・外食ツアー、避難訓練など）について・利用者様の対応、畑の件について・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会について	6名
7月21日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者と今後の対応・抑制廃止の取り組み・事故報告・ヒヤリハット・今後の対応 行事（流し素麺、熱夏フェスタなど）について・脱水予防、和室改修について・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会について	7名
8月11日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者と今後の対応・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（手作りおやつ）について・はびねすプランについて・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会について、学習療法他施設見学の報告	8名
9月15日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者と今後の対応・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（外食・ドライブツアー、運動会）について・はびねすプランについて・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会について	7名
10月20日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（青年会との食事会、出前の日）について・加湿器掃除について・小規模運営改善計画進捗状況・学習療法月次検討会	8名
11月17日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・行事（出前の日、避難訓練）について・中間評価、介助方法の実技練習・小規模運営改善計画進捗状況・学習療法月次検討会	7名
12月15日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（クリスマス、餅つき・忘年会）について・午後の食材分けについて・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会	7名
1月19日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（出前の日）について・バイタル測定、事務所掃除について・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会	7名

2月16日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（皿回し、はぴねすプラン）について・平成28年度小規模目標・行事・月レク担当・係担当・誕生日プレゼントについて・小規模運営改善計画進捗状況について ・学習療法月次検討会	7名
3月15日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（出前の日）について・平成28年度小規模目標・行事・月レク担当・係担当・誕生日プレゼントについて・満足度調査結果について・小規模運営改善計画進捗状況について ・学習療法月次検討会	8名

(2) 小規模多機能ホーム事故状況

月 日	内 容	結 果
4月 5日	転落（87歳・女性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
4月 6日	未投薬（77才・男性）	異常無し
4月27日	切り傷（95才・女性）	右手中指と薬指に切り傷、大雪HP受診時テープ保護。その後異常無し
4月27日	転倒（95才・女性）	大雪HPにてレントゲンとCTを撮り、異常無し。その後も異常無し
5月10日	転倒（97才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
5月13日	誤飲（79才・女性）	異常無し
5月20日	転倒（82才・男性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
5月23日	他利用者様からの暴力（84才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
6月 8日	未投薬（84才・女性）	異常なし
6月16日	転倒（80才・男性）	右後頭部痛みと腫れが、日赤へ救急搬送し、脳と右大腿骨の検査を行うが異常無し。その後も異常無し
6月18日	転倒（80才・男性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
7月 6日	転落（87才・女性）	左肩の痛みあるも外傷なし・その後も異常無し
7月 6日	単独外出（77才・女性）	鷹栖高校グラウンドフェンス奥側付近に居るのを発見
7月17日	転倒（80才・男性）	当初頭が痛いと話あるが、外傷なし・その後も異常無し
7月17日	未服薬（77才・女性）	異常なし
7月26日	転倒（80才・男性）	後頭部に痛みがあるも、外傷は無し。その後異常無し
7月27日	尻もち（90才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし

8月13日	転倒（80才・男性）	右眼の斜め上に切り傷、右眼横に腫れがあり、アイシングする。その後異常なし
8月25日	転倒（80才・男性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
8月26日	未投薬（97才・女性）	異常なし
9月22日	尻もち（82才・男性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
9月26日	転倒（80才・男性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
11月30日	転倒（80才・男性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
12月8日	誤投薬（83才・女性）	異常無し
12月19日	転落（97才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
12月26日	未投薬、誤投薬（77才・女性）	異常無し
12月28日	転落（97才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
1月13日	転倒（81才・男性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
1月16日	転倒（97才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
2月12日	転倒（90才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
2月16日	転倒（98才・女性）	右脇腹に痛みあるが、外傷は無し・その後異常無し

(3) 小規模多機能ホーム行事活動報告

日 時	行 事 名	場 所	担 当 者
4月27日	外食	イオン旭川西店	永野・高橋・茂田
4月30日	花見	花咲公園他	茂田
5月1日	花見、ドライブ	花咲公園他	林崎・松嶋 小林・小野
5月2日	花見、ドライブ	花咲公園他	茂田
5月3日	花見、ドライブ	東川・美瑛	高橋
5月27日	春のチャレンジデー	SH ホール	松嶋・永野 深瀬・渡部
6月16日	買い物・外食ツアー	イオン旭川西店	松嶋・出倉・渡部
6月17日	買い物・外食ツアー	イオン旭川西店	永野・志知・小野
6月18日	買い物・外食ツアー	イオン旭川西店他	松嶋・深瀬・小野
7月12日	さつき祭	鷹栖さつき苑	高橋・茂田
7月28日	流し素麺	交流スペース	松嶋
7月31日	ドライブ	鷹栖町内	永野
8月8日	熱夏フェスタ焼き肉	なごみの家	林崎・松嶋
8月9日	熱夏フェスタ花火見学	メロディーホール	高橋
9月11日	ドライブ	和寒方面他	高橋・深瀬
9月23日	猿舞座	なごみの家	秋保
9月27日	外食・ドライブ	道の駅剣淵他	高橋・茂田

9月28日	外食・ドライブ	道の駅剣淵他	永野・茂田・小野
9月29日	外食・ドライブ	道の駅剣淵他	松嶋・永野・小林
9月30日	外食・ドライブ	イオン旭川西店他	松嶋・出倉
10月12日	秋のチャレンジデー（運動会）	洋ユニット	永野・渡部
10月13日	はびねすプラン実施（1名）	花咲、イオン旭川西店他	深瀬
10月15日	ドライブ	永山方面	永野・深瀬
10月20日	はびねすプラン実施（2名）	三番館	小野
11月14日	青年会との食事会	なごみの家	松嶋
11月24日	出前の日	なごみの家	永野
12月26日	餅つき・忘年会	なごみの家	松嶋・高橋
1月27日	出前の日	なごみの家	松嶋
2月 3日	節分 豆まき	なごみの家	出倉
3月 4日	皿回し	交流スペース	松嶋
3月11日	はびねすプラン実施（1名）	末広ビクトマト他	松嶋
3月29日	出前の日	なごみの家	高橋

（4）手作りおやつ

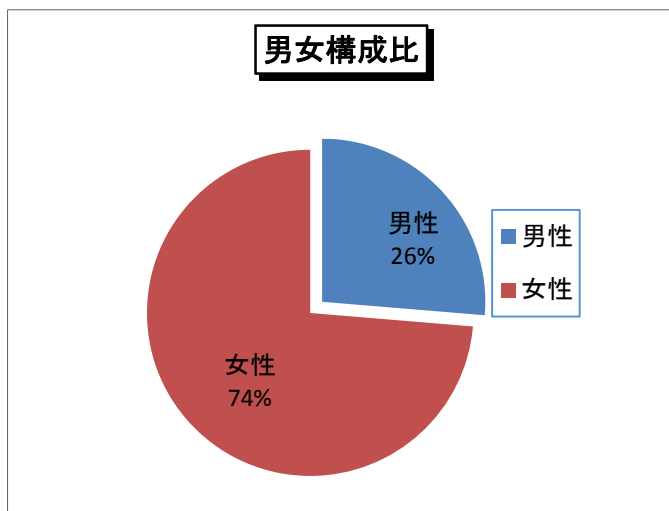
	内 容
4月19日	ヨーグルトパフェ
5月18日	たこ焼きみたいなホットケーキ
6月23日	黄粉ねじり
7月22日	わらび餅
8月20日	豆腐白玉
9月18日	スフレプリン
10月17日	焼き芋風スイートポテト
11月15日	クレープ
12月21日	手作りどら焼き
1月19日	ふわふわ低カロリークッキー
2月17日	薩摩芋の黄粉団子
3月17日	薩摩芋の黄粉団子

平成 27 年度
小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家
現況報告書

(自：平成 27 年 4 月 1 日 ～ 至：平成 28 年 3 月 31 日)

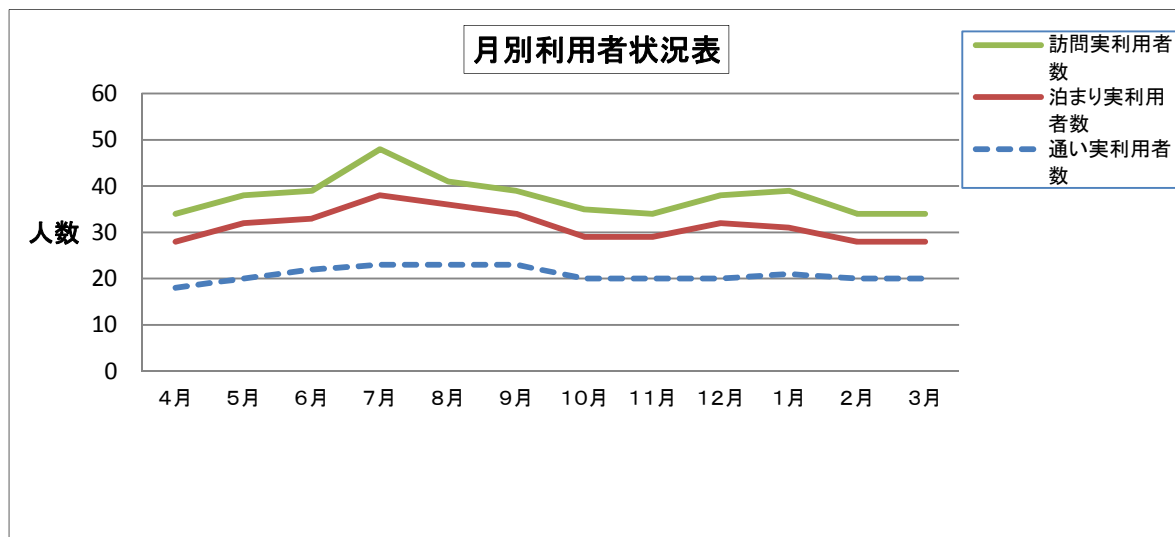
1. 利用登録者

男性	女性	合計
5	14	19



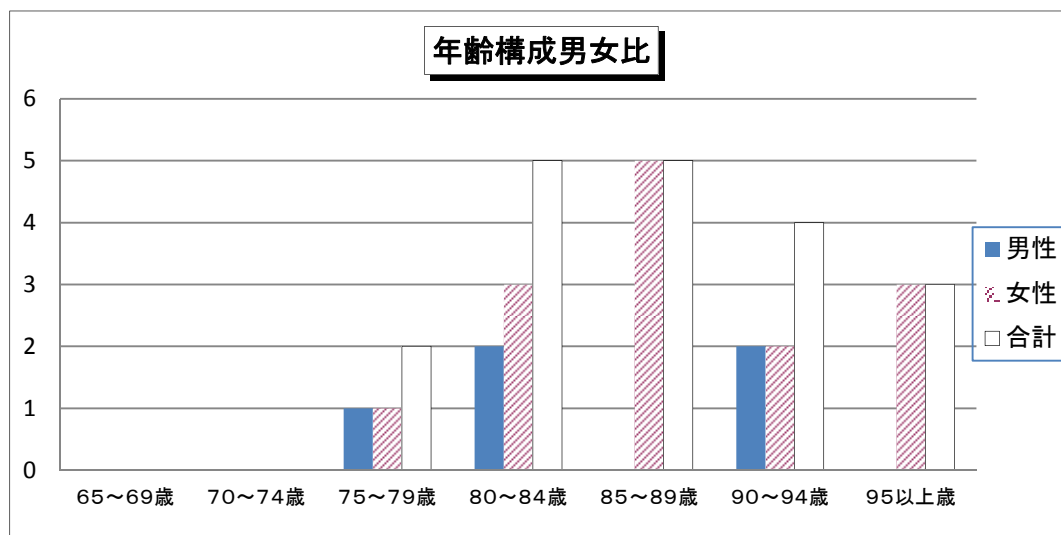
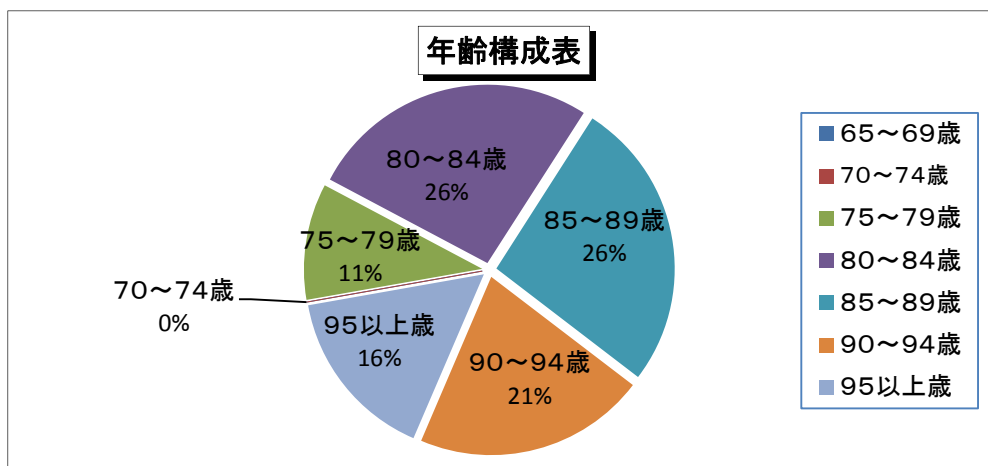
2. 月別利用者状況

月	通い実利用者数	泊まり実利用者数	訪問実利用者数	入院者	停止者	月初登録者数
4月	18	10	6	1	0	17
5月	20	12	6	1	0	19
6月	22	11	6	1	1	21
7月	23	15	10	1	1	22
8月	23	13	5	0	1	22
9月	23	11	5	1	3	22
10月	20	9	6	1	1	20
11月	20	9	5	0	0	19
12月	20	12	6	0	0	20
1月	21	10	8	1	2	20
2月	20	8	6	0	0	20
3月	20	8	6	1	1	20
平均	20.8	10.7	6.3	0.7	0.8	20.2



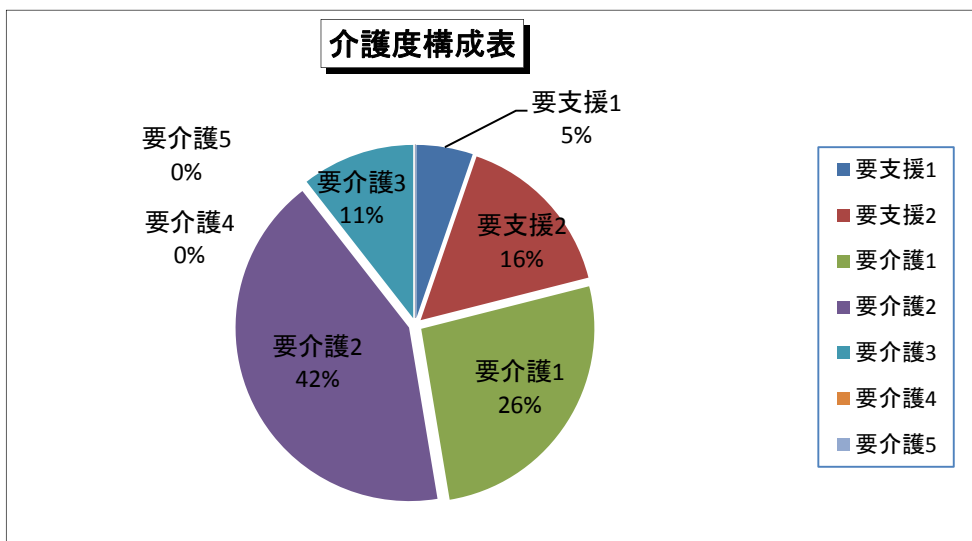
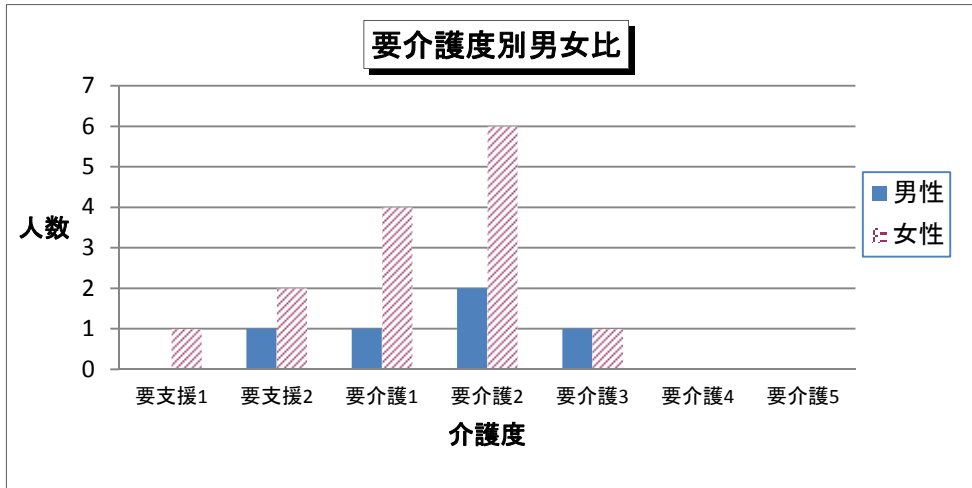
3. 年齡

年齡	男性	女性	合計
65~69歲	0	0	0
70~74歲	0	0	0
75~79歲	1	1	2
80~84歲	2	3	5
85~89歲	0	5	5
90~94歲	2	2	4
95以上歲	0	3	3
合計	5	14	19
平均年齡	76.6	84	83.3
最高年齡	90	98	98
最低年齡	75	78	75



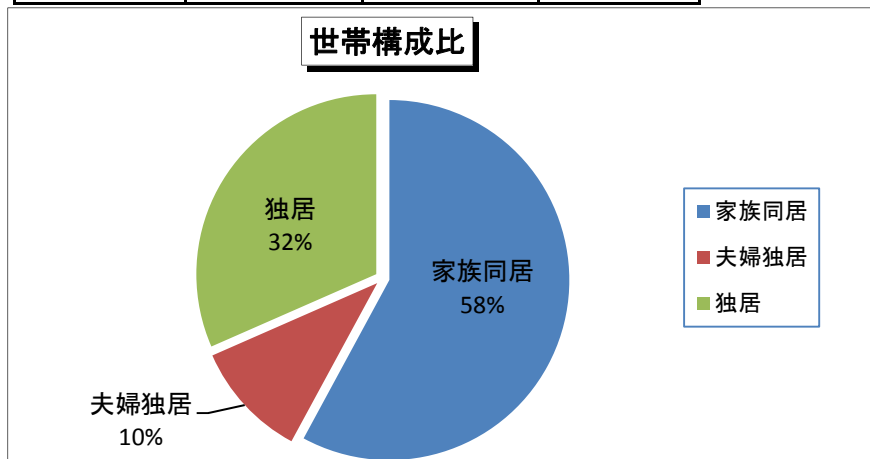
4. 要介護度別

介護度	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	1	1	13%
要支援2	1	2	3	6%
要介護1	1	4	5	44%
要介護2	2	6	8	25%
要介護3	1	1	2	6%
要介護4	0	0	0	6%
要介護5	0	0	0	0%
合計	5	14	19	100%



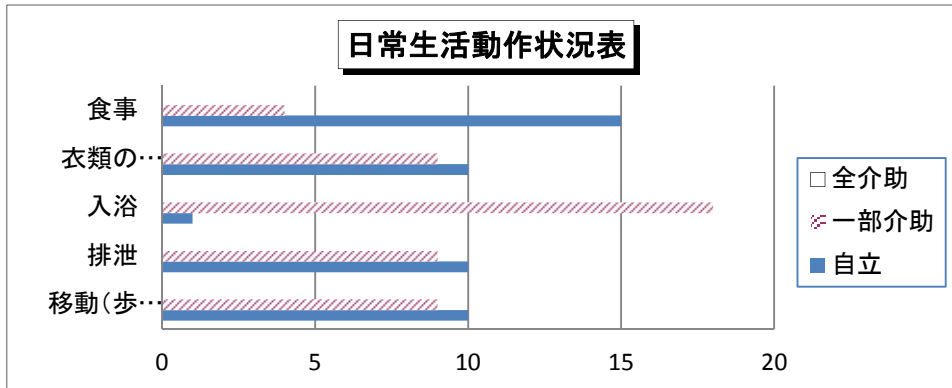
5. 世帯構成

家族同居	夫婦独居	独居	合計
11	2	6	19



6. ADL(日常生活動作)状況

分類	自立	一部介助	全介助	合計
移動(歩行)	10	9	0	19
排泄	10	9	0	19
入浴	1	18	0	19
衣類の着脱	10	9	0	19
食事	15	4	0	19

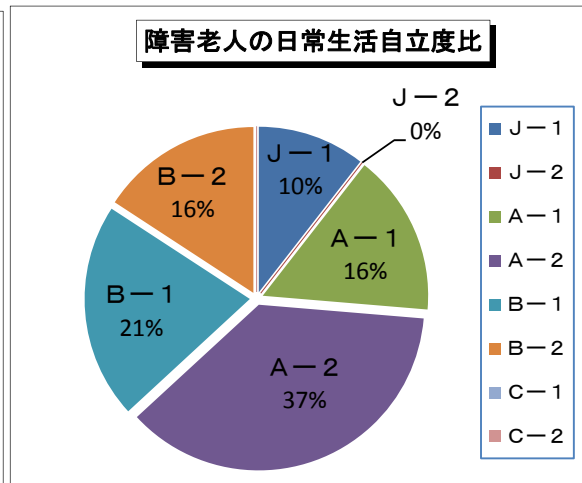
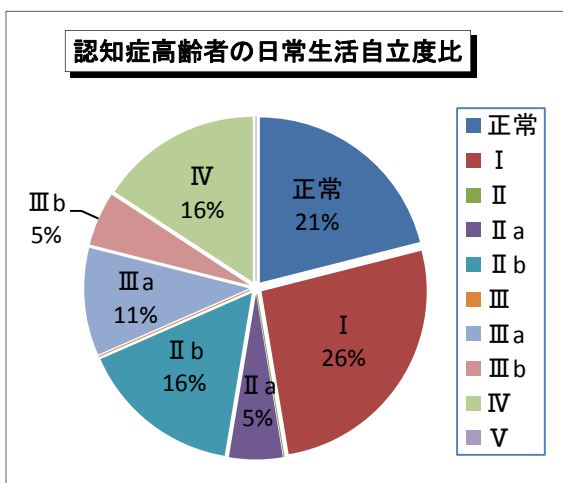


7. 認知症高齢者の日常生活自立度状況

認知度	人数
正常	4
I	5
II	0
II a	1
II b	3
III	0
III a	2
III b	1
IV	3
V	0
合計	19

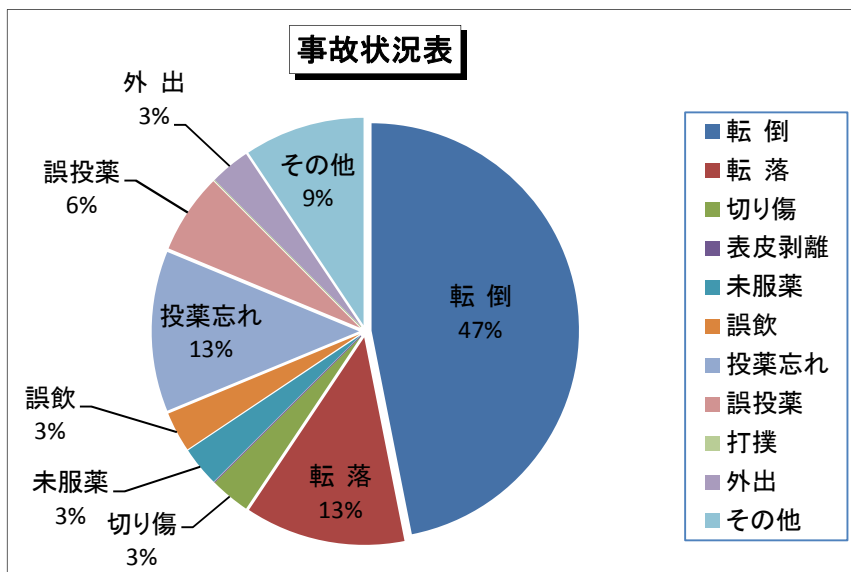
8. 障害老人の日常生活自立度

自立度	人数
J-1	2
J-2	0
A-1	3
A-2	7
B-1	4
B-2	3
C-1	0
C-2	0
合計	19



9. 事故状況

内容	件数
転倒	15
転落	4
切り傷	1
表皮剥離	0
未服薬	1
誤飲	1
投薬忘れ	4
誤投薬	2
打撲	0
外出	1
その他	3
合計	32



平成 27 年度 地域密着型特別養護老人ホームめぐもりの家えん 事業報告

1. 総括（今年度の取り組みの成果）

平成 27 年度は「重度な障害や認知症があっても健康で穏やかな生活を支えるケアを提供する」「知識・技術の専門性を持ち、主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足を高め、自ら働きがいのある職場をつくる」「適正利益の確保」を重点目標に掲げ取り組んだ。

1) 「重度な障害や認知症があっても健康で穏やかな生活を支えるケアを提供する」

健康で穏やかな生活を保障するためには先ず、日々の健康管理が大切であることから、看護師、栄養士と連携を深め記録の確認（wチェック）を徹底し、脱水症、低栄養の予防に努め、下剤については食物繊維やオリーブオイル等を導入し下剤中止が 5 名、下剤減量が 2 名事故については検証し対策を図ったが、転倒転落 38 件（昨年 39 件）誤薬・未投薬 19 件（昨年 19 件）全体では 88 件（昨年 87 件）と昨年と変わらない状況であった。誤薬については服薬忘れがほとんどであり、これはケアで防げると考える。骨折は昨年 1 件であったが今年度、骨折や入院に至る事故はなかった。認知症の周辺症状については、できるだけ早めのカンファレンスを実施し対応に当たるようにした。また、進行を少しでも遅らせるように 2 名の学習療法を継続し行った。感染症については昨年同様に加湿、手洗いがい体調管理に心がけインフルエンザ・ノロウイルス等にも感染せず、面会を制限することもなかった。入院についても 2 名で年間 11 日（昨年 125 日）と目標の 90 日を大きく下回ることができた。

2) 「知識・技術の専門性を持ち、主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足を高め、自ら働きがいのある職場をつくる」

専門性を高めるために、例年どおりではあるが基礎介護研修を行った。新しい講師も 4 名加え、自らの知識を人に伝えることに努めました。また、自立支援と QOL の向上を図るため介護過程の展開に取り組んだ。大きな成果までには至っていないが、本人のできること、できない事を見極め、思いを一つでも叶えられるように取り組み役割を作る事ができた。身体機能の維持向上のため体操とセラバンド体操を導入し筋力の低下防止に努めた。また、働きがいのある職場作りの一環として、今年度も継続して 5 連休の取得に努め全員に実施することができた。休暇を取りリフレッシュすることで良い仕事へも繋がったように感じる。職員の離職も途中で 1 名はありましたが、新任職員は途中で止めることなく 1 年間働くことができた。

3) 「適正利益の確保」

収入については要介護度が昨年度平均 2.8 から 3.0 に変更になり上がった。稼働率も入院が 11 日間であったため 99.3%と目標の 98%を大きく上回ることができた。

コストについては、暖房器具の使用の仕方を変え節電に努めた。オムツについてもできるだけ使用しない、サイズを小さくすることには取り組んだが大きな成果は得られなかった。

2. 展望（次年度に向けて）

平成 28 年度は、今年度に引き続き入居者が健康で穏やかな生活ができるケアを提供する事を目標に掲げ取り組んでいく。一つ目は、重度の身体障害や認知症に対応し、苦痛を与えない介護力を身につけていく。

二つ目には、働きがいのある職場作りである。職員が入居者の自立支援と尊厳を保つ支援の 2 つの視点を持って、ケアプラン作成に参加する事を継続し、計画を実践することで成果を得て、仕事のやりがいを感じとれるようにしていく。また、来年度は連休休暇 7 日取得を目指し職員のリフレッシュが図れるように取り組む。

三つ目は、来年度も稼働率 98%を必達目標とし、適切な収益を得られるようにし、入居者が安心して穏やかに生活できるよう支援し、より地域に根ざした施設運営を目指していく。

3. 運営状況・統計資料

(1) 業績報告

①ベッド稼働率

目標ベッド稼働率 (A)	実際ベッド稼働率 (B)	達成率(B)/(A)×100
98.0%	99.3%	101.3%

②延べ入居者数 (単位：人)

目標延べ入居者数 (A)	実際延べ入居者数 (B)	達成率(B)/(A)×100
7174	7269	101.3%

③事業収入(単位：千円)

目標収入 (A)	実際収入 (B)	達成率(B)/(A)×100
89,354	96,785	108.3%

(2) ボランティアの受け入れ

①ボランティア受け入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	5	5	51
延人数	20	23	24	23	17	21	20	23	22	22	37	31	283

②ボランティア協力団体一覧

団体名	活動・協力内容
ぬくもり友の会	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇整備 ・シーツ交換 ・洗面台清掃 ・車椅子清掃 ・喫茶てくてく参加 ・朝市への参加、誘導 ・畑おこし、整備 ・買い物ツアー付き添い ・除雪
ぬくもり友の会、家族会	<ul style="list-style-type: none"> ・窓ふき ・大掃除 ・餅つき
琴伝流大正琴北野会	<ul style="list-style-type: none"> ・大正琴演奏披露
鷹栖町商工会女性部	<ul style="list-style-type: none"> ・大正琴演奏披露
絵画サークル虹の会	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画展示
たかす手話サークル	<ul style="list-style-type: none"> ・手話

個人ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居 ・読み聞かせ ・話し相手
----------	---

(3) 外出・外泊・面会状況

年月	面会延べ人数(名)	外出回数 (回)	外泊回数 (回)
平成 27 年 4 月	113	1	1
5 月	132	4	4
6 月	100	5	4
7 月	97	2	5
8 月	114	6	3
9 月	138	0	3
10 月	105	0	6
11 月	104	1	1
12 月	88	1	2
平成 28 年 1 月	104	1	4
2 月	80	0	3
3 月	97	0	1
合計	1272	21	37

(4) 行事

日 時	行 事 名	場 所	担 当 者
H27年5月1日	えん開設記念日	てくてく	佐々木・山内
H27年5月7.8日	お花見ツアー	旭山、上野ファーム	坂口・畠山
H27年6月5日	花壇整備	えん庭	森
H27年6月22.23.24日	買い物ツアー	やすけ、ウエスタン 川端、花屋敷	松本・成田
H27年6月21日	円山幼稚園運動会見学	円山幼稚園	畑山・宮原
H27年7月12日	さつき祭	さつき苑	室橋・常田・若宮
H27年7月28日	流しそうめん	そら、はなリビング	谷水・北川
H27年8月4日	北野神社祭・獅子舞	えん駐車場	山内・坂口
H27年8月8日	戦没者慰霊祭	戦没者慰霊之塔	環境委員会
H27年8月11日	夕涼み会	えん駐車場	宮原・松本
H27年9月8.9.10.日	買い物ツアー	イオン永山店 しまむら	畑山・常田
H27年9月15日	長生き感謝祭	メロディーホール	谷本・森
H27年9月28日	収穫祭&ボランティアの会	てくてく	室橋・森
H27年10月5.6日	紅葉ツアー		成田・中澤
H27年12月24日	クリスマス会	そら、はなリビング	アクティビティ委員会
H27年12月26日	忘年会・餅つき	はなリビング	坂口・山内・宮原
H28年2月3日	豆まき	はなリビング	松本・谷水
H28年3月3日	ひな祭り	はなリビング	アクティビティ委員会

(5) 全体会議 (計 11 回)

月 日	議題内容	参加人数
平成 27 年 4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて 	12
平成 27 年 5 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (3 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて 	20
平成 27 年 6 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (4 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて ・虐待防止研修 	18
平成 27 年 7 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (5 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 	19
平成 27 年 8 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (6 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて ・食中毒研修 	20
平成 27 年 9 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (7 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて ・接遇研修報告 	20
平成 27 年 10 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (8 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて ・食事ケア研修 	19
平成 27 年 11 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (9 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・排泄ケア研修 	19
平成 27 年 12 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (10 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて ・トランスファー研修 	20
平成 28 年 1 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (11 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて ・入浴ケア研修 	20
平成 28 年 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施 	
平成 28 年 3 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (1 月・年間) ・移乗方法について ・今後の予定 ・活動報告 ・日誌の記入方法について 	19

(6) リーダー会議 (計 12 回)

月 日	議題内容	参加人数
平成 27 年 4 月 28 日	・ケースカンファレンス・事故報告について・褥瘡発症者の経過 ・業績管理、活動計画・栄養状況の悪い方 ・行事について ・スタッフケアマネジメント	7
平成 27 年 5 月 26 日	・ケースカンファレンス ・褥瘡発症者の経過・行事について ・事故報告について・業績管理 活動計画・スタッフマネジメント	7
平成 27 年 6 月 30 日	ケースカンファレンス ・褥瘡発症者の経過・行事について ・事故報告について・業績管理 活動計画・スタッフマネジメント	7
平成 27 年 7 月 28 日	ケースカンファレンス ・褥瘡発症者の経過・行事について ・事故報告について・業績管理 活動計画・スタッフマネジメント	7
平成 27 年 8 月 25 日	ケースカンファレンス ・褥瘡発症者の経過・行事について ・事故報告について・業績管理 活動計画・スタッフマネジメント	7
平成 27 年 9 月 29 日	・ケースカンファレンス ・褥瘡発症者の経過・行事について ・事故報告について・業績管理 活動計画・スタッフマネジメント	7
平成 27 年 10 月 27 日	・ケースカンファレンス ・褥瘡発症者の経過・行事について ・事故報告について・業績管理 活動計画・スタッフマネジメント	7
平成 27 年 11 月 24 日	・ケースカンファレンス ・褥瘡発症者の経過・行事について ・事故報告について・業績管理 活動計画・スタッフマネジメント	6
平成 27 年 12 月 17 日	・ケースカンファレンス ・栄養状況の悪い方 ・事故報告について ・業績管理 活動計画 ・行事について ・その他の検討事項	6
平成 28 年 1 月 26 日	・事業報告作成	7
平成 28 年 2 月 23 日	・ケースカンファレンス ・褥瘡発症者の経過 ・事故報告について ・スタッフマネジメント ・行事について ・栄養状況の悪い方 ・業績管理 活動計画 ・その他の検討事項	6
平成 28 年 3 月 22 日	・ケースカンファレンス ・栄養状況の悪い方 ・事故報告について ・行事について ・褥瘡発症者について ・業績管理 活動報告	6

(7) 特養会議 (計 11 回)

月 日	議題内容	参加人数
平成 27 年 4 月 1 日	・ケアカンファレンス ・栄養マネジメント ・事故の検討 ・褥瘡発症者及びハイリスク者	13
平成 27 年 5 月 8 日	・ケアカンファレンス ・事故の検討 ・入居者担当について ・褥瘡発症者及びハイリスク者 ・栄養マネジメント	12
平成 27 年 6 月 3 日	・ケアカンファレンス ・栄養マネジメント ・家族からの要望・苦情 ・事故の検討 ・褥瘡発症者及びハイリスク者	10
平成 27 年 7 月 1 日	・ケアカンファレンス ・事故の検討 ・褥瘡発症者及びハイリスク者 ・その他の検討事項	11
平成 27 年 8 月 5 日	・ケアカンファレンス ・事故の検討 ・その他の検討事項 ・褥瘡発症者及びハイリスク者	12
平成 27 年 9 月 2 日	・ケアカンファレンス ・事故の検討 ・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント	13
平成 27 年 10 月 7 日	・ケアカンファレンス ・栄養マネジメント ・事故の検討 ・その他の検討事項 ・マナーモラルについて・褥瘡発症者及びハイリスク者	11
平成 27 年 11 月 5 日	・ケアカンファレンス ・事故の検討 ・褥瘡発症者及びハイリスク者 ・栄養マネジメント	13
平成 27 年 12 月 2 日	・ケアカンファレンス ・事故の検討 ・褥瘡発症者及びハイリスク者 ・栄養マネジメント ・口腔ケアについて ・物品上半期合計について	13
平成 28 年 1 月 6 日	・ケアカンファレンス ・褥瘡発症者及びハイリスク者 ・事故の検討 ・栄養マネジメント ・介護過程の展開について ・各委員会から	11
平成 28 年 2 月	未実施	
平成 28 年 3 月 2 日	・ケアカンファレンス ・褥瘡発症者及びハイリスク者 ・栄養マネジメント ・事故の検討 ・その他の検討事項 ・各委員会から ・マナーモラルについて	12

(8) 給食会議 (計 12 回)

月日	議題内容	参加人数
平成 27 年 4 月 16 日	・小規模利用者について・必要な調理器具 ・システムについて・献立等について・行事について	11
平成 27 年 5 月 14 日	・特養入居者について・システムについて ・献立について・衛生面について	11
平成 27 年 6 月 11 日	・特養入居者について・システムについて ・献立について	11
平成 27 年 7 月 16 日	・特養入居者について・必要な調理器具について ・システムについて・献立について	11
平成 27 年 8 月 6 日	・小規模利用者について・必要な調理器具について ・システムについて・献立について・衛生面について ・行事について	11
平成 27 年 9 月 10 日	・特養入居者について・必要な調理器具について ・献立について・衛生面について・行事について	11
平成 27 年 10 月 8 日	・特養入居者について・必要な調理器具について ・献立について・システムについて ・衛生面について・行事について	11
平成 27 年 11 月 12 日	・特養入居者について・必要な調理器具について ・システムについて・献立について ・衛生面について・行事について	11
平成 27 年 12 月 17 日	・特養入居者について・必要な調理器具について ・献立について・衛生面について・行事について	11
平成 28 年 1 月 14 日	・小規模利用者について・特養入居者について ・必要な調理器具について・献立について ・衛生面について・行事について	11
平成 28 年 2 月 18 日	・特養入居者について・必要な調理器具について ・献立について・衛生面について・行事について	11
平成 28 年 3 月 17 日	・特養入居者について・小規模利用者について ・調理器具について・献立について・行事について	11

(9) 入院状況

病院名	診療科目	症状・病名	入院日	退院日	日数
旭川医療センター	消化器	C F 目的	4 月 22 日	4 月 23 日	1
市立 H P	皮膚科	蜂窩織炎	11 月 25 日	12 月 4 日	9
旭川医療センター	消化器	C F ・ ポリペク目的	3 月 7 日	3 月 9 日	2
旭川医療センター	消化器	ポリペク後再出血	3 月 12 日	3 月 15 日	3

(10) 通院状況

病院名	診療科目	計(人)	病院名	診療科目	計(人)
浅井医院	内科	7	ペインクリニック	麻酔科	6
旭川赤十字病院	外科	1	永山歯科	歯科	7
	泌尿器科	14	森山病院	整形外科	1
	循環器	2		E R	2
	脳外科	4		脳外科	1
	R H	1			
なかの呼吸器内科 C L	呼吸器	5	旭川医療センター	消化器内科	1
鷹栖歯科	歯科	3		神経内科	6
福祉村サテライト診療所	整形外科	4	仁友会クリニック	泌尿器科	2
市立病院	皮膚科	16	大西病院	外科	3

平成 27 年度 地域密着型特別養護老人ホーム

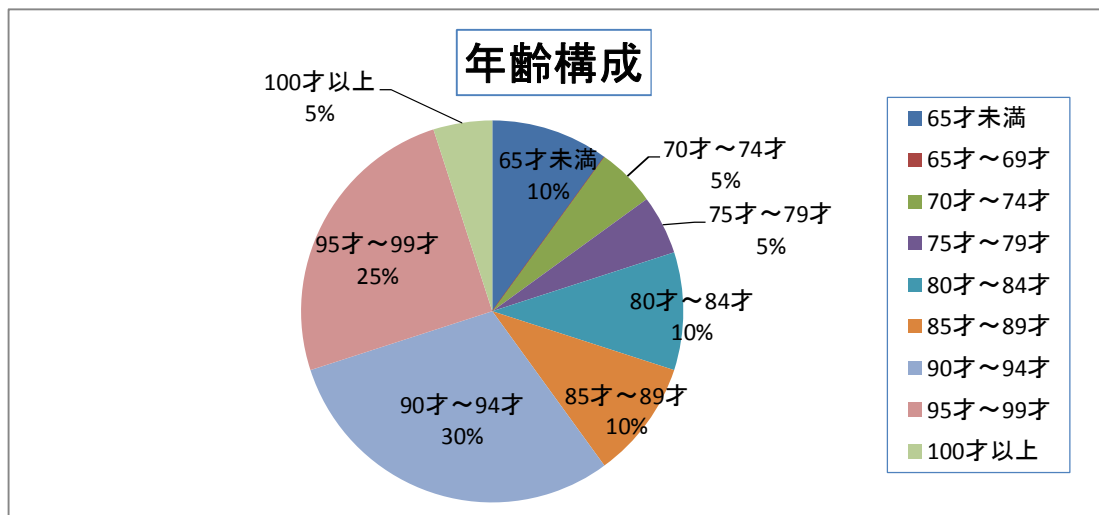
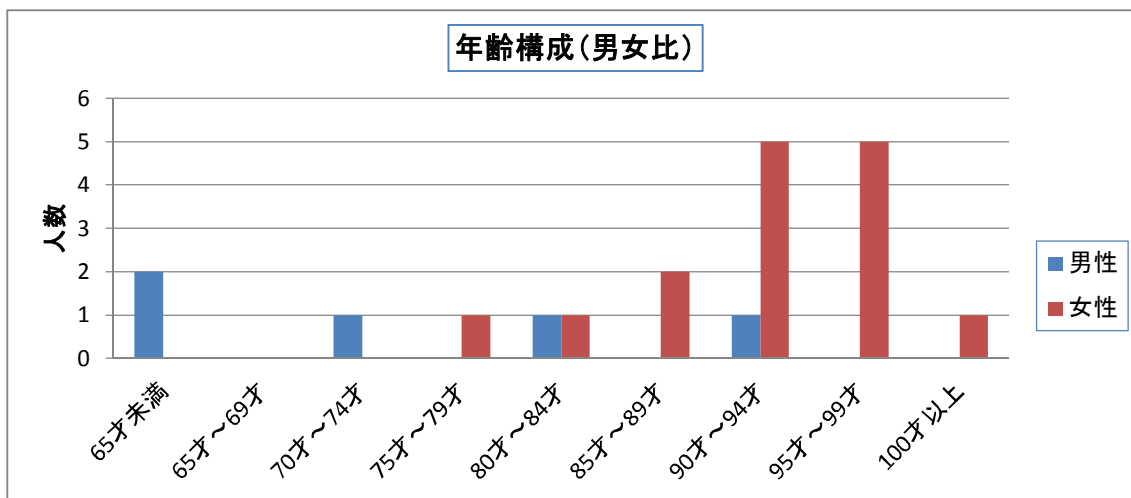
ぬくもりの家えん

現況報告書

(自：平成 27 年 4 月 1 日 ～ 至：平成 28 年 3 月 31 日)

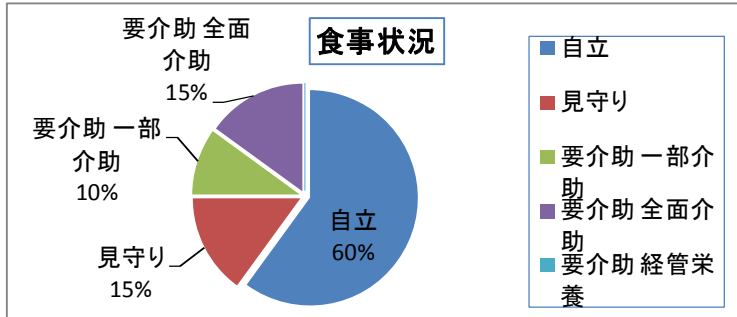
1.入居者年齢構成(平成28年3月31日現在)

	在籍者			【最高年齢】 男性 90 歳 女性 100 歳 【最低年齢】 男性 60 歳 女性 79 歳 【平均年齢】 男性 73.6歳 女性 91.9歳 全体 86.3歳
	男性	女性	計	
65才未満	2	0	2	
65才～69才	0	0	0	
70才～74才	1	0	1	
75才～79才	0	1	1	
80才～84才	1	1	2	
85才～89才	0	2	2	
90才～94才	1	5	6	
95才～99才	0	5	5	
100才以上	0	1	1	
計	5	15	20	



2.食事状況(平成28年3月31日現在)

	自立	見守り	要介助			合計
			一部介助	全面介助	経管栄養	
男性	3	1	0	1	0	5
女性	9	2	2	2	0	15
合計	12	3	2	3	0	20



3.移動状況(平成28年3月31日現在)

	歩行		杖	歩行器など		車いす使用		合計
	自立	要介助	自立	自立	要介助	自立	要介助	
男性	1	0	0	0	0	1	3	5
女性	1	1	0	2	1	1	9	15
合計	2	1	0	2	1	2	12	20

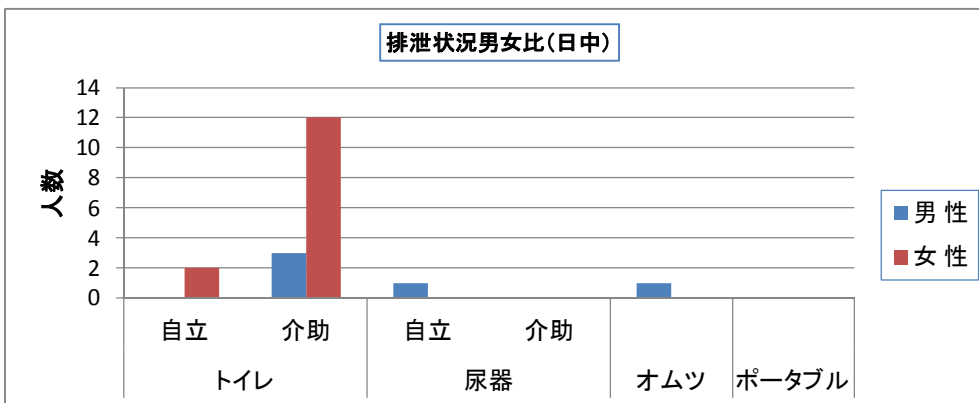
4.入浴状況(平成28年3月31日現在)

	一般浴		車いす浴	合計
	自立	介助		
男性	0	3	2	5
女性	0	6	9	15
合計	0	10	10	20

5.排泄状況(平成28年3月31日現在)

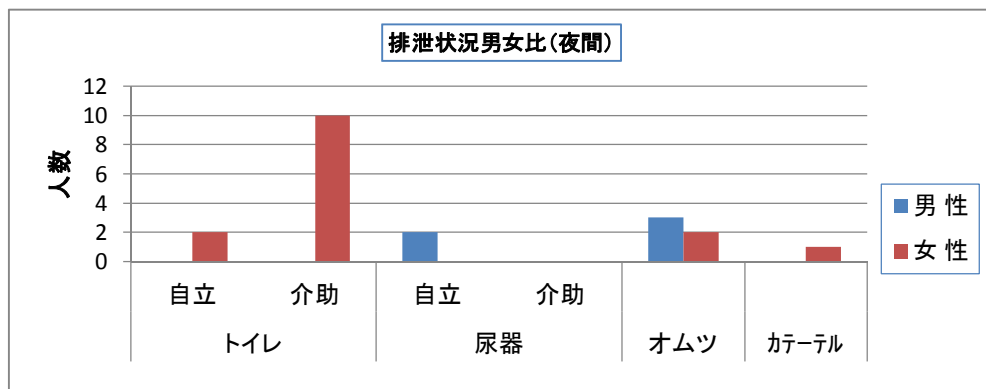
日中

	トイレ		尿器		オムツ	ポータブル	計
	自立	介助	自立	介助			
男性	0	3	1	0	1	0	5
女性	2	12	0	0	0	0	15
計	2	15	1	0	0	0	20



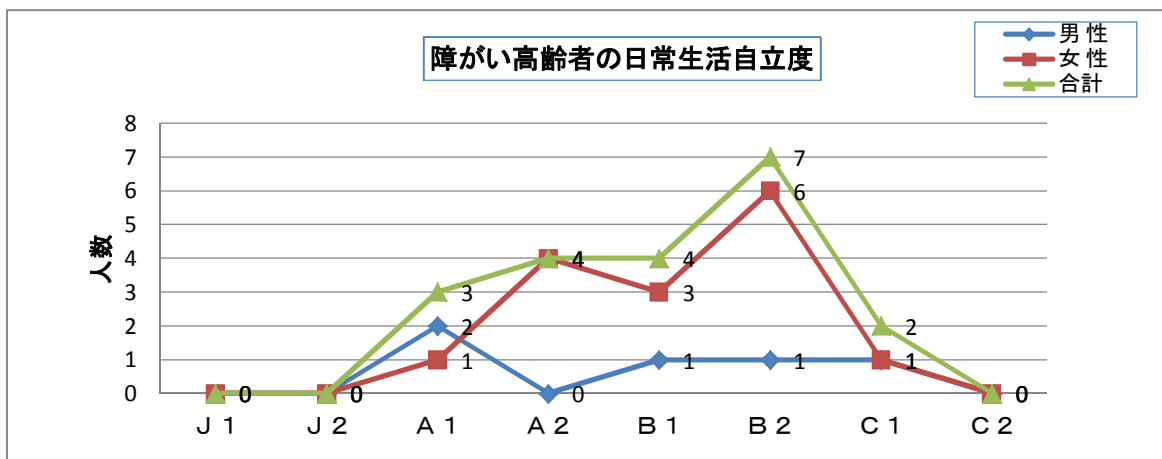
夜間

	トイレ		尿器		オムツ	カテーテル	計
	自立	介助	自立	介助			
男性	0	0	2	0	3	0	5
女性	2	10	0	0	2	1	15
計	2	9	0	2	4	1	20



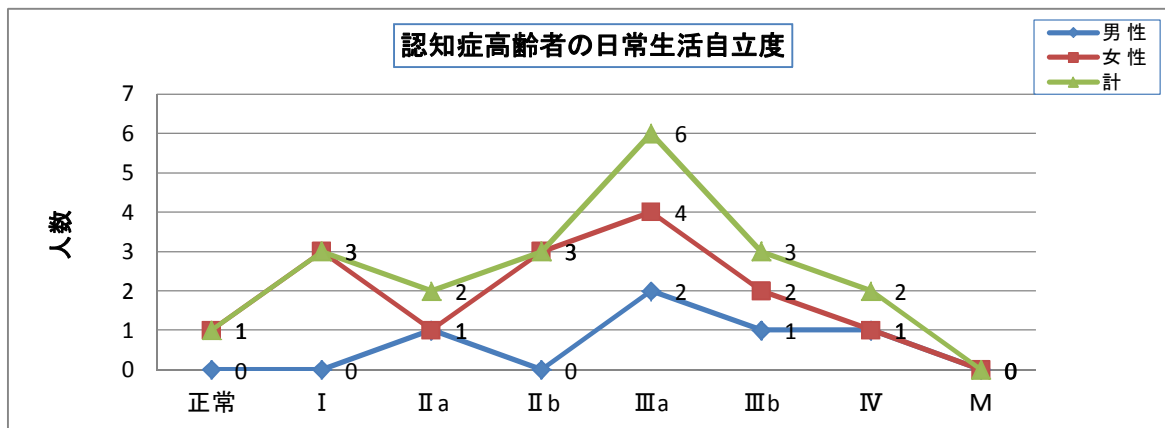
6.身体状況(障がい高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定)

	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	計
男性	0	0	2	0	1	1	1	0	5
女性	0	0	1	4	3	6	1	0	15
合計	0	0	3	4	4	7	2	0	20



7.認知症(精神)状況(認知症高齢者の日常生活自立度判定)

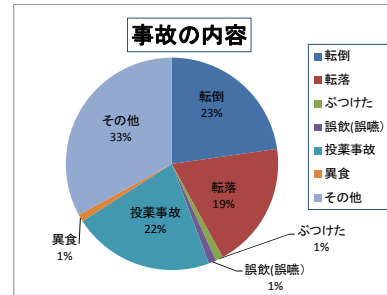
	正常	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	計
男性	0	0	1	0	2	1	1	0	5
女性	1	3	1	3	4	2	1	0	15
計	1	3	2	3	6	3	2	0	20



平成25年度 事故発生状況

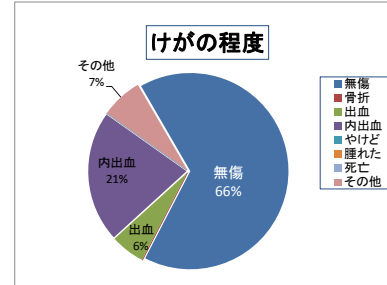
【事故の内容】

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
転倒	20	2		2	3	1	1	2		4	1	2	2
転落	17	2		1	1	2		2	1	4	1	1	2
ぶつけた	1		1										
誤飲(誤嚥)	1							1					
投棄事故	19	3	4	4		1	1	2			2	1	1
異食	1					1							
その他	29	1		2	1	1		4	2	3	1	8	6
合計	88	8	5	9	5	6	2	11	3	11	5	12	11



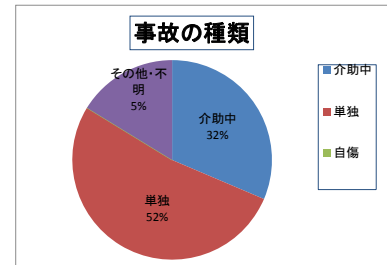
【けがの程度】

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
無傷	58	8	4	7	3	4	2	8	1	7	4	5	5
骨折													
出血	5		1					1	2		1		
内出血	19			1	2			2		4		6	4
やけど	0												
腫れた	0												
死亡	0												
その他	6			1		2						1	2
合計													



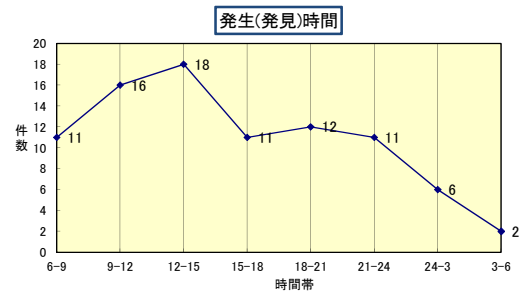
【事故の原因】

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介助中	27	4	4	3			1	2	1	4	2	3	1
単独	45	3		5	5	4		6	2	7	1	7	5
自傷	0												
その他または不明	14	1	1	1				3			2	2	4
合計	0												



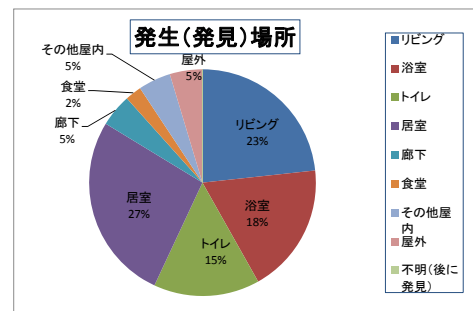
【発生(発見)時間】

時間	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6-9	11	1	2	2	1	1		1		1		2	
9-12	16	3	1	3		1	1	2				2	3
12-15	18	2		2		1		4	1	3	1	1	3
15-18	11			1		1		2		2	2	2	1
18-21	12		2			1				3	2	2	2
21-24	11	2		1	3	1			2	1		1	
24-3	6				1			2		1		1	1
3-6	2											1	1
合計	0												



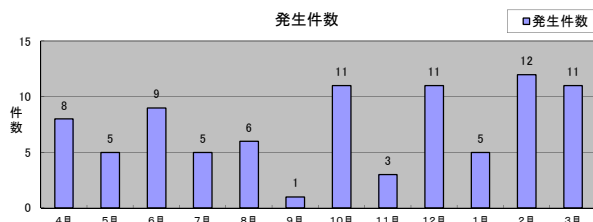
【発生(発見)場所】

場所	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
リビング	20	3	3	4	1	3		1				2	3
浴室	16	1		3	1		1	4	1	1	1	1	2
トイレ	13	2	1	1	1	1		1		2		3	1
居室	23	1			1	2		1	2	6	1	6	3
廊下	4	1						1		1			1
食堂	2										2		
その他屋内	4		1	1	1					1			
屋外	4							2			1		1
不明(後に発見)	0												
合計	0												



【事故発生・発見件数全体】

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発生件数	87	8	5	9	5	6	1	11	3	11	5	12	11
うち受診をした件数	3	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0



平成27年度 小規模多機能ホームぬくもりの家えん事業報告

1. 総括

今年度も昨年度より活動内容をより具体的にし、以下の6つの重点目標に取り組んだ。

1) 根拠に基づいた安全と安心を保障するケアの提供

今年度も昨年度に引き続き、基礎介護研修を現任職員が講師を行い、より具体的な支援を考えケアの質の向上に努めた。

事故に関してはリスクマネジメント委員会を中心に「昨年度より20%減少」と「内服薬に関する事故を50%減少」を目標に取り組んだ。その結果、件数は昨年56件に対し34件と40%減少することが出来た。また、内服薬に関する事故は48%減少出来た。

昨年も転倒事故は14件、今年度も15件と多く全体の44%を占めている。骨折・窒息等の大きな事故には至っていないが、リスクとしては高く、同様な事故が続いていたことは検証が不十分だったことが要因と考える。

2) 利用者の心身機能の維持向上と自立支援を目指し、個々に合わせた生活環境の提供

今年度も自立支援・在宅生活が継続出来る事を目指し、延べ12名が学習療法にて認知症予防に取り組み、体力・筋力維持のため全員にセラバンドを取り入れた。

入院により身体機能低下がみられた利用者には退院後、泊りを利用しながら自宅での生活を想定した支援を計画的に行い、在宅生活が再開出来た。入院後において個々に合わせた生活環境の検討と支援の重要性を強く感じた。

他にも、主治医・訪問リハビリとの連携を図り、看護師を中心に個別のリハビリテーションを6名に実施した。実施者については、5名の要介護度が維持されている。

事業所内の環境については、担当が中心となり観葉植物や季節を感じられるよう工夫し、今年度も地域の方の絵画を宿泊室に掛けることは出来たが、個々に合わせた居心地の良さには繋がっていない。

3) 知識・技術の専門性を持ち共に高め合い主体性を持ったチームと働きがいのある生活環境の提供

今年度も5連休を全員が取得しリフレッシュを図ることが出来た。また、ケア面においては、主体性を持ったチームづくりとして、各スタッフが担当利用者への支援計画を作成し、取り組むことができた。取り組み期間が短く、内容についても不十分だった点も見られた。

4) 家族・地域と協働した施設運営を行う

今年も、運営推進会議を2か月に1回開催し、地域住民・家族としての運営への意見、提案、協力が得られた。

今年度初めての取り組みとしては、友の会会員を対象に学習療法サポーター研修を実施し、14名のサポーターが登録された。平成28年2月よりサポーターとして実践することにより、利用者との良い関係を築くことが出来た。

5) 業務の効率化と標準化を図る

マニュアル整備の着手は出来なかったが、オペレーションの更新は随時行う事が出来た。

6) 適正利益の確保

事業所毎の光熱費月別消費量比較表により、スタッフの意識が高まり、光熱・暖房費や消耗品費の節約に努めた。

新規登録者は13名でケアマネジャーからの紹介が6名。病院からの紹介やご家族の要望から利用には6名だった。

昨年多かった入院による停止者は5名と昨年の8名よりは少なくなった。入院とならないために、既往歴・体調の変化から予測する力を高める事が重要である。

月平均登録者数は19.5名で目標の21名に達することは出来なかった。

2. 次年度に向けて

平成28年度も、①健康管理を徹底し、地域・自宅で生活し続けられるケアの提供②地域の活動を通し小規模多機能ケアの理解を深める。③適正利益の確保に努める。3つの重点目標に絞り努めていく。特に、記録のダブルチェックを強化し、既往歴・体調の変化から予測する力を高めていきたい。

現任職員が目標を持ち、仕事のやりがいや充実感が持てるよう、各スタッフが担当利用者に対して、介護過程（ケアプラン）展開の実践を1人、年2ケース取り組む。

アクティビティにおいても、利用者・家族に成果の見える形での実施と創作物の作成を多く取り入れるなど、より満足して頂けるサービスの提供を目指す。

また、認知症に対するカンファレンスを必要時行い、ご利用者・ご家族にとって必要としている支援やケアプランについて、各担当と一緒に検討し、チームとして実施していく。

認知症予防として取り組んでいる学習療法については、友の会会員の協力を得ながら利用者を増やしていきたい。また、友の会の学習療法サポーターが利用者との関わりから役割と生きがいを感じていただけるよう支援していく。

今後ご家族と共に支援する立場として相談・協力し、住み慣れた自宅での生活を継続出来るように努めていく。

3. 運営状況・統計資料

<事業活動の統計・データ>

(1) 小規模多機能ホーム会議開催状況

月 日	議 題 内 容	出席者
4月6日	ケースカンファレンス・レクレーションについて・事故の検討・口腔ケア取り組み状況・満足度調査結果について	8名
5月8日	ケースカンファレンス・レクレーションについて	8名

	事故の検討・事業計画と活動計画・医療関係年間計画	
6月3日	ケースカンファレンス・事故の検討・基礎介護研修(脱水)・リスクマネジメント研修	9名
7月1日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・疾病別対応研修(レビー小体型認知症)	9名
8月5日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・基礎介護研修(褥創)・業務について	9名
9月2日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・車輻清掃について	9名
10月7日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・リスクマネジメント(KYT研修)	10名
11月4日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・介護過程の展開	9名
12月2日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・栄養・水分について・事故の検討・洗面台清掃について	8名
1月6日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・本人・家族からの要望、苦情・基礎知識研修	10名
3月3日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・水分量について・褥創について・個別リハビリ評価・次年度担当について・オペレーションについて・引き継ぎについて・学習療法について	9名

(2) 小規模多機能ホーム行事活動報告

日時	行事名	場所	担当者
5/1	開設記念日	てくてく	柳原・加藤・山本・西江
5/7	お花見ツアー	北斗とは・パレット ヒルズ	小野・佐久間
5/22	北野小学校3年生訪問	小規模リビング	津野
5/27	チャレンジデー	小規模リビング	柳原・能登
6/5	花壇整備		能登
6/21	円山幼稚園運動会見学	円山幼稚園	能登
6/29	買い物ツアー	やすけ・しまむら・ ウエスタン	寒河江・西江
7/12	さつき祭見学	さつき苑	加藤・津野
8/4	獅子舞見学	えん 駐車場	加藤・西江・大懸

8/8	慰霊祭	戦没者慰霊之塔前	寒河江
8/11	夕涼み会	えん 駐車場	西江・加藤・山本
8/21	流しそうめん	小規模リビング	小野・佐久間
9/1	鷹栖高校初任者研修実習	小規模	
9/28	収穫祭	てくてく	西江・加藤・山本
10/7	鷹栖中学校キャリアウィーク	小規模	能登
10/8	大正琴演奏	てくてく	
10/12	チャレンジデー	小規模	勤務者
11/10	北野小学校 4 年生訪問	小規模リビング	能登
12/10	モンゴルコンサート	てくてく	能登
12/12	家族会総会・大掃除	てくてく	能登・津野
12/18	友の会忘年会	てくてく	能登
12/24	クリスマス会	てくてく	大懸・寒河江・小野
12/26	餅つき・忘年会	特養玄関・てくてく	佐久間・西江・山本・加藤
1/4	初詣	鷹栖神社	能登
2/3	豆まき	てくてく	佐久間・津野
3/3	ひな祭り	小規模リビング	西江・松浦

(3) 手作りおやつ

月	内 容
4/26	いちごもち
5/22	どら焼き
6/26	パンケーキ
7/25	ミニパフェ
8/28	白玉団子のおしるこ
10/23	いも団子
11/23	たこ焼き
2/26	焼きチョコ
3/25	焼きドーナツ

9月・1月に関しては、地域でのインフル・風邪の流行があり中止とした。

(4) 昼食づくり

月	内容
4/10	焼きうどん
5/8	焼きそば・ミニおにぎり・味噌汁
6/12	カレーライス・サラダ
7/11	ジンギスカン
8/21	流しそうめん
9/11	肉じゃが
10/9	餃子定食
11/13	鍋・おにぎり
12/11	シチュー・パン・温野菜
1/8	うどん・いなり
2/12	混ぜご飯・卵焼き
3/11	お好み焼き・スープ

平成 27 年度
小規模多機能ホームぬくもりの家えん
現況報告書

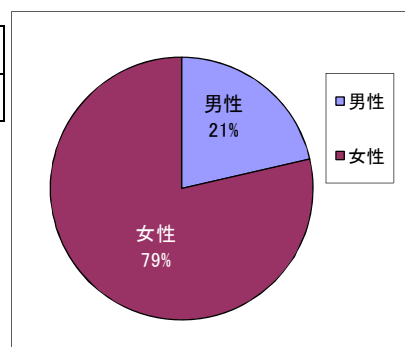
(自：平成 27 年 4 月 1 日 ～ 至：平成 28 年 3 月 31 日)

平成27年度小規模多機能ホームぬくもりの家えん実態報告書

(調査対象期間:平成27年4月1日～平成28年3月31日迄)

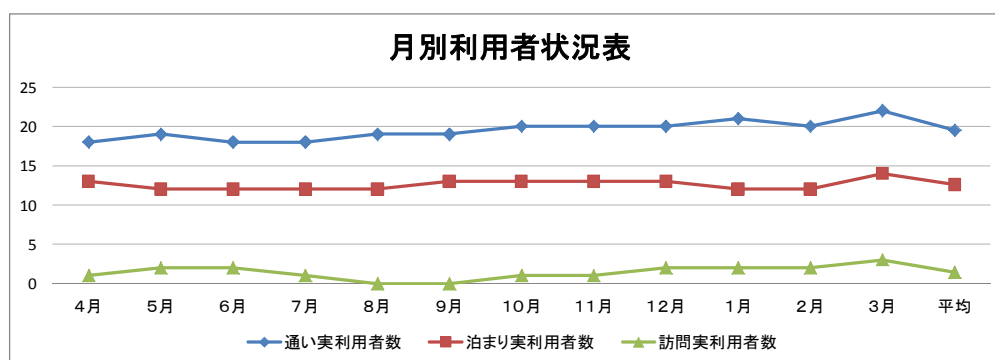
1. 利用登録者

男性	女性	合計
6	22	28



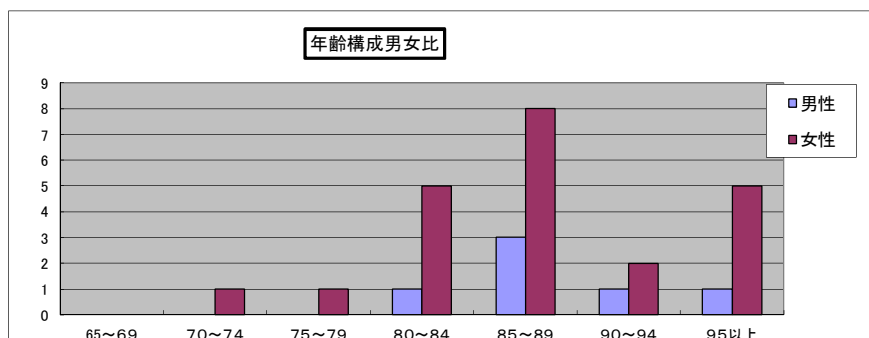
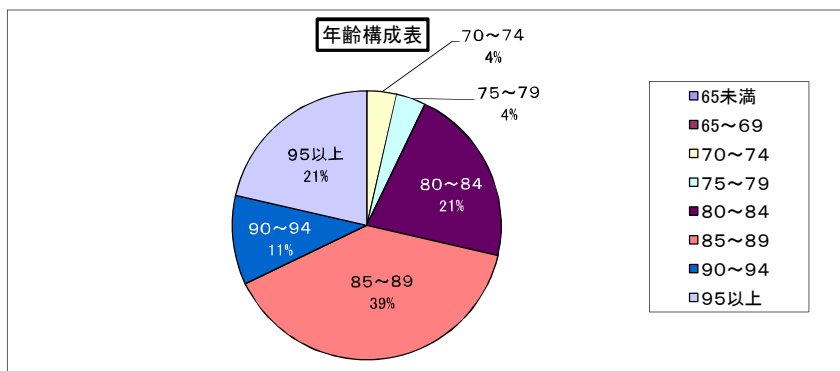
2. 月別利用者状況

月	通い実利用者数	泊まり実利用者数	訪問実利用者数	入院者	休止者	停止者
4月	18	13	1	2	0	0
5月	19	12	2	2	0	3
6月	18	12	2	0	0	0
7月	18	12	1	0	0	1
8月	19	12	0	2	0	1
9月	19	13	0	1	0	0
10月	20	13	1	0	0	0
11月	20	13	1	1	0	1
12月	20	13	2	0	0	0
1月	21	12	2	2	0	1
2月	20	12	2	0	0	0
3月	22	14	3	1	0	2
平均	20	13	1	1	0	1



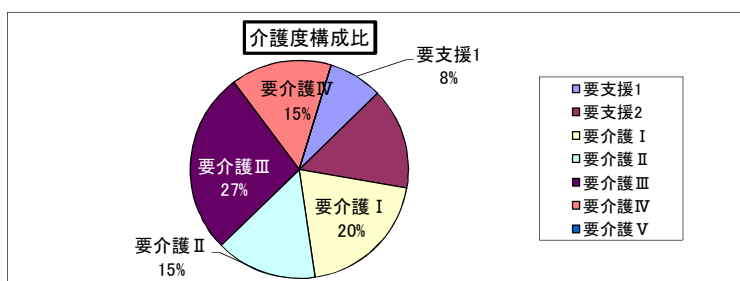
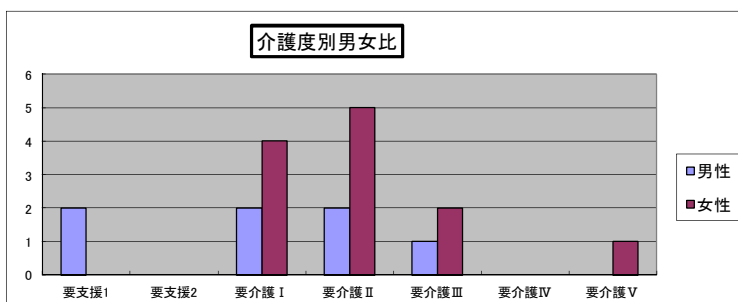
3. 年齡

	男性	女性	合計
65未満	0	0	0
65~69	0	0	0
70~74	0	1	1
75~79	0	1	1
80~84	1	5	6
85~89	3	8	11
90~94	1	2	3
95以上	1	5	6
合計	6	22	28
平均年齢	80.6	87.5	85.9
最高年齢	98	96	
最低年齢	83	74	



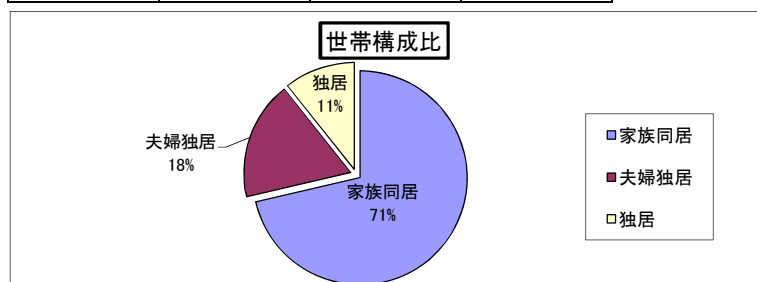
4. 要介護度別

	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	3	3	8%
要支援2	0	0	0	15%
要介護 I	2	5	7	20%
要介護 II	4	7	11	15%
要介護 III	0	4	4	27%
要介護 IV	0	2	2	15%
要介護 V	0	0	0	0%
合計	6	21	27	100%



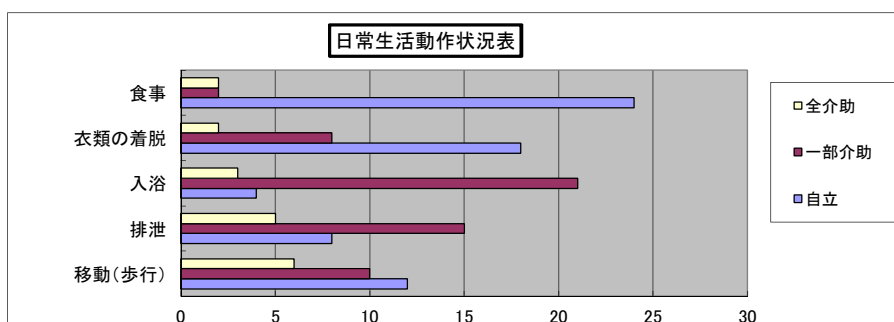
5. 世帯構成

家族同居	夫婦独居	独居	合計
20	5	3	28



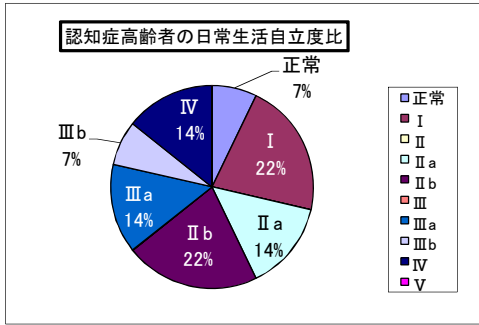
6. ADL(日常生活動作)状況

	自立	一部介助	全介助	合計
移動(歩行)	12	10	6	28
排泄	8	15	5	28
入浴	4	21	3	28
衣類の着脱	18	8	2	28
食事	24	2	2	28



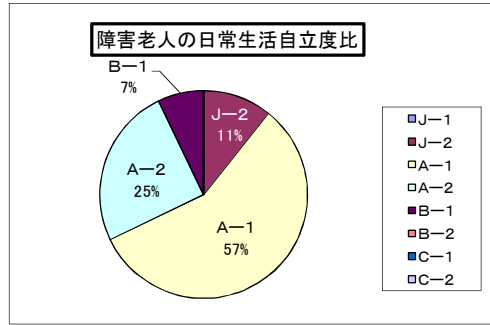
7. 認知症高齢者の日常生活自立度状況

認知度	人数
正常	2
I	6
II	0
II a	4
II b	6
III	0
III a	4
III b	2
IV	4
V	0
合計	28



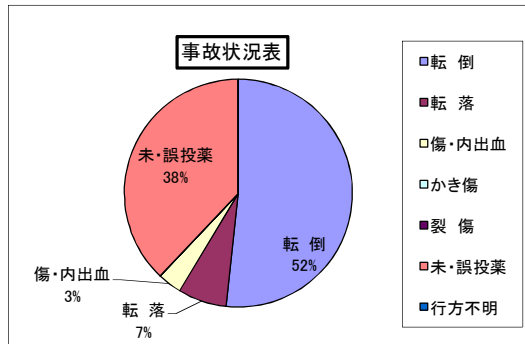
8. 障害老人の日常生活自立度

自立度	人数
J-1	0
J-2	3
A-1	16
A-2	7
B-1	2
B-2	0
C-1	0
C-2	0
合計	28



9. 事故状況

内容	件数
転倒	15
転落	2
傷・内出血	1
かき傷	0
裂傷	0
未・誤投薬	11
行方不明	0
その他	5
合計	34

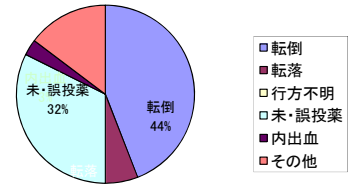


平成26年度 事故発生状況

【事故の内容】

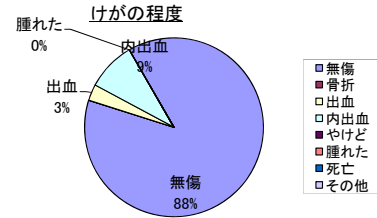
	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
転倒	15	1	1	1	2	2	2	0	0	2	1	1	2
転落	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
行方不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未・誤投薬	11	2	1	2	1	1	0	1	2	0	1	0	0
内出血	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0
合計	34	3	4	3	3	4	4	3	2	3	2	1	2

事故の内容



【けがの程度】

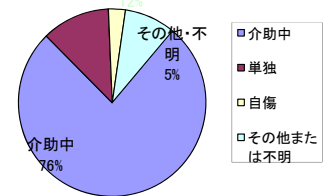
	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
無傷	30	3	2	3	3	4	3	3	2	2	2	1	2
骨折	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出血	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
内出血	3	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
やけど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腫れた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	34	3	4	3	3	4	4	3	2	3	2	1	2



【事故の原因】

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介助中	26	2	1	2	3	3	3	2	2	3	2	1	2
単独	4	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
自傷	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他または不明	3	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	34	3	4	3	3	4	4	3	2	3	2	1	2

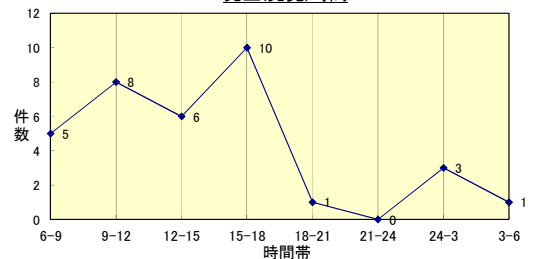
事故の種類



【発生(発見)時間】

時間	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6-9	5	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9-12	8	0	1	1	0	1	0	1	2	1	1	0	0
12-15	6	0	0	0	2	1	2	1	0	0	0	0	0
15-18	10	1	0	2	0	1	1	0	0	1	1	1	2
18-21	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21-24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24-3	3	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
3-6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計	34	3	4	3	3	4	4	3	2	3	2	1	2

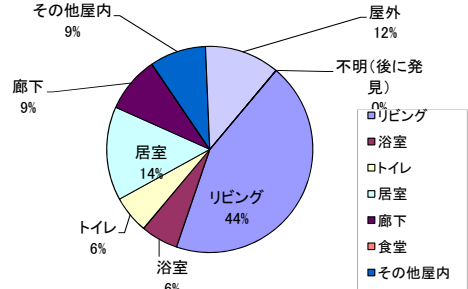
発生(発見)時間



【発生(発見)場所】

場所	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
リビング	15	2	2	2	1	1	2	2	1	0	1	0	1
浴室	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
トイレ	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
居室	5	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0
廊下	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0
食堂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他屋内	3	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
屋外	4	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0
不明(後に発見)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	34	3	4	3	3	4	4	3	2	3	2	1	2

発生(発見)場所



【事故発生・発見件数全体】

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発生件数	34	3	4	3	3	4	4	3	2	3	2	1	2
(受診をした件数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

発生件数

